

韓国漢字音音韻変化の研究

A Study of Phonological changes Sino—Korean

2014年3月

北九州市立大学大学院社会システム研究科

博士（学術）学位請求論文

桂 文姫

論文要旨

桂文姫

現代漢字音が李朝時代の漢字音からどのような変化過程を経由したことを考察することが主目的である。そこから垣間見える中国中古音との関わりと韓国現代漢字音に残る多音性の根拠を探求することは、今なお多くの未解決の古文書への理解策へつながると考えられる。

莫大な文字数から中国古代代表的韻書『広韻』を基本に編纂している中国社会科学院語言研究所『方言調査字表』、丁声樹編『古今字音対照手冊』を参考に日常漢字約8千字を対象に考察している。

漢字音が導入され定着する過程で、現代までにさまざまな音韻変化があったわけであるが、どのような変化があったのかをまとめてみることにする。言うまでもなく、韓国語の漢字音について確実に調べられるのは15世紀に「訓民正音」(=今日ハングルと呼んでいるもの)が創製されてからである。それ以後韓国漢字音が記されたハングル文献が続々出現するが、本稿ではそのうち15世紀から16世紀の文献に見えるものを、便宜上「李朝韓国漢字音」と称し(ここで用いる「李朝」という表現には当然異論がありうるであろうが)、それと現代韓国漢字音とを対比させたわけである。したがって韓国漢字音の音韻変化を歴史的に観察するといっても、今のところ確実なのは15世紀以降の漢字音に限られると言わなければならない。漢字音の音韻変化といった場合、漢字音だけに起こった変化なのか、漢字音の範疇を離れ韓国固有語の音韻変化の影響によって起こった変化なのかということがあるが、その詳細な考察(その変化の時期についても)は今後の課題である。以下、15世紀以降に発生したと考えられる韓国漢字音の音韻変化について重要と思われるものをいくつか挙げることにする。

①中古漢字音音節表に示したように、3等韻寅類の場合、声母見組・曉組・影組の字はA類とB類に分けられるという事実があるのであるが、じつはその区別を反映する発音資料は日本漢字音にも中国語現代方言音にも見出されていない。ところが韓国漢字音で止摂・山摂・臻摂などの韻においてこの区別が厳然と保たれているのは貴重な存在である。例：止摂開口支韻・脂韻のA類字i(岐ki)、B類字ui(奇kui)、山摂開口仙韻のA類字iən(遣kiən)、B類字ən(件kən)、合口仙韻のA類字iən(絹kiən)、B類字uən(権kuən)、臻摂開口真韻のA類字in(緊kin)、B類字ən(巾kən)・un(僅kun)。

②3等韻子類・丑類の声母見組・曉組・影組の字は、梗摂を除くと一般にi介音が落とされる。この現象は3等韻寅類のB類字と共通するものであり、これもほかの漢字音資料にない韓国漢字音だけに見られる特徴である

This thesis primarily aims to further our understanding of the various Processes leading to the transformation and development of the current Korean Pronunciation of Chinese characters as compared to the original Choson Period pronunciations. To provide more refined analyses, approximately 8,000 commonly–used.

Chinese characters were closely examined with reference to ‘The Past and Present: A Comparative Pronuciation Handbook’ by Ding Sheng Shu, and Dialect Analysis Table’ compiled by The Chinese Academy of Social Sciences’Institute of Linguistics the comprehensive knowledge of which is based on an enormous number of characters exhibited in ‘廣韻’(Guan–yun, Ko–in’) the leading pronunciation reference book documented in ancient times.

It is assumed that throughout the introduction and establishment of Chinese characters and readings many phonological changes had occurred. Therefore, concrete examples relevant to these occurrences are summarized herein. Needless to say, the ability to accurately search for the Korean pronunciation of Chinese characters was made possible since the 15th century by the creation of the “Hunminjeongeum”, which has developed into the current day Korean alphabet. Following the creation of the “Hunminjeongeum”, Korean literature written with both Hangeul and Chinese characters accompanied by the Readings continually appeared. Although the term specified as “Choson Period Korean Pronunciation” of Chinese Characters may be controversial, for the sake of expedience it will be used here for the comparison of the 15th to 16th century Korean Pronunciation of Chinese characters, it must be put forth that the content of the survey is based on and accurate from the 15th century onward. Two examples of representative phonological changes of the Korean pronunciation of Chinese characters occurring since the 15th century have been summarized below.

Reinforced Consonants’ are characteristic of the Korean language; however, They are hardly used with the few exceptions of ‘雙’ (‘ssang’) and ‘氏’ (‘ssi’) which are pronounced as [s] while ‘喫’ [‘kkik’] is pronounced as [k]. These characters were originally pronounced with ‘Plain Consonants. Consequently, the reading presumably changed under the influence of the Korean language.

目 次

第1章 序 論

- 1 はじめに一 研究目的と意義・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 韓国漢字音の母胎に関する先行研究概況・・・・・・・・ 5
- 3 研究方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第2章 漢字音韻学の基礎知識

- 1 音節の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2 『廣 韻』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 3 反 切・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 4 中古音聲母の呼称と清濁による分類・・・・・・・・ 13
- 5 「韻」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 6 「攝」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 7 「等」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 8 『廣韻』韻目の「等」による分類・・・・・・・・ 16
- 9 「呼」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 10 開口・合口に分けた『広韻』韻目表およびその音価 18
- 11 Karlgren による中古音音價推定の一例・・・・・・・・ 19
- 12 陰聲韻・陽聲韻・入聲韻・・・・・・・・・・・・ 20
- 13 中国語の変遷と時代区分・・・・・・・・・・・・ 21
- 14 古代韓国漢字音（李朝音）の子音・母音・・・・・・・・ 22
(韓国漢字音の音声記号による発音転写)
- 15 現代韓国漢字音の子音・母音・・・・・・・・・・・・ 22
(韓国漢字音の音声記号による発音転写)
- 16 中古漢語の声母と対応する韓国漢字音・・・・・・・・ 23

第3章 中古漢語の韻母と対応する韓国漢字音（入声韻母がない摂）

- 1 果攝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 2 假攝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- 3 遇攝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
- 4 蟹攝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
- 5 止攝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
- 6 效攝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
- 7 流攝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 165

第4章 中古漢語の韻母と対応する韓国漢字音 (入声韻母がある摂)

1の1	咸攝平上去聲	179
1の2	咸攝入聲	209
2の1	深攝平上去聲	220
2の2	深攝入聲	227
3の1	山攝平上去聲	230
3の2	山攝入聲	274
4の1	臻攝平上去聲	290
4の2	臻攝入聲	320
5の1	宕攝平上去聲	332
5の2	宕攝入聲	352
6の1	江攝平上去聲	360
6の2	江攝入聲	364
7の1	曾攝平上去聲	366
7の2	曾攝入聲	378
8の1	梗攝平上去聲	385
8の2	梗攝入聲	423
9の1	通攝平上去聲	436
9の2	通攝入聲	454

第5章 結論	462
--------	-----

参考文献・辭典	465
---------	-----

第1章 序 論

韓国は中国と隣接するため中国の各方面に関する研究が永く、中国の音韻に関する研究の歴史も例外ではない。特に漢語音韻に強い意識を抱くようになったのは、韓国固有文字の「ハングル」製作の時で、中国の反切法をはじめ、字母・7音・清濁などを探究し、1443年の「ハングル」制定まで円満に導くのである。このように中国の漢文・漢字の文法構造とは異なる膠着的な文法構造の言語を使用する韓国民族が独自の文字「ハングル」を制定し、自らの言語を表記したのは比較的後代のもので、それ以前は中国の漢族が開発し使用した漢字を借りて重要な事柄を記録していて、このような文字生活は約千年間続いている。

このような長い歳月に渡り漢文表記が行なわれると、韓国における漢文と漢字はまるで自国の文字と認識されるようになり、それに伴い、元来中国語の文法に基づいていた漢字の発音は、韓国音韻体系に合わせる形で定着してしまい、当初中国から輸入された漢字音とはかなり変化したと考えられる。そして韓国の漢字音が中国のどの時期・地域の方言の漢字音を受け入れたかも確かな定説があるわけでもなく、幾つかの仮説が提案されているのみである。本稿は韓国における中国漢字音の受容過程を、主に漢語中古音と比較することによって考察する。事実、本稿においては今後の探究する韓国漢字音を上古音・中古音のどちらに基準を定めて比較・考察するかにおいては少しの迷いがあった。特に崔義秀『朝鮮漢字音研究』1986「朝鮮漢字音の形声」注①及び「朝鮮漢字音の規範化」の章での上古音関連説にはかなり説得力が感じられた。現代韓国漢字音では口蓋化法則でその音は変化したが、口蓋化法則以前の商事당사 → 상사、沈香팀향 → 심향 などの中世語の漢字音は、漢語上古音と対応すると看做している。注②そして兪昌均『韓国古代漢字音의研究 I』1980「古代漢字音研究의 既觀과 그成果」の章の第Ⅱ部高句麗漢字音において「道・都・助・才・絶」の代用音が do/dor になるのは、高句麗漢字音の基層が、西漢から東漢への時期それ以前へ遡及されるべきと看做し、これは韓半島の北部において漢字輸入がかなり早くから行なわれていることを証明するもので、いままで中古音を基準で理解しようとする解釈より更に妥当性を含んだ韓国漢字音の諸々の問題が検討可能とされる。注③ただ、本稿においては筆者の力不足と資料収集の乏しさのため、韓国漢字音を従来どおり、先ず中古音と比較・考察し、韓国漢字音の本質・変化過程の深層に迫った後、韓国漢字音と上古音の比較は今後の課題とすることとする。

注①崔義秀『朝鮮漢字音研究』1986「朝鮮漢字音の形声」P304

注②崔義秀『朝鮮漢字音研究』1986「朝鮮漢字音の規範化」P309

注③兪昌均『韓国古代漢字音의研究 I』1980「第Ⅱ部高句麗漢字音」P395

1. はじめに— 研究目的と意義

韓国がいくつかの戦乱を経て、李朝に至ってようやく国力の充実と民の生活安定に落ち着くと、民族的自覚と平行し、第4代の聖君世宗は幕下に学者を集め、王自ら国字の製作に当たり、1443年に固有の文字を完成させ、漢学者の反対を押し切って、1446年「訓民正音」として公布する。それ以前は中国文字を表音文字のように韓国のさまざまな記録に利用していた。

本稿の目的は、壬乱前後の漢字音から現代漢字音の定着までの変化現象を考察し、現代韓国漢字音の源を辿るものである。中国国内では、標準語と定めている普通話の他に無数の方言が存在している。古代韓国では中国から文字とそれに伴う漢字音を受け入れた後、自国語の体系に合うような形で使用するが、元々の字音の成分を残していると考えられる。宋の学者孫穆が高麗を訪れ、12世紀宋代開封音で高麗言語を収集説明した書物『鷄林類事』注④があるが、そこに当時の古代韓国語音が見られるのと似通う現象である。壬乱前後の漢字音から現代漢字音への定着の変化を比較・考察するに際して使用した資料は次のものである。

- 河野六郎 1968 『朝鮮漢字音の研究』〈資料音韻表〉（天理時報社）
- 伊藤智ゆき 2007 『朝鮮漢字音研究・資料編』（汲古書院）
- 南廣祐 1973 『朝鮮（李朝）漢字音研究』（一潮閣）
- 朴在淵 2002 『中朝大辭典』（鮮文大學校・中韓翻譯文獻研究所）

韓国は《訓民正音》制定以前はもっぱら漢字・漢文で文字生活をしていたので、古代朝鮮語の研究は、当時の漢字・漢文がどのように使われたかを知ることが重要である。特に、確実な歴史時期に漢字の音をどのように読んだかという問題は、古代朝鮮語の音韻体系に対する研究はもちろん、古代の人名・地名に対する解釈、及び「郷歌」などの古典文学作品の解読にも重要な意義を持つ。紀元6世紀に書かれた郷歌に使われた漢字が、現代韓国語漢字音と同じ発音をしたとは考えにくい。

注④『鷄林類事』「星湖要塞説」（卷30）中「朝鮮方言」条に「宋孫穆鷄林類事、雲曰屈林、風曰孛纜、雪曰嫩、雨曰霏微、電曰天動、虹曰陸橋、鴉曰打馬鬼、犬曰家稀、遊子曰浮人、餘不盡録。」とある如く、宋の「鷄林類事」は高麗時代の朝鮮語を写したもので、今日の朝鮮語と大差がない。「鷄林類事」を解釈したものに前間添作『鷄林類事麗言攷』がある。

古代の人名・地名の解読に関してもこのような問題が存在する。本論文では韓国漢字音の古代音と現代音を比較し、そこから浮き彫りにされる韓国漢字音の変化と定着について考察するものである。韓国漢字音がいつ形成され、それがどのような変化を経て今日に伝わったのか、それについての研究は、古代朝鮮語研究と歴史文献研究の基本的な出発点といえる。

今までいくつかの学者が韓国語の漢字音を分析し研究してきたが、韓国漢字音の母胎に関する議論が比較的多かった。いっぽう韓国語のなかでの漢字音の変化・変遷というテーマについていえば、これまで部分的な研究はあったが、全体的・網羅的な研究というのはあまり行われてこなかったと考えられる。本稿は、筆者の意図する古代から現代までの韓国漢字音の変化・変遷の網羅的研究の一環として位置するものである。本稿の研究結果と今まで行われてきた漢字音の母胎研究を合わせた結論は、現代漢字音の正しい道しるべと祖先の精神意識の結集である漢文古籍の正確な解釈・解読に対し重要な貢献ができるものと考えられる。

2. 韓国漢字音の母胎に関する先行研究概況

今日までの主な韓国漢字音の母胎に関する先行研究は以下のようなものである。

(1) 河野六郎の唐代長安説

『朝鮮漢字音の研究』1968によると、朝鮮漢字音は唐代長安音を土台として形成され、その上に近代漢語音が重なっているという。その主な根拠は、韓国漢字音の全体的構造を見る時に唐代長安音を反映すると考えられる慧琳著『一切経音義』の反切の状況と音韻特徴が朝鮮漢字音に反映されているからというのであり、<有坂の宋代開封説>注⑤を批判しながら次のように述べている。

“現行の韓国漢字音の母胎が宋代開封音であると言い切るのは尚早である。或いは何時代の中国音であるという風に固定的に考えるのが寧ろ無理であって、伝承された韓国漢字音の中には六朝より近代に亘る永い時期の各代の漢字音が跡を残しているのであって、一概に何時代の中国原音を反映しているとは言い切れないのである。その結果、各々の音韻範疇の中に新旧の層が混在しているのが真状であり、しかしそうかといって各時代の音が平均して含まれているのではなく、より強力に作用した時代とさほどでない時代があると思われる。そしておそらく根底の原型を与えたのは南朝の江東音であり、その上に最も有力な刻印を押ししたのは唐時代の長安音であろうと思われる”注⑥

注⑤ 有坂秀世 1936『国語音韻史の研究』P 295

注⑥ 河野六郎 1968『朝鮮漢字音の研究』P36

このように河野は韓国漢字音を旧層（南朝の江東音）と新層（唐代の長安音）の複合とみなし近代の漢字音の主流は新層に属すると見ている。この他に韓国漢字音の近世音的特色として、以下の3点を挙げられている。

- ① 止摂諸韻（開口）の歯頭音字が $-p$ となること。
- ② 入声の韻尾 $-t$ が $-r$ で示されること。
- ③ 魚韻正齒二等が $-ə$ とならず、 $-o$ となること。注⑦

（2）H. Maspero の南方呉音説

『唐代長安方言考』(Le dialecte de Tch'ang-ngan sous les Tang) (B.E.F.E.O. XX, 1920) の P.9 脚注で韓国漢字音の起源について言及している。

- ① 新羅には5世紀の中国南方漢字音（呉方言）が百済を経て伝わった。
- ② 高句麗には北方漢字音が伝わったが、唐による高句麗滅亡後、唐の漢字音が採用された。
- ③ 高麗滅亡まで南方漢字音（新羅漢字音）と北方漢字音（高麗漢字音）が併存したが、李氏朝鮮に至ってから新羅漢字音（南方漢字音）の優勢時期があり、現在の漢字音の土台は南方漢字音である。
- ③ 北方漢字音・標準語の影響も受けた。

しかし、この説に対して李敦柱 2004 は、“彼は韓国の歴史的事実と文化的背景を考慮した結果、三国時代から近世朝鮮に至るまで中国字音の伝来的現象を語るのみで、具体的に韓国漢字音の音韻論構造を通じて得た結論ではないので批判を受ける素地がある”と評する。注⑧原文

注⑦ 河野六郎 1968 『朝鮮漢字音の研究』 P 12

注⑧ 李敦柱 2004 『漢字音韻學의理解』 P274: : 그는 한국의 역사적 사실과 문화적 배경을 고려한 결과 삼국 시대로 부터 근세조선에 이르기까지 중국자음의 전래적 현상을 말하였을 뿐, 구체적으로 한국한자음의 음운론구조를 통해 얻은 결론이 아니었으므로 비판을 받을 소지가 있다.

(3) 有坂秀世の宋代開封説

「漢字の朝鮮音について」1936によると、朝鮮漢字音の母胎は10世紀の宋代の首都卞梁（即ち開封）地方から借入した開封音を土台に形成されたし、その根拠として以下の3点に重点を置いている。

① 止摂が、朝鮮漢字音では一般的に*-i*や*-ij*であるが、歯音4等のみは規則的に*ɐ*で表れる。慧林の『一切経音義』の反切は勿論唐の後半期にチベット人が西方中国音を記録したものであるが、それには*-i*音で、9世紀頃借入された日本の天台漢音も同じく歯音4等は*-i*で現れる。しかし、韓国漢字音でこれが*-ɛ*音で反映されるのは近代中国音の韻形*ü* (= *i*) と関連する。

② 漢語の入声韻尾 *p, k, t* が現代中国北方言で消失したが、南京官話や山西方言では声門閉鎖音を維持している。しかし唐時代後半期に中国西北方言で当時チベット人達はこれを*-b, -r, -g*と転写し、韓国漢字音では *p, k, l* となる。羅常培は唐代後半に漢語の韻尾 *p, k, t*, が *b, g, r(d)*に弱化したとしたが、朝鮮漢字音での終声 *p, k, l* は、漢語の入声韻尾 *p, k, t* が弱まりながら消失していく過程の *b, g, r(d)*を模倣したものと判断し、10世紀の開封音を韓国漢字音の母胎を考える。

③ 「魚」韻は、朝鮮漢字音では一般的に *ia, ə* であるが、歯音2等だけ *o* となり「模」韻と同形で実現した。このように歯音2等字が「模」韻に転入されたのは『洪武正韻』(1375)と共通の特徴である。『中原音韻』(1324)でも歯音2等字は他の漢字音と区別された。ところでこのような特徴は唐代以前の資料には発見できない。よって「魚」韻の中の歯音2等字が韓国漢字音で「模」韻と合流した事実は正に近代中国音の反映である。

この説に対して李敦柱 2004 は、“このように有坂は言語の内的条件、即ち韓国漢字音の反映の実態とその特徴を根拠として漢字音の源流を考察した点で、方法論上では注目され得るが幾つかの疑問が残る”として、有坂が10世紀の宋代の開封音説を主張する3項の論拠に以下の疑問を示す。注⑨原文

1, 韓国漢字音を一括して宋代の開封音であると断定できるのか。韓国の借用語の中には遥かに早い時期から現在に至るまで各時代に渡って輸入された漢字音の痕跡が発見されているので、或る時代の特定の地域音から断定することには難点がある。

注⑨ 李敦柱 2004 『漢字音學의理解』 P278 : 한국 차용어 중에는 훨씬 이른 시기로 부터 근대에 이르기까지 각 시대에 걸쳐 우입된 한자음의 흔적이 발견된다. 그러므로 어느 한 시대의 특정지역음으로 단정하기에는 난점이 있다.

2、有坂は新羅以前の漢字音を近代漢字音とは別個の系統に属すると見ており、そして韓国漢字音を全体的に見る時に日本漢音と同様中古音に属するものであると言っているが、中古漢語音と近代漢語音の分岐点が10世紀の開封音を土台としたものと断定するのは韓国漢字音の通時性を看過した見解ではないかと考えられる。

(4) 朴炳采の切韻音説

『古代国語の研究』1971の第3編「国語漢字音の母胎論」によると、韓国漢字音形成の決定的な役割は、6～7世紀の中原音を代表する「切韻音」で、一部に呉方音が加味され江東音の影響がその根底に敷かれているとしながら、その根拠として以下を述べる。

- 1、韓国漢字音では切韻音系の1・2等重韻が弁別された。例えば「蟹」撰で1等の「泰・咍」韻、2等の「夬・佳・皆」韻の中でA類の「泰・夬・佳」韻は主に $-ai$ で、B類の「咍・皆」韻は主に $-\Delta i$ で反映された。
- 2、韓国漢字音は1・2等の合口韻で唇音は合口性を喪失して開口音として反映した。即ち「波・坡→파 [p'a]、磨・魔→마 [ma]」などがその例である。この事は韻目の開合が分立した以前の切韻音の反映と相通する。
- 3、韓国漢字音で3・4等の両属韻は3等と4等が弁別された。即ち、「牙・喉」音に関しては原則的に3等は直音（乙、於筆切：을 [il]）で、4等は拗音（一、於悉切：일 [il]）で反映された。この点は「効・梗」撰を除いて一つの通則であるが、これは『切韻』や『広韻』の反切の3・4等の重紐に関係がある。
- 4、近代中国音では「梗」撰2等の「耕・庚」韻と「曾」撰の「登」韻が「合流して大部分 $-əŋ$ と反映され区別されることはない。しかし韓国漢字音では「耕・庚」韻の2等開口音は $-\Delta iŋ$ （桜잉、行잉）、「登」韻の開口音は $-iŋ$ （能능、灯등）で厳然たる分別がされている点から、切韻音を基層に反映したと考えられる。注⑩

注⑩ 朴炳采 1971『古代国語の研究』第3編「国語漢字音の母胎論」P293

3. 研究方法

音韻の研究は、他の言語学の同じく共時的研究と通時的研究に区分される。共時的研究は、その言語の一つの時代を横断に切り開き、基本的に古代から現代に至るまでの音韻体系・歴史的な変遷過程は考慮しないで、その言語の静止状態を研究対象とする。一方、通時的研究は、その言語がある一つの時期から次の時期に至るまでの変遷・発達過程を縦にした場合に認識できる諸々の状態を研究すると言える。言語は時間の流れに沿って変化する生き物であり、これら変化の痕跡及び一定の規律は主に韻書・等韻図などの古代文献を参考に探究するものである。本稿はタイトル「韓国漢字音音韻変化の研究」が示すとおり、音韻の通時的研究類に属するものである。韓国漢字音は、15世紀「訓民正音」創制後、表音文字である「ハングル」表記された漢字音を基準として、中国の中古音と比較・探究する。

中国から漢字・漢字音が古代韓国へ伝来し悠久な歴史が流れた中で、韓国漢字音を中国中古音に対応させ比較する理由として、表音文字「ハングル」誕生の李朝前の三国時代の歴史的説明が挙げられる。中国文化が古代韓国に及ぼした最も大きな影響として考えられるのは、先ず、仏教の伝播があり、三国時代（高句麗・百済・新羅）を一区切りにする場合、高句麗には、小獸林王2年（A.D.372年）、百済は、枕流王元年（A.D.384年）、新羅は、高句麗・百済より遅れて中国との交流を始め、520年頃に律令を頒布、528年に仏教伝来、628年でようやく国学の体制が形成され、仏教は経典を伴い伝来するのである。三国時代には高句麗・百済より遅く中国から仏教伝来した新羅は三国統一を果たすと、仏教・儒教を封建統治の重要な思想理念として利用し、8世紀末から読書三品制を実施し、官吏登用制度に用いる。

経典の伝授は漢字教育が基本であり、統一新羅の中で漢字教育は、一定の規範が成立したと考えられる。そして、その規律は新羅が三国を統一した約100年後の景德王16年（757）に、全国の地名に中国式の漢字を当てる。漢字が三国時代にも各々定着された時期もあるが、固有語的な地名までも漢字への改正は、三国時代の分散性の克服及び漢字音の整理を表すとも考えられる。しかし、このような漢字音の整理は韓国語音韻体系に受容・征服されながらも、韓国漢字音の独特な音韻体系を形成し定着させるには、もうしばらく時間を要するのである。9世紀末、新羅ではいくつかの農民戦争が起きる。そして10世紀にはいると、新羅はいくつかの封建国家（後三国時代）が出現する。このような歴史的な過程は漢字音の整理を鈍らせるが、936年に後三国が統合され高麗が建立されると、仏教・儒教を重視し、992年に開城に儒教経典と漢文が主要学科であ

る最高学府〈国子監〉を開校のちに実施される科挙制度とつながり、10世紀頃に韓国漢字音の規範が定着したとされる。よって、古代韓国漢字音は、中国中古音に根拠したとの結論に至るのである。

即ち、韓国漢字音は、悠久な時間をかけて受容・定着する一方、大規模的に規範化する時期もあり、主に韓国の科挙制度などの漢文教育の発展と重ねて進化したと考えられる。この古代韓国での大規模な漢字音の規範化する時期は、中国でも活発な音韻体系の研究を行なった隋・唐時期と重なる。隋代の韻書『切韻』601、唐代の韻書『唐韻』751、そして『唐韻』を略本として編纂された『広韻』1008、そして『広韻』を改修した『集韻』1067、『中原音韻』1324へ継承される韻書の編纂過程からでも認識できる。よって、本稿は韓国漢字音の音韻変遷を中国中古音との比較の中から再確認すべきとの結論に至るのである。

次は、莫大な漢字数からの研究対象の漢字選定にはかなりの迷いを要した。漢字の「本場」中国でも、漢字とナショナリズムの緊張関係を象徴するように、漢字・漢語を捨ててエスペラントを国語に採用すべしと主張する改革論者が現れた時期があった。これは中華人民共和国政府が継承し、中国文字改革委員会は1956年「漢字簡化法案」を公布し、公用文はもとよりすべての学校や社会で簡体字の使用を義務化する結論を導いた。似通う案は古代韓国社会でも生じた。

李朝の第4代の王・世宗（在位：1418—50）が、それまで正式文書に使用された漢字漢文では自分たちの気持ちを自由に表現できないと考え1443年「ハングル」という新しい文字を創制した。しかし、15世紀中頃まで漢字が使用された古代韓国の表記法から、ハングルがすぐに中心的な文字になったわけではなく、ハングル創制以後も、漢字漢文を公式の文書とみなす考え方は依然として強く、公用文はもっぱら漢字漢文で書かれ、ハングルは漢字漢文より低い文字とみなされ主として貴族階級の女性や庶民層の間で使われた。印刷物では漢文の原典を解説する本や文学作品、キリスト教の布教文書等に使われ、漢字漢文を中心とする考え方は19世紀末まで維持される。

その後は、漢字ハングル混用文が続き、1910年「言文一致の運動」、1933年「ハングル綴字法統一案」が作成され、現在のハングル文体や正書法の基礎が定着する一方、韓国国内で「漢字漢文」は以下のような複雑な経過を辿る。

- 1945年 米軍政庁 **漢字廃止** 教科書ハングル専用
横書きで書くことを公布
- 1948年 大韓民国樹立 ハングル専用法定（公文書はハングルで書く。
しばらくの間、必要に応じ漢字を併用することができる）
- 1950年 政府 **漢字混用決定**
- 1951年 常用漢字1000字（のちに1300字）制定

(小学校 4 年以上漢字併記)

- 1964年 教科書すべて漢字混用とすることを決定
- 1970年 ハングル専用実施 教科書から漢字なくなる
- 1971年 中学・高校で「漢文」教科設置（「漢文」の時間に漢字教育を行なう）教育用基礎漢字 1800 字制定（中学校 900 字・高校 900 字）
- 1975 年 中学・高校の教科書で漢字併記実施
- 1999 年 文化観光部 案内板などの漢字併記方針発表

これらの韓国国内での漢文漢字教育に関する変化は、韓国が固有文字の「ハングル」を所有しながら、長い年月をかけての利用された漢文漢字との完全な決別の難しさを物語る。1964 年「朝鮮語的漢字詞」で陳植藩は、韓国語の語彙の中の漢字語の比率を述べている。それに拠れば、文世栄『朝鮮語辞典』の収録語彙 8 万 5 千の中に漢字語は約 5 万、朝鮮語学会編の『大辞典』の収録語彙 1 6 万 4 千の中に方言・専門名詞・古語を除いての標準語彙は 14 万あり、その中に漢字語は約 8 万で、辞典全体の 58%を占めているとされる。また、書き言葉は、話し言葉に比べ漢字語の比重が重くて、科学・技術の論述書の漢字語の比重は全体の 70%、文芸作品の中の漢字語の比重は全体の 30%を越えるとする。ただ、韓国国内で実施されている教育用常用漢字数の約 2000 未満は少ないと考えられ、そこで本稿では漢字選定の標準として、丁声樹編『古今字音対照手冊子』を利用することとする。この書物は中国音韻研究の参考書として作られたもので、中国古代の常用字約 6 千個を選出し、現代音の韻母部分によって配列している。これによって各字の中古音の音韻地位（声母・韻母・声調）が直接調べられるようになっている。もう一つ重要な参考文献は中国社会科学院言語研究所編『方言調査字表』である。この字表は現代の常用漢字 3700 個を選択し、それらを中古音の韻書『広韻』の声母・韻母・声調によって分類・配列したものである。元来は中国国内の方言音系を調査する目的で作られたものであるが、韓国漢字音やその他のその他の漢字音調査のためにもたいへん有用な字表である。本稿はこの字表形式を利用することにより漢語中古音と韓国漢字音との比較・考察を行いやすくすることができ、独自の韓国漢字音研究を進展させることが出来たと考えている。

第2章 漢字音韻学の基礎知識

1 音節の構造

韓国漢字音は中国漢字音を基礎に形成されているので、韓国漢字音の研究については、中国漢字音の構造的な特性を理解することが必要である。漢字は形・義・音の3つの要素からなり、原則として一文字が一音節をもつ。中国の伝統音韻学では一音節を聲母・韻母・聲調の3部分に分けて論ずるのが通例である。例えば、「娘」という字の発音を中国語ピンインローマ字では **niang** と表記する。この場合、中国音韻学では、音節頭子音 **n** の部分を「聲母」といい、のこりの **iang** の部分を「韻母」という。また韻母を3つの部分に分けることができる。**iang** についていえば、**i** を介音（または韻頭）、**a** を主母音（または韻腹）、**ng** を韻尾という。声調は音節全体にかぶさる高低・昇降などの音調要素である。

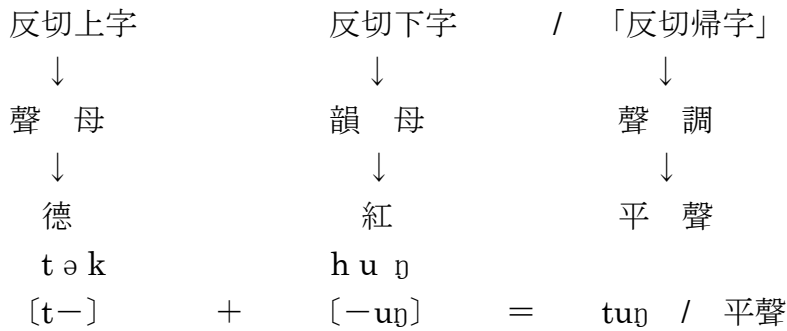
聲 調			
聲 母	韻 母		
	介 音 (韻 頭)	主 母 音 (韻 腹)	韻 尾

2 『廣 韻』

『廣韻』の正式な名称は『大宋重修廣韻』で、陳彭年（961－1017）らが勅命で、隋代の陸法言（生没年未詳）の『切韻』（601年）、『唐韻』（『切韻』の増修本で唐代732年以後に作られた）など前代の韻書を修訂して作ったもの。中国歴史上では官から出版された最初の韻書として有名である。韻書とは、「韻」の異同を分類基準として漢字を配列した、字音引きの字書をいう。『廣韻』の収録字は26,194字で、漢字の発音は「反切」とよばれる方法で示される。

3 反切

漢字の音節から聲調から除くと、音節は聲母と韻母の2つの部分からなるとされる。反切は二つの漢字（それぞれ反切上字、反切下字とよばれる）を利用して一つの漢字の発音を表わす標音方式である。反切上字から聲母を、反切下字から韻母を取り、それらをひとつに合わせて該当漢字の発音を知るという方法である。反切上字は被切字（これを反切帰字という）と聲母が同じで、反切下字は被切字（反切帰字）と声調はもちろん韻腹・韻尾が同じという規則がある。例えば、『廣韻』では「東」の字の反切は「徳紅切」と書かれるが、その内訳は次のようである。



反切法の起源は古く、漢代にさかのぼるとされる。

4 中古音聲母の呼称と清濁による分類

五 音		全 清	次 清	全 濁	次 濁	全 清	全 濁
唇 音	幫組	幫 [p]	滂 [pʼ]	並 [b]	明 [m]		
	非組	非 [pf]	敷 [pfʼ]	奉 [bv]	微 [m]		
舌 音	端組	端 [t]	透 [tʼ]	定 [d]	泥 [n]		
	知組	知 [t]	徹 [tʼ]	澄 [d]	娘 [n]		
牙 音 (見組)		見 [k]	溪 [kʼ]	群 [g]	疑 [ŋ]		

齒音	精組	精 [ts]	清 [(tsʰ)]	從 [dz]		心 [s]	邪 [z]
	莊組 章組	莊 [tʂ]	初 [tʂʰ]	崇 [dʒ]		生 [ʃ]	
		章 [tʃ]	昌 [tʃʰ]	船 [dʒ]		書 [ç]	禪 [ʒ]
喉音 (曉組) (影組)		影 [ʔ]			云 [ɦj] 以 [j]	曉 [x]	匣 [ɣ]
半舌音					來 [l]		
半齒音					日 [nʒ]		

参考文献： 崔玲愛『中国語音韻學』통나무 2000
 李敦柱『漢字音韻學의理解』塔出版社 1995
 推定音價〔 〕は佐藤昭『中国語語音史』白帝社 2002

「五音」とは、唇音・舌音・牙音・齒音・喉音とよばれる5種の音ということで、これに半舌音・半齒音を加えて「七音」と称することもある。

中国古代音では音を発する際の聲帯振動の有無で「清・濁」に区分することが行われた。これには「全清・次清・全濁・次濁」の4種が区別された。「全清」とは無聲無氣音の閉鎖音・破擦音・無聲摩擦音を指し、「次清」とは無聲有氣音の閉鎖音・破擦音を指し、「全濁」とは有聲無氣音の閉鎖音・破擦音を指し、「次濁」とは有聲鼻音・側面音・半母音を指す。

5 「韻」について

『廣韻』では、漢字を206の韻に分類しており、この206韻を「四聲相配」によって61個のグループにまとめたのが、下記の表である。各グループは、平聲の韻目・上聲の韻目・去聲の韻目・入聲の韻目であり、韻目が三個の場合は入聲韻がない場合である。なお(13)(14)(17)(20)は去聲の韻目であり、(24)は平聲の韻目である。以下、中古音の『広韻』韻目を掲げる場合は、平聲の韻目を掲げて上・去・入声の韻を兼ねることとする。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| (1) 東董送屋 | (2) 冬宋沃 | (3) 鍾腫用燭 |
| (4) 江講絳覺 | (5) 支紙寘 | (6) 脂旨至 |
| (7) 之止志 | (8) 微尾未 | (9) 魚語御 |
| (10) 虞麌遇 | (11) 模姥暮 | (12) 齊齊霽 |

(13) 祭	(14) 泰	(15) 佳蟹掛
(16) 皆駭怪	(17) 夬	(18) 灰賄隊
(19) 哈海代	(20) 廢	(21) 寘軫震值
(22) 諄準稔術	(23) 文吻問物	(24) 臻
(25) 欣隱 欣迄	(26) 元阮願月	(27) 魂混恩沒
(28) 痕很恨	(29) 寒旱翰曷	(30) 桓緩換末
(31) 刪潛諫鎋	(32) 山產禰黠	(33) 先銑霰屑
(34) 仙獮線薛	(35) 蕭篠嘯	(36) 宵小笑
(37) 肴巧効	(38) 豪皓號	(39) 歌哿箇
(40) 戈果過	(41) 麻馬禡	(42) 陽養漾藥
(43) 唐蕩宕鐸	(44) 庚梗映陌	(45) 耕耿諍麥
(46) 清靜勁昔	(47) 青迥徑錫	(48) 蒸拯證職
(49) 登等嶝德	(50) 尤有宥	(51) 侯厚候
(52) 幽黝幼	(53) 侵寢沁緝	(54) 覃感勘合
(55) 談敢盍	(56) 鹽琰艷葉	(57) 添忝忝帖
(58) 咸謙陷洽	(59) 銜檻鑑狎	(60) 嚴儼釅業
(61) 凡範梵乏		

6 「攝」について

『廣韻』の206韻について、似通う主母音と韻尾を同じくするものを統合して16のグループにまとめる習慣がある。それが下記の16攝である。各攝所属の韻目を平声の韻目によって掲げる。

- (1) 果 攝・・・歌、戈
- (2) 假 攝・・・麻
- (3) 遇 攝・・・魚、虞、模
- (4) 蟹 攝・・・齊、祭、泰、佳、皆、夬、灰、哈、廢
- (5) 止 攝・・・支、之、脂、微
- (6) 效 攝・・・蕭、宵、肴、豪
- (7) 流 攝・・・尤、有、宥
- (8) 咸 攝・・・覃、談、咸、鹽、添、嚴、凡、銜
- (9) 深 攝・・・侵
- (10) 山 攝・・・元、寒、桓、刪、山、先、仙
- (11) 臻 攝・・・寘、諄、臻、文、欣、魂、痕
- (12) 宕 攝・・・陽、唐

- (13) 江 攝・・・江
- (14) 曾 攝・・・蒸、登
- (15) 梗 攝・・・庚、耕、清、青
- (16) 通 攝・・・東、冬、鍾

7 「等」について

中古音の韻図（例えば『韻鏡』）では主母音の開口度について大～小の四つの段階を区別し、その区別を「等」と称した。そこで韻図の形式に基づいて、『広韻』のすべての韻を「1等韻」「2等韻」「3等韻」「4等韻」と分けることができる。それぞれの特徴はつぎのようである。

- 1等韻・・・介音 [i] がなく、主母音の開口度がもっとも大きい後舌母音および中舌母音の韻（主母音 [ɑ、ə、o、u] をもつ）
- 2等韻・・・介音 [i] がなく、主母音の開口度が1等韻に比べ小さく、舌の位置が前寄りの母音をもつ韻（主母音 [a、æ、e] をもつ）
- 3等韻・・・介音 [i] があり、主母音が開口度の比較的小さな前舌母音、あるいは中舌母音、後舌母音の韻（主母音 [a、ə、u、o、ě、ɑ、æ] をもつ）
- 4等韻・・・介音 [i] がなく、主母音の開口度がもっとも小さな前舌母音の韻は、主母音 [e] をもつ。なお4等韻の介音「i」は、中古前期にはなくて中古後期に生じたとされるいる。

8 『廣韻』韻目の「等」による分類

『廣韻』韻目を韻図の「等」によって分類すると以下のようなようである。

- 1等韻：東、模、泰、灰、咍、魂、痕、寒、桓、豪、歌、戈、唐、登、侯、覃、談

（1等韻の字は韻図で一等欄に置かれ、下図の19声母と結合する）

來	匣曉影	心從清精	疑	溪見	泥定透端	明並滂幫

- 2等韻：江、佳、皆、夬、刪、山、肴、庚、耕、咸、銜

（2等韻の字は韻図で二等欄に置かれ、下図の19声母と結合する）

來	匣曉影	生崇初莊	疑 溪見	泥澄徹知	明並滂幫

3等韻：東、微、廢、文、欣、元、嚴、凡、幽、臻、鍾、支、脂、之、
魚、虞、祭、寘、諄、仙、宵、陽、清、蒸、尤、侵、鹽

3等韻については、さらに次のように下位分類することができる。

3等韻/子類：微、廢、欣、文、元、庚、嚴

(3等韻子類の字は韻図で三等欄に置かれ、下図の11声母と結合する)

	喻 曉影		疑群溪見		微奉敷非

3等韻/丑類：之、麻、陽、蒸、清、東、鍾、虞、魚、尤

(3等韻丑類の字は韻図で三等欄を中心に四等欄・二等欄にも字が置かれ、
下図の32声母と結合する)

		生崇初莊			
日來	云 曉影	禪書船昌章	疑群溪見	泥澄徹知	明並滂幫 (微奉敷非)
	以	邪心從清精			

3等韻/寅類：支、脂、祭、仙、宵、塩、侵、真、幽

(3等韻寅類の字は韻図で三等欄・四等欄のほかに二等欄にも字が置かれ、
下図の42声母と結合する。明並滂幫・疑群溪見・曉影の10声母につい
ては、3等欄に置かれるものをB類、4等欄に置かれるものをA類として
区別した)

		生崇初莊			
日來	云 曉影	禪書船昌章	疑群溪見	泥澄徹知	明並滂幫
	以 曉影	邪心從清精	疑群溪見		明並滂幫

4等韻：齊、先、蕭、青、添

(4等韻の字は韻図で四等欄に置かれ、下図の19声母と結合する)

來	匣曉影	心從清精	疑 溪見	泥定透端	明並滂幫

9 「呼」について

中国音韻学では韻母を4つの「等」以外に、「呼」によっても分類することができる。「開口呼」と「合口呼」の二種がある。

- ①開口呼…介母〔u〕がない韻母、または主母音が円唇母音以外の韻母
- ②合口呼…介母〔u〕がある韻母、または主母音が円唇母音の韻母

10 開口・合口に分けた『広韻』韻目表およびその音價

攝	開			口		
	一等	二等	三等子類	三等丑類	三等寅類	四等
①果	歌 a			戈 ia		
②假		麻 a		麻 ia		
④蟹	哈 ɿ 泰 ai	皆 ɐi 佳 æi 夬 ai	廢 iai		祭 iæi	齊 ei
⑤止			微 iəi	之 iə	支 ië 脂 iëi	
⑥效	豪 au	肴 au			宵 iæu	蕭 eu
⑦流	侯 əu			尤 iəu	幽 iëu	
⑧咸	覃 ɰm 談 am	咸 ɐm 銜 am	嚴 iam		鹽 iæm	添 em
⑨深					侵 iëm	
⑩山	寒 an	山 æn 刪 an	元 ian		仙 iæn	先 en
⑪臻	痕 ən		欣(殷) iən		眞 iën	
⑫宕	唐 aŋ			陽 iaŋ		
⑬江		江 auŋ				

⑭曾	登 əŋ			蒸 iěŋ		
⑮梗		庚 əŋ 耕 æŋ	庚 iəŋ	清 iæŋ		青 əŋ

合 口						
攝	一等	二等	三等子類	三等丑類	三等寅類	四等
①果	戈 ua			戈 iua		
②假		麻 ua				
③遇	模 o			魚 io 虞 iu		
④蟹	灰 uai 泰 uai	皆 uæi 佳 uæi 夬 uai	廢 iuai		祭 iuæi	齊 uei
⑤止			微 iuæi		支 iuě 脂 iuěi	
⑧咸			凡 iuam			
⑩山	桓 uan	山 uæn 刪 uan	元 iuan		仙 iuæn	先 uen
⑪臻	魂 uən		文 iuən		諄 iuěn	
⑫宕	唐 uɑŋ			陽 iuɑŋ		
⑭曾	登 uəŋ					
⑮梗		庚 uəŋ 耕 uəŋ	庚 iuəŋ	清 iuəŋ		青 uəŋ
⑯通	東 uŋ 冬 oŋ			東 iuŋ 鍾 ioŋ		

推定音價は佐藤昭『中国語語音史』白帝社2002による。

11 Karlgren による中古音音價推定の一例

『韻鏡』「外轉 第二十三開から平聲・牙音字を例に挙げ再構成したのが下記

の表である。

	疑母	群母	溪母	見母	
(寒)	豸	○	看	干	一等・洪音
(刪)	顔	○	馬	姦	二等・洪音
(仙)	妍	乾	愆	甄	三等・細音
(先)	研	○	牽	堅	四等・細音

スウェーデンの言語学者 Karlgren は、1等から4等までの開口・合口の各1字について、例えば次表のように音価推定した。

等 / 呼	開口	合口
1 等	干 kan	官 kuan
2 等	姦 kan	關 kwan
3 等	甄 k _i ɛn	勦 k _i wɛn
4 等	堅 kien	涓 kiwen

12 陰聲韻・陽聲韻・入聲韻

中古音の韻は韻尾の種類によって次の3類に分けることができる。

- ① 陰聲韻…韻尾 [-ゼロ、-i、-u] で終わる音節
止攝、遇攝、效蟹 果攝、假攝 流攝の各韻
- ② 陽聲韻…韻尾 [-n、-m、-ŋ] で終わる音節
 - (1) 咸攝…覃、談、鹽、添、咸、銜、嚴、凡の各韻
 - (2) 深攝…侵韻
 - (3) 山攝…元、寒、桓、刪、山、先、仙の各韻
 - (4) 臻攝…眞、諄、臻、文、欣、魂の各韻
 - (5) 宕攝…陽、唐の各韻
 - (6) 江攝…江韻
 - (7) 曾攝…蒸、登の各韻

(8) 梗攝・・・庚、耕、清、青の各韻

(9) 通攝・・・東、冬、鍾の各韻

③ 入聲韻・・・韻尾 [-k、-t、-p] で終わる音節

(1) 咸攝・・・合、盍、葉、帖、洽、狎、業、乏の各韻

(2) 深攝・・・緝韻

(3) 山攝・・・曷、末、鎋、黠、屑、薛の各韻

(4) 臻攝・・・質、術、物、迄、月、沒の各韻

(5) 宕攝・・・藥、鐸の各韻

(6) 江攝・・・覺韻

(7) 曾攝・・・職、德の各韻

(8) 梗攝・・・陌、麦、昔、錫の各韻

(9) 通攝・・・屋、沃、燭の各韻

13 中国語の変遷と時代区分

中国語の音韻変遷に関する時代区分としては、主に以下のような説がある。

(1) 王力『漢語史稿』

上古音：紀元 3 世紀以前 (3、4 世紀は過渡期)

中古音：紀元 4 世紀～12 世紀 (12、13 世紀は過渡期)

近代音：紀元 13 世紀～19 世紀

(1840 年の阿片戦争～1919 年「5・4 運動」は過渡期)

現代音：20 世紀 (「5・4 運動」以後)

(2) 董同龢『漢語音韻学』

上古音：先秦語音・・・ 『詩経』音、諧声字の音

中古音：隋、唐初・・・ 『切韻』音系

近古音：宋、元初・・・『古今韻会举要』音

近代音：元・・・ 『中原音韻』の音

現代音：明、清・・・現代漢語音

(3) 李新魁『古今概説』

上古音：周～秦

近古音：漢、魏、晋、南北朝

中古音：隋、唐、宋

近代音：元、明、清

現代音：清代以後

14 古代韓国漢字音（李朝音）の子音・母音 （韓国漢字音の音声記号による発音転写）

古代韓国漢字音とは、古代時期に中国から朝鮮半島に伝えられ、当時の中国音に基づきながらもハングル文字体系に合わせて表現された漢字音のことである。李朝音が正確に記録されたのは15C以後ハングルが発明された後のことで、当時のハングルで表記された漢字音文献は多数残されている。

古代韓国語で用いられた子音・母音のうち、漢字音に用いられた子音・母音は次のとおりである。音声表記による転写法は、伊藤智ゆき『朝鮮漢字音研究』を参考にして定めた。

子音： 平音 ㅍ p ㅌ t ㅋ k ㅅ s ㅆ ts ㅎ h
 (濃音 ㆁ k' ㅆ s')

 激音 ㅍ p' ㅌ t' ㅋ k' ㅆ ts'

 鼻音 ㅁ m ㄴ n ㅇ ŋ

 流音 ㄹ r ㄷ z

基本母音： 아 a 야 ia 어 ə 여 iə 오 o 요 io 우 u 유 iu ㅡ u 이 i
 ・ ㅏ

複合母音： 애 ai 얘 iai ऐ əi 예 iəi 와 oa 왜 oai 외 oi 위 uə
 웨 uəi 위 ui 의 wi ・ ㅣ ai

※いわゆる濃音は漢字音としてはほとんど用いられない。わずかに「雙氏」の2字がㅆ s'で、「喫」1字がㆁ k'で発音される。激音ㅍ p'・ㅌ t'・ㅆ ts'の3字は漢字音にもよく用いられるが、激音ㅋ k'は漢字音ではほとんど用いられず、「快」1字だけがこの音で発音されている。

※李朝時代には用いられたが、現代では用いられない文字としては、子音文字ㅏ、母音文字・がある。

15 現代韓国漢字音の子音・母音 （韓国漢字音の音声記号による発音転写）

現代韓国語で用いられる子音・母音のうち、漢字音に用いられる子音・母音は次のとおりである。音声記号による転写法は、陳植藩 1964「朝鮮語中的漢字詞」を参考にして定めた。

子音：平音 ㅍ p ㅌ t ㅋ k ㅅ s ㅈ ts ㅎ h
 (濃音 ㅍ k' ㅌ s')

激音 ㅍ p' ㅌ t' ㅋ k' ㅈ ts'

鼻音 ㅁ m ㄴ n ㅇ ŋ

流音 ㄹ l (r 語頭)

基本母音：아 a 야 ia 어ə 여 ie 오 o 요 io 우 u 유 iu ㅡu 이 i

複合母音：애 ε 애 ie 에 e 예 ie 와 wa 왜 oε 외 ø 위 uə 웨 ue 위 y 의 ui

- * ts・ts'の実際の音価は舌葉音 [tʃ・tʃʰ]
- * 古代韓国音の二重母音のいくつかは現代音で単母音にかわった。
 [ai>ε、ai>e、oi>ø、ui>y、] 同様に三重母音は二重母音に変わった。
 [iai>iε、iai>ie、oai>oε、uai>ue]

16 中古漢語の聲母と対応する韓国漢字音

聲母	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音	例字（発音は現代の漢字音）
幫 p	p (p')	p (p')	保 po 比 pi 包 p'o 彼 p'i
滂 p'	p (p')	p (p')	配 pε 普 po 批 pi 判 p'an
並 b	p (p')	p (p')	貧 pin 葡 p'o 便 p'ian 培 pε
明 m	m	m	目 mok 每 mε 民 min 面 miən
非 pf	p (p')	p (p')	反 pan 方 paŋ 飛 pi 富 pu
敷 pf'	p (p')	p (p')	費 pi 芳 pun 豊 p'uŋ 肺 p'ie
奉 bv	p (p')	p (p')	房 paŋ 煩 pen 逢 p'uŋ 吠 p'ie
微 ŋ	m	m	問 mon 武 mu 万 man 美 mi
端 t	t	t (ts)	東 toŋ 丹 tan 短 tan 店 t sən
透 t'	t' t	t' t ts ts'	討 t'o 炭 t'an 通 t'oŋ 天 ts'an

定 d	t t'	t t' ts ts'	豆 tu 同 toŋ 第 tse 誕 t'an
泥 n	n	n	泥 ni 內 nɛ 奴 no 能 nuŋ
知 tʃ	t t' ts ts'	t t' ts ts'	中 tsuŋ 追 ts'u 智 tsi 卓 t'ak
徹 t'	t' ts'	t' ts ts'	超 ts'o 褚 tsə 癡 ts'i
澄 d	t ts ts'	t ts ts'	程 tsəŋ 茶 ts'a 治 ts'i 朝 tso
娘 n	n	n	娘 naŋ 年 niən 南 nam
見 k	k (h)	k (h)	工 koŋ 交 kio 革 hiək 見 kiən
溪 k'	k (h)	k (h)	開 kɛ 汽 ki 空 koŋ 抗 haŋ
群 g	k	k	其 ki 巨 kə 強 kaŋ 劇 kuək
疑 ŋ	ゼロ	ゼロ	月 uəl 玉 ok 銀 um 外 ø
精 ts	ts (ts')	ts (ts')	子 tsa 組 tso 總 tsoŋ 醉 ts'y
清 ts'	ts'	ts'	妻 ts'ə 次 ts'a 草 ts'o 侵 ts'im
從 dz	ts (ts')	ts (ts')	自 tsa 財 tse 前 tsən 層 ts'uŋ
心 s	s	s	新 sin 思 sa 四 sa 遂 su
邪 z	s	s	詳 saŋ 謝 sa 習 sup 相 saŋ
莊 tʃ	ts	ts	策 tso 蓋 tsan 責 ts'ɛk 捉 ts'ok
初 tʃ'	ts'	ts'	冊 ts'ɛk 窗 ts'aŋ 差 ts'a 炒 ts'o
崇 dz	ts ts' s	ts ts' s	事 sa 床 saŋ 撰 sən 炸 tsak
生 ʃ	s	s	獅 sa 山 san 手 su 世 se
章 tɕ	ts (ts')	ts (ts')	占 tsəm 戰 tsən 章 tsəŋ 招 ts'o
昌 tɕ'	ts'	ts'	昌 ts'aŋ 車 ts'a 充 ts'uŋ 齒 ts'i
船 dz	s	s	食 sik 寔 sil 順 sun 示 si
書 ɕ	s	s	扇 sən 商 saŋ 少 so 申 sin
禪 ʒ	s	s	十 sip 時 si 社 sa 成 səŋ
影 ?	ゼロ (k·h)	ゼロ (k·h)	安 an 陰 in 優 u 医 ui
云 fi	ゼロ	ゼロ	永 iəŋ 雨 u 胃 y 炎 iəm

以 j	ゼロ	ゼロ	勇 ionj 治 ia 陽 ianj 姨 i
曉 x	h (k)	h (k)	呼 ho 灰 hø 希 hui 貨 hoa
匣 y	h (k)	h (k)	效 hio 下 ha 活 hwal 厚 hu
來 l	r	ゼロ, r (語中)	理 i(ri) 勞 no(ro) 流 iu(riu) 立 ip(rip)
日 nʒ	z ゼロ	ゼロ	日 il 人 in 入 ip 耳 i 褥 iok

表中、() 内は少数を表す

『東国正韻』①序に、学者申叔舟②は、韓国基本 17 字母をその礎に利用して中古音 36 字母と比較し分析し、以下の結果を記している。韓国漢字音には、

①全濁音の字母はなく、唇音に重・軽唇音の区別がない。

ここにいう重・軽唇音の重唇音とは 36 字母の幫組声母のこと、軽唇音とは非組声母のことである。

③また舌頭音・舌上音の区別はなく、齒音に齒頭音・正齒音の区別がない。

ここにいう舌頭音・舌上音とは 36 字母端組声母・知組声母のこと、齒頭音・正齒音とは 36 字母の精組声母・莊組章組声母のことである。

①동국정음 : 韓国に現存する最初の韻書、李朝の申叔舟らが中心になり編集した活字本 6 巻、1447 年(世宗 29) 成立、翌年刊行。4 声・23 母・91 韻に分類している。朝鮮漢字音を整理すべく元の『古今韻会举要』1927 の諺解(ハングル訳)を囚ったがうまくゆかず、これを土台に朝鮮漢字音独自の韻書を作ることになり成立。区分けは中国の如く 4 声の別をもつてせず、同種の韻を一括し、その中を 4 声に分けている。漢字音は初期のハングル字体で示されている。

②신숙주、1417 年(太宗 17 年) — 1475 年(成宗 6 年)、朝鮮王朝初期の政治家・学者、字は泛翁、号は希賢堂あるいは保閑齋、諡号は文忠。

1439 年(世宗 21 年)に文科に合格して官吏となり、学問研究所兼諮問機関である集賢殿に登用される。日本語、中国語など他の言語も上手かったために外交官として活躍し、1443 年(世宗 25 年)には通信使の書状官として日本に赴いた。特にハングルの創制や『東国正韻』の編纂にも参加し、義理の祖父の尹会윤회と共に、世宗の重用を受けた。1462 年(世祖 8 年)には朝

鮮王朝の最高官職である領議政영의정となった。世祖は彼を、唐の太宗に仕えた名臣・魏微になぞらえたという。つづけて成宗に仕えた彼は、世宗の命を受け、かつて室町幕府の足利義教将軍の時に、日本を訪問した経験を基に『海東諸国紀』を著し、1471年（成宗2年）に刊行している。

第3章 中古漢語の韻母と対応する韓国漢字音（入声韻母がない摂）

以下において、中古漢語の韻目を掲げる場合は、平声韻目をもって上声・去声韻目を兼ねることとする。

1 果攝

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
歌 開1 表1	a	a 多 ta 羅 ra 歌ka oa 左tsoa ai 馱 t'ai 個 kai	a 多 ta 羅 ra 歌ka oa 左tsoa ε 馱 t'ε
戈 開3 表7-1・2	ia	a 茄伽 ka	a 茄伽 ka

戈 合 1 表 4	ua	a 波 p'a 魔 ma 妥 t'a oa 座 tsoa 戈 koa 火 hoa	a 波 p'a 魔 ma 妥 t'a oa 座 tsoa 戈 koa 火 hoa
戈 合 3 表 8-1・2	iua	oa 靴 hoa	oa 靴 hoa

果撮は、歌韻と戈韻からなり、開口と合口併せて4つの韻母を含む。韓国漢字音は1・3等字とも母音 a をもつ。中古漢語音は開口1等・3等で介韻 i があるものとないものの区別があるのに対して、韓国漢字音では3等において介音 i の省略が見られる。また合口では、牙音・喉音と歯音一部に合口介音 o が保たれるが、唇音と舌音ではその介音が見られない。開口1等に個別の発音として二重母音 ai が見られるが、これは現代漢字音では単母音 ε に変わった。韓国漢字音における個別的变化としては、tsa→tsoa (佐)、soa→soε となるもの(鎖)、hoa→koa となるもの(夥①)、hoa→hoε となるもの(夥②)などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表 3 大の tε/t' は、南廣祐 1973 によると、『三韻・奎章』に、「대: 小之對・過也、甚也、다: 巨也」の意味区別が見られ、『宣孟』には大夫대부, 諺解には대우 (‘日’脱落) の二つの表記があるとする。

なお‘大’字は、中国語では、歌韻開口1等字としては中古 [a] — 近代 [a] — 現代 [a]、泰韻開口一等字としては中古 [ai] — 近代 [ai] — 現代 [ai] の変化を経ている。現代韓国漢字音の大家대가大講堂대강당大概대개は「集韻」徒蓋切を、大師대사又音대사는「廣韻」他蓋切を継承された結果で、歌韻字としての古代音 ta の音は現代漢字音では消失している。

(2) 表 3 佐の現代韓国漢字音は、助ける意味の補佐보좌保佐보좌佐幕좌막のように tsoa の音が主であるが、同時に tsa の音もあり、佐飯좌반のみは中古 [a] の母音を継承している。

1 果撮

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	平	歌	1
開	1	上	哿	2
合	1	去	箇	3
合	1	平	戈	4
合	1	上	果	5

合	1	去	過	6
開	3	平	戈	$7-1 \cdot 2$
合	3	平	戈	$8-1 \cdot 2$

表 1	反 切	果攝 開口一等 / 平聲 / 歌韻 / 李朝音→現代音
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	得何切	多 다→다
6 透	託何切	拖他它 타→타
7 定	徒河切	陀駝跢訶訖龔駝 타→타 馱 태→태
8 泥	諾何切	挪難 (盛貌) 나→나
9 來	魯何切	羅鑼羅蘿 라→라
10 精		
11 清	七何切	搓磋蹉 차→차
12 從	昨何切	齶瘡嗟 차→차
13 心	素何切	杪娑 사→사
14 見	古俄切	歌哥柯 가→가
15 溪	苦何切	珂軻 가→가
16 疑	五何切	蛾鵝俄峨娥 아→아
17 曉	虎何切	訶呵 하→가
18 匣	胡歌切	何河荷 하→하 苛하→가
19 影	烏何切	阿 아→아

表 2	反 切	果攝 開口 一等 / 上聲 哿韻 / 漢字音 (李朝→現代)
-----	-----	--------------------------------

1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定	徒可切	舵 타→타
8 泥	奴可切	哪那 나→나
9 來		
10 精	臧可切	左 좌→좌
11 淸	千可切	嗟 차→차
12 從		
13 心		
14 見		
15 溪	枯我切	可岢 가→가
16 疑	五可切	我 아→아
17 曉		
18 匣	胡可切	荷 하→하
19 影		

表 3	反 切	果攝 開口 一等 / 去聲 / 箇韻 / 漢字音 (李朝→現代)
-----	-----	----------------------------------

1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定	唐佐切	大 다 →대/다 (極也) 馱 태→태
8 泥	奴箇切	那 나→나
9 來		
10 精	則箇切	佐 저/조→좌 (助也)
11 淸		
12 從		
13 心		
14 見	古賀切	個기→개 箇가/ 개→개
15 溪		
16 疑	五個切	餓 아→아
17 曉	呼箇切	荷 하→하
18 匣	胡箇切	禾和 화→화
19 影	安賀切	窩渦倭 와→와

表 4	反 切	果攝合口一等 / 平聲戈韻 / 漢字音 (李朝→現代)
-----	-----	-----------------------------

1 幫	博禾切	波 ㅍ→ㅍ
2 滂	滂禾切	玻坡頗 ㅍ→ㅍ
3 並	薄波切	婆 ㅍ→ㅍ
4 明	莫婆切	魔磨 마→마
5 瑞		
6 透		
7 定		
8 泥	奴禾切	按 나→나
9 來	落戈切	螺囉 라→라
10 精		
11 清		
12 從	昨禾切	矧 좌→좌
13 心	蘇禾切	囊 사→사 梭 사→사
14 見	古禾切	戈鍋 ㅍ→ㅍ
15 溪	苦禾切	科課窠 ㅍ→ㅍ
16 疑	五禾切	訛 와→와
17 曉		
18 匣	戶戈切	禾和 화 →화
19 影	烏禾切	窩渦倭 와 →와

表 5	反 切	果攝 合口 一等 / 上聲 果韻 / 漢字音 (李朝 →現代)
-----	-----	---------------------------------

1 幫	布火切	跛 ㅍ→ㅍ
2 滂	滂禾切	頗 ㅍ→ㅍ
3 並		
4 明		
5 瑞	丁果切	朶 ㅌ→ㅌ
6 透	他果切	妥橢 ㅌ→ㅌ
7 定	徒果切	墮 ㅌ→ㅌ
8 泥		
9 來	郎果切	裸 ㄹ→ㄹ
10 精		
11 清		
12 從	徂果切	坐 ㅈ→ㅈ
13 心	蘇果切	鎖瑣 ㅈ→ㅈ
14 見	古火切	果裏 ㅊ→ㅊ
15 溪	苦果切	顛 ㅊ→ㅊ
16 疑	五禾切	訛 ㅊ→ㅊ
17 曉	呼果切	火伙 ㅊ→ㅊ 夥 ㅊ→ㅊ (多也)
18 匣	胡果切	禍 ㅊ→ㅊ
19 影		

表 6	反 切	果攝合口一等 / 去聲 過韻 / 漢字音 (李朝→現代)
-----	-----	------------------------------

1 幫	補過切	播簸 파→파
2 滂	普過切	破 파→파
3 並	符臥切	萋 파→파 薄 뱍/박→박 (不厚·藥草)
4 明	摸臥切	磨 마→마
5 端	都唾切	剝 타→타
6 透	湯臥切	唾 타→타
7 定	徒臥切	惰 타→타
8 泥	乃臥切	糯 나→나
9 來	魯過切	摻 라→라
10 精	則臥切	挫 좌→좌
11 清	麤臥切	銼 좌→좌
12 從	徂臥切	座坐 좌→좌
13 心	先臥切	鎖瑣 쇠→쇄
14 見	古臥切	過 과→과
15 溪	苦臥切	課 과→과
16 疑	吾貨切	臥 와→와
17 曉	呼臥切	貨 화→화
18 匣	胡臥切	和 화→화
19 影	烏臥切	漉 와→와

表 7-1	反 切	果攝開口三等 / 平聲戈韻 / 漢字音 (李朝→現代)
-------	-----	-----------------------------

1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 7-2	反 切	果攝開口三等 / 平聲戈韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群	求迦切	茄伽 가 →가
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云		
32 以		

表 8-1	反 切	果攝合口三等 / 平聲戈韻 / 漢字音 (李朝→現代)

1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 8-2	反 切	果攝合口三等 / 平聲戈韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群	巨靴切	癘 가 →가
28 疑		
29 曉	許 切	靴 화 → 화
30 影	於靴切	
31 云		
32 以		

2 假攝

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
麻 開 2 表 9	a	a 巴 p'a 差 ts'a 家 ka	a 巴 p'a 差 ts'a 家 ka
麻 開 3 表 15-1・2	ia	a 爹 ta ia 邪 sia 車 ts'ia 野 ia	a 爹 ta a・ia 邪 sa 車 ts'a 野 ia
麻 合 2 表 12	ua	oa 髻 tsoa 瓜 koa 瓦 oa	oa 髻 tsoa 瓜 koa 瓦 oa

假攝は、麻韻開口 2・3 等、麻韻合口 2 等とも中古漢語の主母音はすべて前母音「a」である。韓国漢字音も母音は a で、果摂と同じである。開口 3 等は大部分（邪・車など）古代漢字音は ia であるが、現代では単母音 a でよまれる。ts・ts'・s などの子音の後で ia→a の変化があったのである。それ以外は ia が保たれる（耶・爺・野・夜など）。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表 9 茶 は澄母として中古 [d] > [t '] 音、麻韻開口 2 等として中古 [a] の母音が定着した字である。

現代韓国漢字音は茶菓다과茶房다방、茶차 茶禮차례の両音がある。、南廣祐 1973 によると、『訓蒙・類合』は‘茶’字に ts'a (訓) ta (音) を併用しており、『三韻・奎章』には ts'a のみ、『月釋』の梵語表記‘茶’字を차、『釋譜』には漢字はなく‘차반’表記から ts'a 音の起源は古いとされる。『訓蒙・類合』に‘茶’字の ts'a (訓) ta (音) 併記があるから、訓読みと音読みの平行が現代まで続いたと考えられる。

(2) 表 9 差 は、麻韻開口 2 等字として中古 [a] の母音、佳韻開口 2 等字として中古 ([æi] >) [ai] の母音、支韻開口 3 等字としては、中古 ([ie] >) [i] の母音であった。韓国漢字音では (舛也)、(不齊)、(貳也)、(過也) の 4 音が交じり合った後、現代では 차・치 両音のみ使われている。差別차별、差異차이、參差不齊참치부제。

(3) 表 11 榨 は、麻韻開口 2 等で中古 [a] からの変化音 tsa (側嫁切、打油具・壓酒器) があるが、現代漢字音では本来の tsa・ts'ak 両音が併用されている。

榨油道具の榨斗차두/작두、榨牀차상/작상、榨油郎작유랑 (鳥名)。この ts'ak 音は‘窄窄’などの聲符「窄」音につられた類推音であると考えられる。類推音は、主に同聲符字同音投影の原則を適用した結果で、漢字音に多く見られる現象である。

例えば、窄작/작→작、窄작/작→작、榨작/작→작に定着したのに対して、‘榨’は中古音への類推音を現代まで継承していると考えられる。なお、「窄」は梗攝陌韻開口 2 等字で中古 [ɛk] > [æk] からの変化を経ている。

(4) 表 15-2 車 は、麻韻開口 3 等字として、中古 [ia] からの変化音は ts'ia 音 (昌遮切) で、ts'ia 音から中古音での介音 [i] を脱落させ ts'a に至り、表 21-2 車 は、魚韻合口

3等字として中古〔io〕からの変化音kə音が定着したもの。「車」の現代韓国漢字音ではts'a・kə二つの音が平行し使用されるが、その起源は古く、『奎章』にはkə（輿輪総名）、ts'a（輅也、姓也）の意味区別が記されている。

この意味区別も現代に継承され、「自転車자전거 檻車함거 人力車인력거 四輪車사륜거 車駕거가 杷車과거」のように「輿」の如く人力を用いる場合はkə、人名及び一般運輸関連はts'aである。自動車자동차 電動車전동차 車票차표 車道차도。なお、中国語では「運輸道具：車」と「将棋の駒：車」は同字で両音を使い分ける。

(5) 表17-1 藉は、麻韻開口3等で中古〔ia〕からの変化音tsa、表272-1 昔韻開口3等中古〔iæk〕 > 〔iek〕からの変化音tsəkがあり、現代音でも両音が併用されている。

藉口자구 藉勢자세 藉重자중 藉田적전 藉甚적심/자심。

(6) 表17-2 射は、現代漢字音ではsa音のみであるが、古代に四つの音が併用され、南廣祐 1973によると、『奎章』には「샤：発射、야：秦官名僕一、석：指物而取、역：律名無一・山名姑」の意味区別が見られる。

①表17-2の麻韻開口3等・船母（歯音）でのsia '샤'音は、神夜切の矢を射る意味で、中古〔ia〕からの変化音である。

②表17-2の麻韻開口3等・以母（喉音）でのia '야'音は、夤謝切の官名の意味で、中古〔ia〕からの変化音である。

③表272-2 昔韻開口3等・船母（歯音）でのsiæk '석'音は、食亦切の矢を射る意味で、中古〔iæk〕 > 〔iek〕からの変化音である。

④表272-2 昔韻開口3等・以母（喉音）でのiæk '역'音は、夷益切の厭う意味で、中古〔iæk〕 > 〔iek〕からの変化音である。

2 假攝

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	2	平	麻	9
開	2	上	馬	10
開	2	去	禡	11
合	2	平	麻	12
	2	上	馬	13
合	2	去	禡	14
開	3	平	麻	15-1・2
開	3	上	馬	16-1・2
開	3	去	禡	17-1・2

表9	反切	假攝 開口 2等 / 平聲 麻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
----	----	--------------------------------

1 幫	伯加切	巴芭芭 ㅍ→ㅍ
2 滂	普巴切	葩 ㅍ→ㅍ
3 並	浦巴切	爬鈹杷琶 ㅍ→ㅍ
4 明	莫霞切	麻麻 마→마
5 知		
6 徹		
7 澄	宅加切	搽 차→차 茶차→차 (本音) / 다 (茗也) 荏 찌→치
8 娘	女加切	拿 나→나
9 來		
10 莊	鉏加切	查渣楂 차→사
11 初	初牙切	叉杈 차→차 差차→차 (舛也·扱也) / 치 (不齊)
12 崇		
13 生	所加切	杪沙砂鯨裳 사→사
14 見	古牙切	家傢加嘉痂 가→가
15 溪		
16 疑	五加切	牙芽衙 아→아
17 曉	許加切	哈합→합
18 匣	胡加切	蝦霞瑕遐 하→하
19 影	於加切	鴉 Y 아 →아 樞 아→아

表 10	反 切	假攝 開口 2等/ 上聲馬韻 / 漢字音 (李朝→現代)
------	-----	------------------------------

1 幫	博下切	把 ㅍ → ㅍ
2 滂		
3 並		
4 明	莫下切	馬嗎瑪 마 → 마
5 知	都賈切	打 타 → 타 (擊也)
6 徹	丑下切	妣 차/타 → 차
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	側下切	鮓 자 → 자
11 初		
12 崇	士下切	荏 짜 → 치
13 生	砂下切	灑 사 → 사
14 見	古疋切	假佶嘏擧 가 → 가
15 溪		
16 疑	五下切	雅 아 → 아
17 曉		
18 匣	胡雅切	下夏廈 하 → 하
19 影	烏下切	唾 아 → 아

表 11	反 切	假攝 開口 二等 / 去聲 禡韻 / 漢字音 (李朝→現代)
------	-----	--------------------------------

1 幫	必駕切	霸 擯 灑 파→파 壩 排→파
2 滂	普駕切	怕 帕 파→파
3 並	白駕切	耙 파→파
4 明	莫駕切	罵 마→매 禡 마→마
5 知	陟駕切	吒 차→타
6 徹	丑亞切	詫 차→타
7 澄	除駕切	蛇 샤→사
8 娘		
9 來		
10 莊	側駕切	詐 사→사 權 자→자
11 初	切	岔 차→차
12 崇	鋤駕切	乍 蜡 자→사
13 生	所嫁切	厦 하→하
14 見	古訝切	假 稼 嫁 架 駕 佞 가→가
15 溪		
16 疑	吾駕切	訝 迓 研 아→아
17 曉	呼訝切	嚇 하→하
18 匣	胡駕切	暇 下 夏 하→하
19 影	衣嫁切	亞 婭 아→아

表 12 | 反 切 | 假攝 合口 2等 / 平聲 麻韻 / 漢字音 (李朝→現代)

1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	陟瓜切	𪗇 𪗇 → 𪗇
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	莊華切	𪗇 𪗇 → 𪗇
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古華切	瓜蝸媧 𪗇 → 𪗇
15 溪	苦瓜切	誇姘夸 𪗇 → 𪗇
16 疑		
17 曉	呼瓜切	花譱 𪗇 → 𪗇
18 匣	戶花切	華鐸驩 𪗇 → 𪗇 划 𪗇/𪗇 → 𪗇
19 影	烏瓜切	窪窞蛙 𪗇 → 𪗇

表 13	反 切	假攝 合口 2 等 / 上聲馬韻 / 漢字音 (李朝 → 現代)
------	-----	----------------------------------

1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古瓦切	寡副 𠵼→𠵼
15 溪	苦瓦切	𠵼 𠵼→𠵼
16 疑	五寡切	瓦 𠵼→𠵼
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 14	反 切	假攝 合口 2 等 / 去聲 禡韻 / 漢字音 (李朝 → 現代)
1 幫		

2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪	苦化切	跨跨 𠵿→𠵿
16 疑	五化切	瓦 𠵿→𠵿
17 曉	呼霸切	化 𠵿→𠵿
18 匣	胡化切	華樺 𠵿→𠵿
19 影		

表 15-1	反切	假攝開口三等 / 平聲麻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
--------	----	-----------------------------

1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	陟加切	爹 다→다
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精	子邪切	嗟 차→차
11 清		
12 從		
13 心	寫邪切	些 샤→사
14 邪	以嗟切	邪斜 샤→사
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 15-2	反 切	假攝開口三等 / 平聲麻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	正奢切	遮 차→차
20 昌	尺遮切	車礎 차→차
21 船	食遮切	蛇 사→사
22 書	式車切	奢賒 사→사
23 禪	視遮切	余 여→여
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云		
32 以	切	椰耶爺 야 →야

表 16-1	反 切	假攝開口三等 / 上聲馬韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精	七也切	姐 저→저
11 淸	昌者切	且 자/차→차
12 從		
13 心	悉姐切	寫 싸/샤→샤
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 16-2	反 切	假攝開口三等 / 上聲馬韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	章也切	者赭 ㅈ → ㅊ
20 昌	昌者切	扯擻 ㅊ → ㅉ
21 船		
22 書	書治切	捨舍 ㅅ → ㅆ
23 禪	常者切	社 ㅅ → ㅆ
24 日	人者切	惹 ㅈ → ㅊ
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云		
32 以	羊者切	也野治 ㅈ → ㅊ

表 17-1	反 切	假攝開口三等 / 去聲禡韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精	子夜切	借 차 →차
11 淸	遷謝切	苴 자→자 起 주/저→저
12 從	慈夜切	藉 자→자 (薦也) / 적 (狼一·雜亂) 네 썩/차→자 (小兒服)
13 心	司夜切	瀉卸 샤 →사
14 邪	辭夜切	謝樹 샤 →사
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 17-2	反切	假攝開口三等 / 去聲禡韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之夜切	蔗柘 자→자 鷓 저→자
20 昌		
21 船	神夜切	麝貫射사 (發矢・速如矢) /샤→사
22 書	始夜切	赦舍 샤→사
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云		
32 以	羊謝切	夜 야 → 야 射 야→야 (官名)

3 遇攝

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
模 合1 表18	o	o 普po 都to 租tso 古ko u 部pu 杜tu	o 普po 都to 租tso 古ko u 部pu 杜tu
魚 合3 表21-1・2	io	iə 著tiə 徐書siə 與iə ə 鋤sə 去kə 魚iə o 梳所so 楚ts'o	ə・iə 著tsə 徐書sə 與iə ə 鋤sə 去kə 魚iə o 梳所so 楚ts'o
虞 合3 表24-1・2	iu	iu 株tiu 朱tsiu 須siu u 夫pu 趨ts'u 句ku	u・iu 株tsu 朱tsu 須su u 夫pu 趨ts'u 句ku

遇攝は、合口1等模韻、合口3等魚韻・虞韻がある。模韻字はoをもつものが圧倒的に多く、少数がuをもつ。唇音字のなかに一部u→o（鋪佈）、o→u（圃）と変化したものがある。魚韻と虞韻は中古漢語の後期には合流したが、韓国漢字音は両者が合流する前の区別状態を伝えており、両者を母音əとuという形で区別している。ただし魚韻の莊組字はəではなくoとなっている。頭子音の変化としては、tが母音iə、iuのまえでtsに変わったということが挙げられる。またts・ts'・sの後では母音iə・iuはiを落としてそれぞれ単母音ə・uとなった。魚韻字の「除」がtiə→tse、「諸」がtsiə→tseと変化したのは例外。また虞韻字の「取・趣・娶」がts'iu→ts'yと変化したのは例外。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表20 **度**は、暮韻合口1等で中古[o]からの変化音to(徒故切、方制・丈尺・過也)、表224 鐸韻開口1等で中古[ak]からの変化音t'ak(達各切、謀也・付也)になり、現在でも両音を併用している。

限度한도 度量도량 度数도수 付度촌탁 度計탁계 度大탁대 度曲도곡/탁곡。

なお、日本語にも遇攝の暮韻/鐸韻の中古音の継承が見られる。

限度げんど 度数どすう 支度したく 付度そんたく 度げたげ○;形やり一な顔つき

(2) 表23-1 **著**は、御韻合口3等で中古[iə]からの変化音tsə、表272-1 昔韻開口3等で中古[iæk] > [iɛk]からの変化音tsəkがあり、現代漢字音でも古代からの意味区別を継承し陟慮切‘저’(明也・章也、一名)、直略切‘착’(附也・黏也、置也)を使い分ける。

著大저대 著録저록 著明저명 著書저서 / 著工착공 著眼착안 著近착근 著念착념。

(3) 表25-1 **數**は、虞韻(上聲)合口3等で中古[iu]からの変化音su(爽主切、計也・責也)、表26-1の遇韻(去聲)合口3等で中古[iu]からの変化音su(雙遇切、算一枚

也・理致・運一)、表228の覺韻開口2等で中古[auk]からの変化音sak(色角切、頻屢)、表292-1の燭韻合口3等で中古[iok]からの変化音sok(趨玉切、細密)の4つの音がある。中国語では入聲韻尾が母音化したか、韓国漢字音では虞韻(上聲)のsu‘수’と遇韻(去聲)のsu‘수’は同じ遇攝字で似通う意味の関係で一つに合わさったと考えられるが、ほかの2つは中古からの意味と音を保って現在に至っている。

數刻수각 數箇수개 數窮수궁 數脈삭맥 數尿症삭뇨증 數遞삭체 數罟측고。

(4) 表26-1 足は、遇韻合口3等で中古[iu] 変化音tsu(遵遇切、跡也・満也)、

表292-1の燭韻合口3等で中古[iok]からの変化音tsok(縦玉切、添物益也・一恭便僻)の両音があるが、現代では足恭‘주공(程度の過ぎる恭敬)’の語で古代音の痕跡が見られる。 洽足흡족 豊足풍족 満足만족 不足부족

3 遇攝

開合	等	聲調	韻目	表番号
合	1	平	模	18
合	1	上	姥	19
合	1	去	暮	20
合	3	平	魚	21-1・2
合	3	上	語	22-1・2
合	3	去	御	23-1・2
合	3	平	虞	24-1・2
合	3	上	麌	25-1・2
合	3	去	遇	26-1・2

表 18	反 切	遇攝合口一等 / 平聲模韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博孤切	逋 ㅍ → ㅍ
2 滂	普胡切	鋪 ㅍ → ㅍ
3 並	薄胡切	蒲葡 ㅍ → ㅍ 脯 ㅍ/ㅍ → ㅍ 苦고 → ㄱ
4 明	莫胡切	模謨 모 → 모
5 端	當孤切	都 도 → 도
6 透		
7 定	同都切	徒屠途塗圖荼 도 → 도
8 泥	乃都切	奴孥 노 → 노
9 來	落胡切	盧爐鑪顱瀘壚纒臚輓轆 로 → 로
10 精	則吾切	租 조 → 조
11 清	倉胡切	粗 초 → 초
12 從	昨胡切	徂殂조 → 조
13 心	素姑切	蘇酥穌甦 소 → 소
14 見	古胡切	姑沽辜姑箍孤觚 ㄱ → ㄱ
15 溪	苦胡切	枯劓 ㄱ → ㄱ
16 疑	五乎切	吳吾桐颯 오 → 오
17 曉	荒烏切	呼虜 호 → 호
18 匣	戶吳切	胡湖糊胡鬚壺乎 호 → 호
19 影	哀都切	烏鳴汚朽 오 → 오

表 19	反 切	遇攝合口一等/ 上聲姥韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博古切	補譜 ㅃ→ㅍ 圃ㅃ→ㅍ
2 滂	滂古切	普ㅃ→ㅍ 溥ㅃ→ㅍ 浦ㅃ→ㅍ
3 並	裴古切	部簿 ㅍ→ㅍ
4 明	莫補切	姥 모→모
5 端	當古切	堵賭覩 도→도 肚두→두
6 透	他魯切	土吐 토→토
7 定	徒古切	杜肚 두→두
8 泥	奴古切	努弩 노→노
9 來	郎古切	虜魯滷櫓鹵 로→로
1 0 精	則古切	租組 조→조
1 1 清		
1 2 從		
1 3 心		
1 4 見	公戶切	估古牯股鼓 고→고
1 5 溪	康杜切	苦 고→고
1 6 疑	疑古切	五伍忤午 오→오
1 7 曉	呼古切	虎滸琥 호→호
1 8 匣	侯古切	戶滹屨怙拏 호→호 鄔 호→호
1 9 影	安古切	塢 오→오

表 20	反 切	遇攝合口一等 / 去聲暮韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博故切	布佈 ㅍ→ㅍ
2 滂	普故切	怖鋪 ㅍ→ㅍ
3 並	薄故切	哺捕 ㅍ→ㅍ
4 明	莫故切	暮慕募 ㅁ→ㅁ 墓 ㅁ→ㅁ
5 端	當故切	蠹 ㄷ→ㄷ 妬 ㄷ→ㄷ
6 透	湯故切	吐兔菟 ㄷ→ㄷ
7 定	徒故切	度渡鍍 ㄷ→ㄷ
8 泥	乃故切	怒 ㄴ→ㄴ
9 來	洛故切	路露潞璐輅 ㄹ→ㄹ 賂 ㄹ→ㄹ
1 0 精	臧祚切	做 ㅈ/ㅈ→ㅈ
1 1 清	倉故切	錯措厝醋 ㅈ→ㅈ
1 2 從	昨誤切	祚昨阼 ㅈ→ㅈ
1 3 心	桑故切	素嗉訴愬塑 ㅅ→ㅅ
1 4 見	古暮切	故固錮雇顧 ㄱ→ㄱ
1 5 溪	苦故切	庫袴 ㄱ→ㄱ
1 6 疑	五故切	忤誤悟寤晤 ㅇ→ㅇ
1 7 曉		
1 8 匣	胡誤切	互護瓠 ㅎ→ㅎ
1 9 影	烏路切	塢ㅇ→ㅇ 惡 ㅇ→ㅇ (憎也・恥也)

表 2 1 - 1	反 切	遇攝合口三等 / 平聲魚韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	陟魚切	猪 더→저 瀦 더→저 저→저
6 徹	丑居切	擣擣 더→저 攄 더→처
7 澄	直魚切	除 더→제 躡 저→저 儲 더→저
8 娘		
9 來	力居切	廬臚驢 러→러
10 精	子魚切	苴 저→저
11 淸	七余切	疽雖蛆 저→저
12 從		
13 心	相居切	胥 서→서
14 邪	似魚切	徐 서→서
15 莊		
16 初	切	初 초→초
17 崇	切	鋤 서→서
18 生	切	梳疏蔬 소→소

表 2 1-2	反 切	遇攝合口三等 / 平聲魚韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	章魚切	諸 저→제
20 昌		
21 船		
22 書	傷魚切	書舒抒紆 서→서
23 禪		
24 日	人諸切	如 ㄱ→여 茹 여→여
25 見	九魚切	居車裾踞据 거→거
26 溪	去魚切	祛祛祛墟 거→거
27 群	強魚切	渠蕖蘧 거→거
28 疑	語居切	魚漁 어→어
29 曉	朽居切	虛嘘 허→허
30 影	央居切	淤於 어→어
3 1 云		
3 2 以	切	子余餘鼻輿敷 여→여

表 2 2 - 1	反 切	遇攝合口三等 / 上聲語韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	丁呂切	貯 저 →저
6 徹	丑呂切	楮 저 →저 楮 더 →저
7 澄	直呂切	杼苧 더 →저 宁佇紵 저 →저
8 娘	尼呂切	女 녀 →녀
9 來	力舉切	呂侶旅贅魯 러 →러
10 精	章与切	咀苴 저 →저
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪	承與切	序敍緒嶼 서 →서
15 莊	側呂切	阻俎詛 조 →조
16 初	創舉切	楚礎 초 →초
17 崇		
18 生	踈舉切	所 소 →소

表 2 2-2	反 切	遇攝合口三等 / 上聲語韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 9 章	与章切	煮渚 저 →저
20 昌	昌與切	處 처 →처 杵 저 →저
21 船		
22 書	舒呂切	暑鼠黍 서 →서
23 禪	承與切	墅 서 →서
24 日	人渚切	汝 ㄴ →여
25 見	居許切	舉擗莒柜奔 거 →거 筓계 →거
26 溪		
27 群	其呂切	巨拒距莒炬拒詎鉅炬 거 →거
28 疑	魚巨切	語禦 어 →어
29 曉	虛呂切	許 허 →허 無 우 →무
30 影		
3 1 云		
3 2 以	余呂切	予與 여 →여

表 2 3 - 1	反 切	遇攝合口三等 / 去聲御韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	陟慮切	著 더 →저
6 徹		
7 澄	倨切	箸 저 →저
8 娘		
9 來	良倨切	慮鑢瀘 러 →러
10 精		
11 淸	昌據切	覩 처 →처
12 從		
13 心	商署切	絮 서 →서
14 邪		

表 23-2	反 切	遇攝合口三等 / 去聲御韻 / 漢字音 (李朝→現代)
15 莊	莊助切	詛 조 →조
16 初	瘡據切	楚礎 초 →초
17 崇	牀據切	助 조 →조
18 生	所去切	疏 소 →소
19 章	章恕切	翥 저 →저
20 昌	昌據切	處 처 →처
21 船		
22 書	商署切	庶恕 서 →서
23 禪	常恕切	署薯曙 서 →서
24 日	人恕切	汝 ㄱ →여
25 見	居御切	據鋸倨踞 거 →거
26 溪	丘倨切	去 거 →거
27 群	其據切	詎醜 거 →거
28 疑	牛倨切	御馭禦 어 →어
29 曉	許御切	
30 影	依倨切	飶 어 →어
31 云		
32 以	余呂切	與 어 →어 譽 예 →예 豫預 여 →예

表 24-1	反 切	遇攝合口三等 / 平聲虞韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	甫無切	膚拊跗趺鈇夫 ㅍ → ㅂ
2 滂	芳無切	敷鄜葍稔麩鄜俘孚 ㅍ → ㅂ 孵 ㅍ → ㅂ
3 並	防無切	符苻夫蚨扶芙 ㅍ → ㅂ
4 明	武夫切	巫誣無母蕪 ㅍ → ㅂ
5 知	陟輪切	誅邾 ㅍ → ㅈ 株 ㅍ → ㅈ
6 徹		
7 澄	直誅切	廚 ㅍ → ㅈ 櫛 ㅍ → ㅈ
8 娘		
9 來	力朱切	
10 精	章俱切	
11 清	昌朱切	趨 ㅍ → ㅈ
12 從		
13 心	式朱切	須鬚需繻 ㅍ → ㅈ
14 邪		
15 莊		
16 初	測隅切	芻 ㅍ → ㅈ
17 崇	仕于切	雛 ㅍ → ㅈ
18 生	芻山切	飀 ㅍ → ㅍ

表 24-2	反 切	遇攝合口三等 / 平聲虞韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	章俱切	朱珠侏硃 ㄗ ㄹ → ㄗ
20 昌	昌朱切	樞姝 ㄗ ㄹ → ㄗ
21 船		
22 書	式朱切	輸 ㄗ ㄹ → ㄗ
23 禪	市朱切	銖洙茱殊旻 ㄗ ㄹ → ㄗ
24 日	人朱切	儒濡 ㄗ ㄹ → ㄗ 蠕 ㄗ ㄹ / ㄗ ㄹ → ㄗ (微動貌) / 연 (一蟲行)
25 見	舉朱切	拘駒俱痾 ㄗ ㄹ → ㄗ
26 溪	豈俱切	區驅驅嶇 ㄗ ㄹ → ㄗ 崎 ㄗ ㄹ → ㄗ
27 群	其俱切	瞿衢懼毳鳩 ㄗ ㄹ → ㄗ
28 疑	遇俱切	禺隅愚虞 ㄗ ㄹ → ㄗ
29 曉	況于切	吁訃吁 ㄗ ㄹ → ㄗ
30 影	憶俱切	迂 ㄗ ㄹ → ㄗ
31 云	羽俱切	于孟筮雱 ㄗ ㄹ → ㄗ
32 以	切	俞榆逾渝愉瑜與腴莸 ㄗ ㄹ → ㄗ

表 25-1	反 切	遇攝合口三等 / 上聲麌韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方矩切	府腑俯斧 阜 →부 甫黼備 보 →보 脯 포 →포
2 滂	芳武切	撫 阜 →부 拊 阜 →부
3 並	扶雨切	釜腐父 阜 →부 輔 보 →보
4 明	文甫切	武舞撫廡鷓 阜 →부 侮 모 →모
5 知	知廈切	拄 듀 →주
6 徹		
7 澄	直主切	柱 쥬 →주
8 娘		
9 來	力主切	縷褸檻 루 →루
10 精		足 쥬 →주
11 清	七廈切	取 쥬 →취 娶 쥬 →취
12 從	慈廈切	聚 쥬 →취
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生	所矩切	數 쥬 →주

表 25-2	反 切	遇攝合口三等 / 上聲麌韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之麌切	主宅 ㄱ → ㅈ 塵 ㅈ → ㅊ
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪	臣麌切	豎 ㄱ → ㅈ
24 日	而主切	乳孺 ㄱ → ㄱ
25 見	俱雨切	矩架蒟 ㄱ → ㄱ
26 溪	馭雨切	齟 ㄱ → ㅈ
27 群		
28 疑		
29 曉	況羽切	詔 ㄱ → ㅎ 栩 ㄱ → ㅎ (柞木) / 허 (俗)
30 影	於武切	偃 ㄱ → ㄱ
31 云	王矩切	雨宇禹羽 ㄱ → ㅈ
32 以	以主切	廋窳愈 ㄱ → ㅈ

表 26-1	反 切	遇攝合口三等 / 去聲遇韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方遇切	付賦傅附 ㅍ → ㅂ
2 滂	芳遇切	赴訃 ㅍ → ㅂ
3 並	符遇切	附坴駙鮒賄 ㅍ → ㅂ
4 明	亡遇切	務霧鶩姿鶩 ㅍ → ㅂ
5 知	中句切	駐 ㅈ → ㅊ 註 ㅈ → ㅊ
6 徹		
7 澄	持遇切	住 ㅈ → ㅊ
8 娘		
9 來	良遇切	屢 ㄹ → ㄴ
10 精		
11 清	七句切	趣 ㅈ → ㅊ 娶 ㅈ → ㅊ
12 從		
13 心		
14 邪	常句切	續 ㅈ/ㅈ → ㅊ
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生	切	數 ㅈ → ㅊ

表 26-2	反 切	遇攝合口三等 / 去聲遇韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之戎切	注炷蛀鑄 ㄐ→ㄐ
20 昌		
21 船		
22 書	傷遇切	戍輸 ㄐ→ㄐ
23 禪	常句切	樹澍 ㄐ→ㄐ
24 日	而遇切	孺 ㄐ → ㄐ
25 見	九遇切	句屢 ㄐ→ㄐ
26 溪		
27 群	其遇切	具俱懼颶 ㄐ→ㄐ
28 疑	牛具切	遇寓 ㄐ→ㄐ
29 曉	香句切	酗煦 ㄐ→ㄐ 晌 ㄐ→ㄐ
30 影	衣遇切	嫗 ㄐ→ㄐ
31 云	王遇切	芋 ㄐ→ㄐ
32 以	羊戎切	裕噏諭籲 ㄐ→ㄐ

4 蟹攝

韻目・呼・等	中古音	古代韓國漢字音	現代韓國漢字音
哈 開 1 表 27	ɬi	ɬi 胎 t'ɬi 來 lɬi 開 kɬi ai 乃 nai 概 kai	ɛ 胎 t'ɛ 來 lɛ 開 kɛ ɛ 乃 nɛ 概 kɛ
皆 開 2 表 31	ɸi	ɬi 排 pɬi 齊 tsɬi 皆 kɬi ai 介界 kai	ɛ 排 pɛ 齊 tse 皆 kɛ ɛ 介界 kɛ
祭 開 3 表 38-1・2	iæi	iæi 幣 p'iæi 祭 ts'iæi 世 s'iæi	e・ie 幣 p'ie 祭 tse 世 se
齊 開 4 表 40	ɛi	iæi 閉 p'iæi 題 t'iæi 計 k'iæi iə 低 t'iə 西 s'iə 麗 r'iə i 迷 mi 泥 ni	e・ie 閉 p'ie 題 tse 計 kie ə・iə 低 tsə 西 sə 麗 riə i 迷 mi 泥 ni
泰 開 1 表 30	ɑi	ai 貝 p'ai 太 t'ai 害 hai ɬi 帶 tɬi	ɛ 貝 p'ɛ 太 t'ɛ 害 hɛ ɛ 帶 tɛ
佳 開 2 表 34	æi	ai 賣 mai 債 ts'ai 涯 ai ɬi 解 kɬi	ɛ 賣 mɛ 債 ts'ɛ 涯 ɛ ɛ 解 hɛ
夬 開 2 表 37	ai	ai 敗 p'ai 寨 ts'ai	ɛ 敗 p'ɛ 寨 ts'ɛ
灰 合 1 表 43	uɬi	oi 推 t'oi 催 ts'oi 灰 hoi ɬi 杯 pɬi 內 nɬi	ø 推 t'ø 催 ts'ø 灰 hø ɛ 杯 pɛ 內 nɛ
皆 合 2 表 47	uɸi	oi 怪 koi 壞 hoi	ø 怪 kø 壞 hø
祭 合 3 表 53-1・2	iuæi	iæi 歲稅 s'iæi 綴 ts'iæi 銳 iæi	e・ie 歲稅 se 綴 ts'e 銳 ie
齊 合 4 表 55	uɛi	iu 圭 kiu iæi 桂 k'iæi 惠 h'iæi	iu 圭 kiu ie 桂 kie 惠 hie
泰 合 1 表 46	uɑi	oi 最 ts'oi 檜 hoi 外 oi ai 兌 t'ai	ø 最 ts'ø 檜 hø 外 ø ɛ 兌 t'ɛ
佳 合 2 表 49	uæi	oai 掛 koai 歪 oai	oɛ 掛 koɛ 歪 oɛ
廢 合 3 表 54	iuɑi	iæi 廢 p'iæi 穢 iæi	ie 廢 p'ie 穢 ie
夬 合 2 表 52	uɑi	oai 快 k'oi oa 話 hoa	oɛ 快 k'oɛ oa 話 hoa

蟹攝は、咍韻・灰韻・泰韻・皆韻・佳韻・夬韻・祭韻・廢韻・齊韻からなる。中古漢語では、これらの韻の韻母は主母音のうしろに韻尾*i*をもつのが特徴である。開口1・2等韻の韓国漢字音をみると、咍・皆韻は*ɬi*が優勢で一部*ai*があるのに対し、泰・佳・夬韻は逆に*ai*が優勢で一部が*ɬi*になっている。これは中古漢語の韻母の音価特徴を反映したもの。合口1・2等韻をみると、1等の灰・泰韻はともに*oi*が優勢で一部開口の*ɬi*（灰韻）、*ai*（泰韻）をもち、2等は皆韻が*oi*、佳・夬韻が*oai*をもつことがわかる。開口3等韻の祭韻は*iəi*、4等韻の齊韻は*iəi*のほかに*iə*、*i*もあり複雑。合口3等の祭韻・廢韻は開口と同じ*iəi*をもつものに対し、4等齊韻は*iu*を主とし一部*iəi*をもつという状況である。李朝時代の二重母音*ɬi*・*ai*・*oi*というよみ方は中国漢字音に対応したものであったが、現代までにそれぞれ単母音化して*ɛ*・*ɛ*・*ø*になった。また三重母音*iəi*・*oai*はそれぞれ二重母音*ie*・*oe*となった。この母音変化は蟹攝所属字の韓国漢字音としての特徴である。個別には、皆韻の「階」が*kɬi*→*kie*、「戒」が*kai*→*kie*、佳韻の「街・佳」が*kai*→*ka*、「派・罷」*p'ai*→*p'a*（韻尾の*i*を落とす）、齊韻の「黎」が*riəi*→*riə*などと変化したが、この変化については中国語の影響があるのかもしれない。他に灑*sai*→*soe*、盍恢*koi*→*kø*、潰*hoi*→*kue*、畦*kiu*→*hy*などの変化がある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表29 塞は、代韻開口1等で中古 [ɬi] > [ai] からの変化音*sɛ*（先代切、邊界・戯具）、表236 徳韻開口1等で中古 [ɬk] からの変化音*sek*（悉則切、填也・窒也）があり、現代漢字音でも二つの音が併用されている。 塞翁之馬새옹지마 塞翁得失새옹득실 塞嚶색앵 塞淵색연。

(2) 表31 殺は、皆韻開口2等で中古 [vɛi] > [ai] からの変化音*soe*（所介切、降也・減也）、表171 黠韻開口2等で中古 [æɬ] > [at] からの変化音*sal*（山憂切、戮也・矢鏃）、現代漢字音でも二つの音が併用されている。

殺生살생 殺意살의 減殺삼쇄 惱殺뇌쇄 相殺상쇄。

なお日本語では殺意・殺害の[さつ (satsu)], 減殺・相殺には[さい (sai)]が用いられ、蟹攝・山攝の韻尾の区別が継承されている。また、李家源編『漢韓大辭典』の‘殺’字には、蟹・山攝の他に止攝眞韻に属するとして中古音*si*も加えられている。

これは、表65-2 志韻開口3等で中古 [iə] > [i] からの変化音*si* ‘시 (式吏切、弑也)’と考えられるが、現代音にこの音は見られない。

(3) 表42 切は、霽韻開口4等で中古 [ei] > [iei] からの変化音*ts'e*（七計切、大凡・大略）、表175 屑韻開口4等で中古 [et] > [iet] からの変化音*tsəl*（千結切、割也・刻也・急也）、があり、現代漢字音では継承された両音が併用され、切實질실 親切친절 適切적절では 蟹攝の中古音の痕跡が‘一切일체’で山攝中古音の痕跡が見られる。なお、日本語でも親切・適切には[せつ (setsu)], 一切には[さい (sai)]で蟹攝・山攝の韻尾区別が見られる。

(4) 表 4 2 契は、霽韻開口 4 等で中古 [ei] > [iei] から変化した中古音kie (詰計切、約也・券也書一)、表 2 0 5 迄韻開口 3 等で中古 [iæt] からの変化音kuul (欺結切、國名・一丹)、表 1 7 5 屑韻開口 4 等で中古 [et] > [iet] からの変化音kiəl (詰結切、勤苦・濶一)、səl (私列切、人名)、があり、これらは現代漢字音に見られる。

契約계약 契機계기 契券계권 契丹글단 契丹場글단장 金魯契김노설 (人名)

(5) 表 5 1 畫は、卦韻合口 2 等で中古 [uæi/uæ] からの変化音hoa (胡卦切、形像繪也)、表 2 7 5 麥韻合口 2 等で中古 [uæk] > [uək] からの変化音hoak (胡麥切、分一・界限・計策) があり、現代漢字音では両音が併用されている。畫家화가 畫室화실 畫伯화백 計畫계획 畫順획순

(6) 表 5 3 - 2 説は、祭韻合口 3 等で中古 [iuæi] > [iuɛi] からの変化音se (輪芮切、誘也・舎也)、表 1 7 9 - 2 薛韻合口 3 等の書母 (齒音) で中古 [iuæt] からの変化音səl (輪蕪切、告也・辭也)、同じく表 1 7 9 - 2 薛韻合口 3 等の以母 (喉音) で中古 [iuæt] > [iuɛt] からの変化音iəl (欲雪切、喜樂) があり、現代漢字音でも意味区別に沿って継承された三つ音が併用されている。

遊説유세 説客세객 逆説역설 説教설교 説喜열희 説諭열유 成耆説성기열 (人名)

4 蟹攝

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	平	哈	2 7
開	1	上	海	2 8
開	1	去	代	2 9
開	1	去	泰	3 0
開	2	平	皆	3 1
開	2	上	駭	3 2
開	2	去	怪	3 3
開	2	平	佳	3 4
開	2	上	蟹	3 5
開	2	去	卦	3 6
開	2	去	夬	3 7
開	3	去	祭	3 8 - 1・2
開	3	去	廢	3 9
開	4	平	齊	4 0
開	4	上	薺	4 1

開	4	去	霽	4 2
合	1	平	灰	4 3
合	1	上	賄	4 4
合	1	去	隊	4 5
合	1	去	泰	4 6
合	2	平	皆	4 7
合	2	去	怪	4 8
合	2	平	佳	4 9
合	2	上	蟹	5 0
合	2	去	卦	5 1
合	2	去	夬	5 2
合	3	去	祭	5 3 - 1 · 2
合	3	去	廢	5 4
合	4	平	齊	5 5
合	4	去	霽	5 6

表 27	反 切	蟹攝開口一等 / 平聲咍韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	丁來切	獸 개→애
6 透	土來切	胎 티→태 台 티→대
7 定	徒哀切	苔抬駘 티→태
8 泥		
9 來	落哀切	來萊徠來 리→래
10 精	祖才切	災栽哉 지→재
11 淸	倉才切	猜 치→시
12 從	昨哉切	才財材裁 지→재
13 心	蘇來切	腮 시/새 → 시 鯤 시/새 → 새
14 見	古哀切	該垓駭 기→해
15 溪	苦哀切	開 기→개
16 疑	五來切	呆 애→보 皐 애→애
17 曉	呼來切	咳 히→해
18 匣	戶來切	孩 히→해
19 影	烏開切	哀埃唉 이 → 애

表 28	反 切	蟹攝開口一等 / 上聲海韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	薄亥切	倍蓰 비→배
4 明		
5 端		
6 透	他亥切	噓 ?→대
7 定	徒亥切	待 디→대 怠殆 티→태
8 泥	奴亥切	乃迺 내→내
9 來	來改切	
10 精	作亥切	宰載 지→재
11 淸	倉宰切	採彩綵 치→채
12 從	昨宰切	在 지→재
13 心		
14 見	古亥切	改 기→개
15 溪	苦亥切	凱愷鎧 개→개
16 疑		
17 曉	呼改切	海醢 히→해
18 匣	胡改切	亥 히→해
19 影		

表 29	反 切	蟹攝開口一等 / 去聲代韻 / 漢字音 (李朝>現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都代切	戴 디→대
6 透	他代切	貸 디→대 態 티→태
7 定	徒耐切	代袋岱黛 디→대 逮 티→체 埭 티→태
8 泥	奴代切	耐甬 내→내
9 來	洛代切	賚誅 퇴→퇴
10 精	作代切	再載 지→재
11 淸	倉代切	菜採 치→채
12 從	昨代切	載 지→재
13 心	先代切	賽 새→새 塞 시→새
14 見	古代切	概漑 개→개
15 溪	苦愛切	慨 개→개
16 疑	五漑切	礙 애→애
17 曉	呼改切	海醢 히→해
18 匣	胡改切	亥 히→해
19 影	烏代切	愛曖優蔓 이→애

表 30	反 切	蟹攝開口一等 / 去聲泰韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博蓋切	貝 𨾏뫼/뫼→뫼 (夜光貝) / 배 (宝物) 狽 𨾏→뫼
2 滂	普蓋切	沛霈 𨾏→뫼
3 並		
4 明		
5 端	當蓋切	帶 디→대
6 透	他蓋切	太汰泰 태→대
7 定	徒蓋切	大 대→대 (小乃對)
8 泥	奴帶切	奈柰 내→내
9 來	落蓋切	賴癩籜瀨 뢰→뢰
10 精		
11 清	倉大切	蔡 채→채
12 從		
13 心		
14 見	古太切	丐蓋(覆也) 개→개
15 溪		磕(兩石相擊聲) 개→개
16 疑	五蓋切	艾 애→애 (灸草蕭也) / 예 (一安治也)
17 曉	呼會切	
18 匣	胡蓋切	害 해→해
19 影	於蓋切	藹謁 애→애

表 31	反 切	蟹攝 開口 2 等 / 平聲 皆韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	步皆切	排俳 비→배
4 明	莫皆切	埋霾 미→매
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	側皆切	齊 지→재
11 初		
12 崇	士皆切	豺儕 제→제
13 生		
14 見	古諧切	階 기→계 偕 기→해 皆稽階기→개
15 溪	口皆切	揩 기→개
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶皆切	諧骸 히→해
19 影	乙諧切	埃 애→애

表 32	反 切	蟹攝 開口 2 等 / 上聲 駭韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪	苦駭切	楷錯 기 →개
16 疑		
17 曉		
18 匣	侯楷切	駭 히→해
19 影		

表 33	反 切	蟹攝 開口 2 等 / 去聲 怪韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博怪切	拜 비→배
2 滂	普拜切	滂 비→배
3 並	蒲拜切	億 비→비 輔 ㅂ→배
4 明	莫拜切	
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古拜切	介界玠芥疥 개→개 屆戒誠 개 →계
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡介切	械 계→계 薤 헤→해
19 影		

表 34	反 切	蟹攝 開口 2 等 / 平聲 佳韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	薄佳切	牌 ㅍ → ㅍ
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初	楚佳切	差 ㅈ → ㅈ 釵 ㅊ → ㅊ/ㅈ
12 崇	士佳切	柴 ㅊ → ㅈ (小木散材) / ㄷ (塞也)
13 生	山佳切	篩 ㅈ → ㅈ
14 見	古睽切	街佳 ㄱ → ㄱ
15 溪		
16 疑	五佳切	涯崖捱 ㄱ → ㄱ
17 曉		
18 匣	戶佳切	鞋 ㄱ → ㄱ
19 影		

表 35	反 切	蟹攝 開口 2 等 / 上聲 蟹韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北買切	擺 ㅍ애→ㅍ
2 滂		
3 並	薄蟹切	罷 ㅍ애→ㅍ
4 明	莫蟹切	買賣 매→매
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘	奴蟹切	奶 내→내
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生	所蟹切	灑 새→쇄
14 見	佳買切	解 기/히 →해
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡買切	解蟹 히→해 夥 회/히/해 →과 (多也)
19 影	烏蟹切	矮 애 →왜

表 36	反 切	蟹攝 開口 2 等 / 去聲 卦韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方賣切	
2 滂	匹卦切	派 ㅍ애→ㅍ
3 並	傍卦切	稗 ㅍ애→ㅍ
4 明	莫懈切	賣 ㅁ애→ㅁ
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	側賣切	債 ㅈ애→ㅈ
11 初	楚懈切	瘡 ㅈ애→ㅈ (病除) / 차 (小疫)
12 崇		
13 生	所賣切	曬 ㅊ애→ㅊ
14 見	古隘切	解 ㄱ애 → ㄱ해 懈 ㅎ/ㄱ애→ㄱ해
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡懈切	邂 ㅎ애→해
19 影	烏懈切	隘喝 (嘶聲) ㅇ애→애

表 37	反 切	蟹攝 開口 2 等 / 去聲 夬韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	薄邁切	敗 ㅍ→ㅍ
4 明	莫話切	邁勸 ㅁ→ㅁ
5 知		
6 徹	丑 切	薑 ㅌ→ㄷ
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇	豺夬切	寨 ㄷ→ㄷ 柴 ㅌ→ㄷ
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 38-1	反 切	蟹攝開口三等 / 去聲祭韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A	必袂切	蔽 ㅍ이 → ㅍ이
6 滂 A		
7 並 A	祭切	敝幣弊斃 ㅍ이 → ㅍ이
8 明 A	彌 切	袂 ㅍ이 → ㅍ이
9 知		
10 徹		
11 澄	直例切	滯 ㄷ이 → ㄷ이 𪗇 ㄷ이 → ㄷ이 瓊 ? → ㄷ이
12 娘		
13 來	力制切	例礪 ㄹ이 → ㄹ이 厲勵蠣려 → ㄹ이
14 精	子例切	祭際 ㄷ이 → ㄷ이
15 清		
16 從		
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 38—2	反 切	蟹攝開口三等 / 去聲祭韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	征例切	制製 제→제
24 昌		
25 船		
26 書	舒制切	世勢 세→세
27 禪	時制切	誓 세→세 逝筮 서→서
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A	魚祭切	藝嚙 예 →예
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云	餘制切	曳柁勸裔 예 →예
42 以		

表 39	反 切	蟹攝開口三等 / 去聲廢韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑	魚肺切	시 애 →예 又 예 →예
9 曉		
10 影		
11 云		

表 40	反 切	蟹攝開口四等 / 平聲齊韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	邊兮切	菴 미→미
2 滂	匹迷切	批砒 피→미
3 並		
4 明	莫兮切	迷謎 미→미
5 端	都奚切	低氐 더→저 抵 데→저 隄鞞 데→제
6 透	土雞切	梯 데→제
7 定	杜奚切	題提啼蹄締稊萋 데→제
8 泥	奴低切	泥 니→니
9 來	郎奚切	犁黎藜藜 레→러
1 0 精	祖稽切	躋齋壘 제→제
1 1 清	七稽切	妻淒淒悽萋 처→처
1 2 從	徂奚切	齊臍齏 제→제
1 3 心	先稽切	棲西犀栖栖 셔→서
1 4 見	古奚切	雞稽筭 계→계
1 5 溪	苦奚切	溪谿 계→계
1 6 疑	五稽切	倪兒麤猊輓 예→예
1 7 曉	呼雞切	醯 헤→헤
1 8 匣	胡雞切	翫兮倻颺 헤→헤 奚 헤→해 蹊 계→헤
1 9 影		

表 4 1	反 切	蟹攝開口四等 / 上聲齊韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	傍禮切	陞髀 ㅍ에→ㅍ에
4 明	莫禮切	米眯 미→미
5 端	都禮切	底抵抵氏邸抵 더→저
6 透	他禮切	體 테→체
7 定	徒禮切	弟悌悌 데→제
8 泥		
9 來	盧啓切	禮澧醴鱧 레→레
1 0 精	子禮切	擠 제→제
1 1 清		
1 2 從	徂禮切	薺 제→제
1 3 心	先禮切	洗 세→세
1 4 見		
1 5 溪	康禮切	啓启柴蔡 계→계
1 6 疑	研啓切	倪兒麿猊輓 예→예
1 7 曉		
1 8 匣		
1 9 影		

表 42	反 切	蟹攝開口四等 / 去聲齊韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博計切	閉 폐→폐
2 滂	匹詣切	媿 비→비 鼻 ?→비
3 並		
4 明	莫計切	謎 미→미
5 端	都計切	帝 데→제 蒂諦 테→체 嚏 테→체
6 透	他計切	替遞剃薙殫 테→체
7 定	特計切	第 데→제 遞棣杖睇諦締 테→체
8 泥	奴計切	泥 니→니
9 來	郎計切	麗沴戾唳 러→려 儷례→려 隸례→례
1 0 精	子計切	濟霽 제→제
1 1 清	七計切	砌 제/체→체 切체→체 妻 처→처
1 2 從	在詣切	劑 제→자/제
1 3 心	蘇計切	細 세→세 壻 서→서
1 4 見	古詣切	計繼繫 계→계
1 5 溪	苦計切	契 계→계
1 6 疑	五計切	睥睨詣羿 예→예
1 7 曉		
1 8 匣	胡計切	繫系係 계→계
1 9 影	於計切	綫 이→의 (自經也) / 액 (慣音) 譬翳 예→예 暄 예→예 殫 예→예

表 43	反 切	蟹攝合口一等 / 平聲灰韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	布回切	杯 비→배
2 滂	芳杯切	胚坯醅 비→배
3 並	薄回切	培陪賠裴徘徊 비→배
4 明	莫杯切	梅枚煤媒莓襍 미→매
5 端	都回切	堆 퇴→퇴
6 透	他回切	推 퇴→퇴
7 定	杜回切	頽 퇴→퇴
8 泥		
9 來	魯回切	雷播 퇴→퇴
10 精		
11 清	倉回切	催崔衰 최→최
12 從	昨回切	摧 최→최
13 心		
14 見	公回切	瑰傀 괴→괴
15 溪	苦回切	盔悝恢詼 괴→회 魁괴→괴
16 疑	五灰切	桅 위→외/괴
17 曉	呼恢切	灰脛 회→회
18 匣	戶恢切	回廻茴蛔徊 회→회
19 影	烏恢切	偎煨隈 외→외

表 44	反 切	蟹攝合口一等 / 上聲賄韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	蒲罪切	倍蓰 미→매
4 明	武罪切	每浼 미→매
5 端		
6 透	吐猥切	腿 퇴→퇴
7 定		
8 泥	奴罪切	餽 뇌→뇌
9 來	落猥切	蕾磊儡 퇴→퇴
1 0 精		
1 1 清		
1 2 從	徂賄切	罪 죄→죄
1 3 心		
1 4 見		
1 5 溪	口猥切	傀 괴→괴
1 6 疑	五罪切	魔 회→외
1 7 曉	呼罪切	悔賄 회→회
1 8 匣	胡罪切	匯 회 → 회
1 9 影	烏賄切	猥 외→외 痿 위→위

表 45	反 切	蟹攝合口一等 / 去聲隊韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	補妹切	輩背 비→배
2 滂	滂佩切	配 비→배
3 並	蒲昧切	背 패→배 焙 비→배 佩 비→패
4 明	莫佩切	妹昧 미→매
5 端	都隊切	對確敦 (玉—槃類) 디→대
6 透	他內切	退 퇴→퇴
7 定	徒對切	隊 디→대
8 泥	奴對切	內 니→내
9 來	盧對切	累 류→루 播 퇴→퇴
10 精		
11 清	七內切	淬粹 채→취 倅 채→졸 啐 채→취
12 從		
13 心	蘇內切	碎 쇠→쇄
14 見		
15 溪	苦對切	塊 괴→괴
16 疑	五對切	魔 회→외
17 曉	荒內切	悔賄 회→회
18 匣	胡對切	潰 회→궤
19 影		

表 46	反 切	蟹攝合口一等 / 去聲泰韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	丁外切	悅 태→세
6 透	他外切	蛻 태→태
7 定	杜外切	兌 태→태 (悅也·磳也)/예 (銳也)
8 泥		
9 來	郎外切	酌 퇴→퇴
10 精	祖外切	最 최→최
11 淸		
12 從		
13 心		
14 見	古外切	會會儇澮檜膾獮 회→회
15 溪		
16 疑	五會切	外 외→외
17 曉		
18 匣	黃外切	會繪 회→회
19 影	烏外切	蒼 외 →회

表 47	反 切	蟹攝 合口 2 等 / 平聲 皆韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古懷切	乖 괴→괴
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶乖切	淮懷 회→회 槐 회→ 괴
19 影		

表 48	反 切	蟹攝 合口 2 等 / 去聲 怪韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇	切	拽 여 → 예
13 生		
14 見	古壞切	怪 괴 → 괴
15 溪	苦怪切	崩塊 괴 → 괴
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡怪切	壞 회 → 괴 (毀之) / 회 (自敗)
19 影		

表 49	反 切	蟹攝 合口 2 等 / 平聲 佳韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古蛙切	媧 𨮒→와/과
15 溪		
16 疑		
17 曉	火媧切	𨮒 와→와/의
18 匣		
19 影	烏媧切	蛙 와→와/와

表 50	反 切	蟹攝 合口 2 等 / 上聲 蟹韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	乖賣切	杼 𨾏→𨾏
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影	切	巖 ? →외

表 51	反 切	蟹攝 合口 2 等 / 去聲 卦韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古賣切	挂卦掛 괘→괘
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡卦切	畫 畵 → 화 (形像繪也)
19 影		

表 52	反 切	蟹攝 合口 2 等 / 去聲 夬韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初	楚夬切	囁 ㅈ→ㅊ
12 崇		
13 生		
14 見	古邁切	夬 ㅈ→ㅊ
15 溪	苦夬切	快噲 ㅈ→ㅊ
16 疑		
17 曉		
18 匣	下快切	話 ㅈ→ㅊ
19 影		

表 53-1	反 切	蟹攝合口三等 / 去聲祭韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	陟衛切	綴 ㄷ ㄷ → ㄷ (連也) / ㄷ (聯也)
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來		
14 精	之芮切	脆毳 ㄷ → ㄷ
15 清	楚稅切	
16 從		
17 心	相銳切	歲總 ㄷ → ㄷ
18 邪	祥歲切	捰 ㄷ → ㄷ
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 53—2	反 切	蟹攝合口三等 / 去聲祭韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之芮切	贅 ㄱ ㄹ → ㄷ
24 昌		
25 船		
26 書	舒芮切	稅稅說 세 → 세
27 禪		
28 日	而銳切	芮納蝸 예 → 예
29 見 B	居衛切	鰕 ㄱ → ㄱ / ㄱ
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云	于歲切	擘 세 → 헤 衛 위 → 위
42 以	以芮切	銳睿 예 → 예

表 54	反 切	蟹攝合口三等 / 去聲廢韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方肺切	廢 ㅍ → ㅍ
2 滂	芳廢切	肺 ㅍ → ㅍ
3 並	符廢切	吠 ㅍ → ㅍ
4 明		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉	許穢切	喙 ㅍ → ㅍ
10 影	於廢切	穢 ㅍ → ㅍ
11 云		

表 55	反 切	蟹攝 合口四等 / 平聲 齊韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古攜切	圭閨 ㄱ → ㄱ
15 溪	苦圭切	奎睽 ㄱ → ㄱ
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶圭切	哇 ㄱ → ㅁ 攜 ㅁ → ㅁ
19 影		

表 56	反 切	蟹攝 合口四等 / 去聲 霽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古惠切	桂 계→계
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡桂切	惠蕙慧螻 혜→혜
19 影		

5 止攝

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
支 開3 表57-1・2	iě	i 碑 pi 知 ti 支 tsi 離 ri 移 i Λ 雌紫 tsΛ 斯 sΛ ui 奇寄 kui 戲 hui 義 ui	i 碑 pi 知 ti 支 tsi 離 ri 移 i a 雌紫 tsa 斯 sa i・ui 奇寄 ki 戲 hui 義 ui
脂 開3 表60-1・2	iěi	i 悲 pi 尼 ni 脂 tsi 致 t'i Λ 資自 tsΛ 私四 sΛ ui 飢器 kui	i 悲 pi 尼 ni 脂 tsi 致 t'i a 資自 tsa 私四 sa i 飢器 ki
之 開3 表63-1・2	iə	i 之 tsi 耳 zi 李 ri 齒 ts'i Λ 滋子 tsΛ 史寺 sΛ ui 輻 ts'ui 基 kui 喜 hui	i 之 tsi 耳 i 李 ri 齒 ts'i a 滋子 tsa 史寺 sa i・ui 輻 ts'i 基 ki 喜 hui
微 開3 表66	iəi	ui 幾氣 kui 毅 ui	i・ui 幾氣 ki 毅 ui
支 合3 表69-1・2	iuě	iu 隨 siu 緹 ts'iu 規 kiu ui 危為 ui 磨 hui uəi 跪 kuəi	u・iu 隨 su 緹 ts'u 規 kiu y 危為 y 磨 hy ue 跪 kue
脂 合3 表72-1・2	iuěi	iu 追 ts'iu 水 siu 葵 kiu ui 龜 kui	u・iu 追 ts'u 水 su 葵 kiu y 龜 ky
微 合3 表75	iuəi	i 飛非 pi 未 mi ui 鬼貴 kui 偉魏 ui	i 飛非 pi 未 mi y 鬼貴 ky 偉魏 y

止攝は、支韻・脂韻・之韻・微韻（すべて3等韻）からなる。之韻だけは、ほかの3韻と異なって合口の韻母をもたない。止攝の4つの韻は中古漢語の終わり頃の一つに合併したので、韓国漢字音もその状況を反映し4韻の間の区別は見られない。開口ではi・Λ・ui、合口ではiu・uiとなるのが基本である。Λとなるのは中古漢語の精組・莊組の字に限られる。なぜ精組・莊組字がそのような母音でよまれるかという、中古以後中国語でそれらの声母の字が前舌母音から舌先母音に変化させたので、それを写したのである。その開口の母音Λは韓国漢字音では現代までにaに転じた。支韻・脂韻開口の見組・曉組・影組字の場合、中古漢語のA類字とB類字でよみ方が分かれ、前者はi（岐ki）、後者はui（奇kui）となる。uiは子音kやhやゼロのときに多く認められた母音であるが、現代までに子音kの後では母音uを落としiだけとなった。しかしk以外ではuiがそのまま保たれた。合口のiuは子音ts・ts'・sの後で母音iを落としuとなったが、いっぽうuiは現代までにyとなった。個別には、支韻の「児」がi→aと変化したこと、合口の「吹・嘴・揣」がts'iu→ts'yと変化したこと、「錐」がts'io→ts'uと変化したことなどが例外として指摘される。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表 6 5 - 2 識は、志韻開口 3 等で、中古 [iə] > [i] からの変化音 tsi (職吏切、記也)、表 2 3 7 - 2 職韻開口 3 等で、中古 [iek] > [iə k] からの変化音 sik (設職切、見一、知也・認也) があり、現代漢字音に継承され併用されている。

識見식견 識別식별 識面식면 標識표지 識記지기 識文지문 識語지어

(2) 表 7 2 - 2 龜は、脂韻合口 3 等で中古 [iuei] > [iuəi] からの変化音 kə ‘귀 (居達切、甲蟲之長外骨内肉天性無雄以蚶爲雄・一鑑)’、表 9 3 - 2 尤韻開口 3 等で、中古 [iəu] からの変化音 ku ‘구 (祛尤切、國名 (西域屬國一玆)’、表 1 9 6 - 2 諄韻合口 3 等で中古 [iuən] > [iuən] からの変化音 kiun ‘균 (俱倫切、手凍皸瘃)’があり、現代漢字音では意味が区別され三つの音が併用されている。

龜甲 (鑑) 귀갑 龜趺귀부 龜尾구미 龜成구성 龜玆구자 龜裂균열 龜手균수

(3) 表 6 0 - 1 齊は、脂韻開口 3 等で中古 [iei] > [i] からの変化音 tsa ‘자 (律私切、一衰衣下縫)’、表 3 1 皆韻開口 2 等で中古 [æi] > [ai] からの変化音 tse ‘재 (莊皆切、致一・一潔也)’、表 4 0 齊韻開口 4 等で中古 [ei] > [iei] からの変化音 tse ‘제 (壯皆切、莊也・肅也・整也)’があり、現代漢字音で三つの音が併用されている。

齊衰자취/재취 齊家제가 齊如제여 齊民제민 齊整제정 齊列제열 齊戒제계

(4) 表 7 2 - 1 衰は、脂韻合口 3 等で中古 [iuei] > [uəi] からの変化音 sə ‘쇠 (雙佳切、浸微殘也・耗也)’、表 4 3 灰韻合口 1 等で中古 [uəi] からの変化音 tsə ‘취 (倉回切、喪服)’の両音があり現代漢字音に継承され併用されている。

衰盡쇠진 衰態쇠태 衰亡쇠망 衰服쇠복 衰裳쇠상 衰經쇠질

(5) 表 5 9 - 1 剌は、寘韻開口 3 等で、中古 [ie] > [i] からの変化音 tsa ‘자 (七賜切、直傷・剷除)’、表 2 7 2 - 1 昔韻開口 1 等で中古 [iæk] > [iek] からの変化音 ts‘ək ‘척 (七迹切、刃之・黥也)’の両音があり、現代に継承され併用されている。

風刺풍자 刺繡자수/척수 刺戟자극

刺客자객 刺草之臣척초지신 刺刺척척 刺探척탐 *水刺床수라상…王の食膳

(6) 表 7 4 - 1 帥は、至韻合口 3 等で、中古 [iuei] > [iuəi] > [uəi] からの変化音 su ‘수 (所類切、主也・將一)’、表 2 0 7 - 1 術韻合口 3 等で、中古 [iuət] > [uət] > [uəi] からの変化音 sol ‘술 (朔律切、領兵・循也)’の両音があり、現代に継承され併用されている。

元帥원수 將帥장수 帥臣수신 帥先술선=率先

(7) 表 7 4 - 1 率は、至韻合口 3 等で、中古 [iuei] > [iuəi] > [uəi] からの変化音 su ‘수 (所類切、鳥網・渠一)’、①表 2 0 7 - 1 術韻合口 3 等の生母 (齒音) で、中古 [iuət] > [uət] からの変化音 sol ‘술 (朔律切 領也・循也)’、②表 2 0 7 - 1 術韻合口 3 等の來母 (半舌音) で、中古 [iuət] > [iuət] からの変化音 riul ‘률 (劣戍切、約數・表的)’の三つの音の中で、現代漢字音では riul・sol の二音が使われている。

稅率세율 効率효율 合率합율 率直솔직 輕率경율 能率능율 成功率성공율

(8) 表 6 5 - 1 食は、志韻開口 3 等で、中古 [iei] > [i] からの変化音sa ‘사 (祥使切、以一與人飯也)’、表 6 5 - 2 志韻開口 3 等で、中古 [iə] > [i] からの変化音i ‘이 (羊使切、人名鄺一其)’、表 2 3 7 - 2 職韻開口 3 等で、中古 [iek] > [iək] からの変化音sik ‘식 (實職切、穀饌・茹也)’の三つの音があり、現代漢字音にも併用されている。

食糧식량 食事식사 食口식구 穀食곡식 蔬食소사/소식 簞食瓢飲단사표음

(9) 表 5 9 - 2 易は、眞韻開口 3 等は、中古 [jiei] > [ji] からの変化音i ‘이 (以豉切、治也・忽也)’、表 2 7 2 - 2 昔韻開口 3 等で、中古 [(j) iək] > [(j) iək] からの変化音iək ‘역 (夷益切、變也・換也)’があり、現代漢字音で両音とも併用されている。

簡易간이 難易난이 安易안이 易学역학 貿易무역 易書역서

5 止攝

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	3	平	支	5 7 - 1・2
開	3	上	紙	5 8 - 1・2
開	3	去	寘	5 9 - 1・2
開	3	平	脂	6 0 - 1・2
開	3	上	旨	6 1 - 1・2
開	3	去	至	6 2 - 1・2
開	3	平	之	6 3 - 1・2
開	3	上	止	6 4 - 1・2
開	3	去	志	6 5 - 1・2
開	3	平	微	6 6
開	3	上	尾	6 7
開	3	去	未	6 8
合	3	平	支	6 9 - 1・2
合	3	上	紙	7 0 - 1・2
合	3	去	寘	7 1 - 1・2
合	3	平	脂	7 2 - 1・2
合	3	上	旨	7 3 - 1・2
合	3	去	至	7 4 - 1・2
合	3	平	微	7 5
合	3	上	尾	7 6
合	3	去	未	7 7

表 57-1	反 切	止攝開口三等 / 平聲支韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	彼爲切	碑 비→비
2 滂 B	敷羈切	披鉞帔 피→피
3 並 B	符羈切	皮疲 피→피 郛 피→비
4 明 B	靡爲切	糜 미→미
5 幫 A	府移切	卑裊 비→비
6 滂 A		
7 並 A	符支切	埤脾裊郛陴 비→비
8 明 A	武移切	彌瀰彌 미→미
9 知	陟離切	知蚩 디→지
10 徹	丑知切	擠螭齧 치→리
11 澄	直離切	池 디→지 馳 티→지 箠跣 지→지 褫 치→치
12 娘		
13 來	呂支切	離籬漓漓醑離納罹麗驪鸕蠡 리 →리
14 精	即移切	貲髭訾 스→자
15 清	此移切	雌 스→자
16 從	疾移切	疵 스→자
17 心	息移切	斯 스→사 廝 슌→시
18 邪		
19 莊	側宜切	齒지 →치
20 初	楚宜切	差 치 →차
21 崇		
22 生	所宜切	筮 슌→사

表 57-2	反 切	止攝開口三等 / 平聲支韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	章移切	支枝肢 지→지 扈 치→치 梘지→치 祇기→기 (袈裟)
24 昌	叱支切	眇 치→치
25 船		
26 書	式支切	施 시→시
27 禪	是支切	匙 시→시
28 日	汝移切	兒 이→아 (自称) / 예 (幼弱)
29 見 B	居宣切	羈羈奇畸 기 →기
30 溪 B	去奇切	觶崎 기→기 欻 의→의
31 群 B	渠羈切	奇騎琦 崎 기→기
32 疑 B	魚羈切	宜儀 의→의
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A	巨支切	岐歧歧祇芪 기→기
36 疑 A		
37 曉 B	許羈切	羲犧曦戲巖 희→희
38 影 B	於離切	猗漪 의→의
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	弋支切	移桅 이→이 篋 ?→이 (樓邊小屋)

表 58-1	反 切	止攝開口三等 / 上聲紙韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	甫委切	彼 피→피
2 滂 B		
3 並 B	皮彼切	被 피→피
4 明 B	文彼切	靡 미→미
5 幫 A	并弭切	俾 비→비
6 滂 A	匹婢切	庀 비→비
7 並 A	便俾切	婢 비→비
8 明 A	綿婢切	弭敕非 미→미
9 知		
10 徹		
11 澄	池爾切	豸薦 치→치
12 娘	女氏切	旃 의→의 旃 니→니
13 來	力紙切	邏 리→리
14 精	將移切	紫 스→자
15 清	雌氏切	此叱 츠→차 跣 채→자 泚 스→자
16 從		
17 心	斯氏切	璽 ㅅ →새 徙 ㅅ →사
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生	所寄切	屣蓀 ㅅ →사

表 58—2	反 切	止攝開口三等 / 上聲紙韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	諸氏切	紙只咫軹枳 지→지
24 昌	尺氏切	侈 치→치
25 船		
26 書	施是切	弛 이→이 豕 시→시
27 禪	承紙切	氏 시→씨 是諶 시→시
28 日	兒氏切	爾邇 →이
29 見 B	居綺切	
30 溪 B	墟彼切	綺 기→기
31 群 B	渠綺切	技妓伎 기→기
32 疑 B	魚倚切	蟻犧 의→의 齧 의→기
33 見 A		
34 溪 A	丘弭切	企 기→기
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B	於綺切	倚椅旣 이→이
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	切	迤匪 이→이

表 59-1	反 切	止攝開口三等 / 去聲寘韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	彼義切	賁 (飾也・卦名) 미→비
2 滂 B	披義切	帔 피→피
3 並 B	平義切	被 피→피
4 明 B		
5 幫 A	卑義切	臂 비→비
6 滂 A	匹賜切	譬 비→비
7 並 A	義切	避 피→피
8 明 A		
9 知	竹恚切	智 디→지
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來	力智切	荔 리→레 踴 리→리
14 精		
15 清	七賜切	刺莉疵 스→자 束 츠→자
16 從	疾智切	漬 스→지 皆齒 스→자
17 心	斯義切	賜 스→사
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 59—2	反 切	止攝開口三等 / 去聲寘韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	支義切	寘 치→치 伎 지→기 觶 지/치→치
24 昌		
25 船		
26 書	施智切	翹音 시→시
27 禪	是義切	豉 시→시
28 日		
29 見 B	居義切	寄 기→기
30 溪 B		
31 群 B	奇寄切	芝 지→지 騎 기→기
32 疑 B	宣寄切	誼義議 의→의
33 見 A		
34 溪 A	丘弭切	歧企 기→기
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B	香義切	戲 희→희
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	以鼓切	易 이→이

表 60-1	反切	止攝開口三等 / 平聲脂韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	府眉切	悲 비→비
2 滂 B	敷悲切	丕 胚 杯 비→비
3 並 B	符悲切	邳 비→비
4 明 B	武悲切	麩 靡 蕉 眉 媚 湄 楣 徽 미→미
5 幫 A		
6 滂 A	武夷切	紕 司/비→비
7 並 A	房脂切	貔 琵 枇 蚍 비→비
8 明 A		
9 知	丁尼切	胝 즈→지 底 디→지
10 徹	丑飢切	絺 티→치 緝 郗 치→치
11 澄	直尼切	遲 坻 지→지
12 娘	女夷切	尼 忸 怩 니→니 呢 네→니
13 來	力脂切	梨 痢 藜 리→리
14 精	卽夷切	資 姿 咨 粢 諮 齊 ㅈ→자
15 清		
16 從	疾資切	瓷 茨 咨 ㅈ→자
17 心	息夷切	私 ㅅ→사
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生	疏夷切	師 獅 蝨 ㅅ→사

表 60—2	反 切	止攝開口三等 / 平聲脂韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	旨夷切	脂祗 지→지
24 昌	處脂切	鴟 치→치
25 船		
26 書	式之切	尸屍鳴著 시→시
27 禪		
28 日		
29 見 B	居夷切	飢肌 기→기
30 溪 B		
31 群 B	切	祁 기→기 耆緒 기→기
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於脂切	伊夥 이→이
41 云		
42 以	以脂切	夷姨痍彝 이→이

表 61-1	反切	止攝開口三等 / 上聲旨韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	方美切	鄙 비→비
2 滂 B	匹鄙切	髡 비→비
3 並 B	符鄙切	否痞 비→비 圯 비→비
4 明 B	無鄙切	美 미→미
5 幫 A	卑履切	匕比妣 비→비 秕 피→비
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	猪几切	齧 →치
10 徹		
11 澄	直几切	雉 티→치
12 娘		
13 來	力几切	履 리→리
14 精	將几切	姊秭 스→자
15 清		
16 從		
17 心	息姊切	死 스→사
18 邪	徐姊切	兕 스→시
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 61—2	反 切	止攝開口三等 / 上聲旨韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	職雉切	旨指旨 지→지
24 昌		
25 船		
26 書	式視切	矢屎 시→시
27 禪		
28 日		
29 見 B	居履切	几机鹿 귀→귀
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以		

表 62-1	反切	止攝開口三等 / 去聲至韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	兵媚切	泌秘悶悞 비→비 悶 비→민
2 滂 B		
3 並 B	平秘切	備 비→비
4 明 B	明秘切	媚魅 미→미
5 幫 A	必至切	庇痺界 비→비
6 滂 A	匹寐切	屁 피→비
7 並 A	至切	鼻比篋 비→비
8 明 A	二彌切	寐 미→매
9 知	陟利切	致 티→치 輕 지→지 憲懷 치→치 質 지→질
10 徹		
11 澄	直利切	稚 티→치 緻 치→치
12 娘	女利切	膩 니→니
13 來	力至切	利痢蒞 리→리
14 精	資四切	恣 스 →자
15 清	七四切	次攸 츠 →차
16 從	疾二切	自 스 →자
17 心	息利切	四泗駟栖肆 스 →사
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 62-2	反 切	止攝開口三等 / 去聲至韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	脂利切	至摯贅鷺 지→지
24 昌		
25 船	神至切	示諡 시→시
26 書		
27 禪	常利切	視 시→시 嗜 기→기
28 日	而至切	二貳 ㅣ→이
29 見 B	几利切	冀驥 기→기
30 溪 B	去冀切	器 기→기
31 群 B	其冀切	泊 기→계 埒 기→계 暨 기→기
32 疑 B	魚器切	劓 의→의
33 見 A		
34 溪 A	詰利切	棄 기→치
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B	乙冀切	懿 의→의 肄 이→이
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	至羊切	肄 이→이

表 63-1	反 切	止攝開口三等 / 平聲之韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹	丑之切	癡 티→치 齡 치→치
7 澄	直之切	持 지→지
8 娘		
9 來	里之切	釐狸裡嫠 리→리
10 精	子之切	茲滋嗞孳孜仔羸 스→자 梓 스→재
11 清		
12 從	疾之切	慈磁 스→자
13 心	息茲切	司絲思 스→사 總偲 스→시
14 邪	似茲切	詞祠辭辭 스→사
15 莊	側持切	淄輜菑錙緇 칩→치
16 初		
17 崇		
18 生		

表 63-2	反 切	止攝開口三等 / 平聲之韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	止而切	之芝 지→지
20 昌	赤之切	蚩嗤嗤 치→치
21 船		
22 書	書之切	詩 시→시
23 禪	市之切	時峙蒔疇 시→시
24 日	如之切	而𦉳輻楯 ㅣ→이
25 見	居之切	基箕朞 기→기 姬 희→희
26 溪	去其切	欺 기→기
27 群	渠之切	期其棊旗萁淇祺琪騏碁 기→기 靳 기→근
28 疑	語其切	疑薺 의→의
29 曉	許其切	嘻嬉僖禧熹諱熙 희→희
30 影	於其切	醫 의→의
31 云		
32 以	與之切	怡詒腴頤圮盱貽 이→이

表 64-1	反 切	止攝開口三等 / 上聲止韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	陟里切	徵 치→징 (召也·驗也) / 지 (五音之一)
6 徹	敕里切	恥 치→치 褫 찌/치→치
7 澄	直里切	痔 티→치 峙時痔 치→치
8 娘	乃里切	你 니→니
9 來	良士切	李 니→리 里裏理鯉俚悝婁 리→리
10 精	即里切	子籽 즈→자 梓 지→재
11 淸		
12 從		
13 心		
14 邪	詳里切	似祠巳姒耜汜 ㅅ →사
15 莊	阻吏切	滓 지→재 第肺 즈 →자
16 初		
17 崇	鉏里切	俟 ㅅ→사/기 士仕柿 시→시
18 生	疎士切	史使駛 ㅅ →사

表 64-2	反 切	止攝開口三等 / 上聲止韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	諸市切	止趾址沚陟芷 지→지
20 昌	昌里切	齒 치→치
21 船		
22 書	詩止切	始 시→시
23 禪	時止切	市恃 시→시
24 日	而止切	耳洱 →이
25 見	居理切	己紀 기→기
26 溪	墟里切	起杞芑 기→기
27 群		
28 疑	魚紀切	擬擬 의→의
29 曉	虛里切	喜熹禧 희→희
30 影		
31 云	于紀切	矣 의→의
32 以	羊已切	己以苡 이→이

表 65-1	反 切	止攝開口三等 / 去聲志韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	陟吏切	置 치→치
6 徹		
7 澄	直吏切	治 치→치
8 娘		
9 來	力置切	吏 리→리
10 精		
11 清		
12 從	疾置切	字特 스 →자
13 心	相吏切	伺筭視思 ㅅ→사
14 邪	祥吏切	寺嗣飼食 ㅅ→사
15 莊	側吏切	截 스→자 割 스→사 傳 스→자 (同割) /사 (立也・置也)
16 初	初吏切	廁 ㅈ→치 (雜也) /측 (側也)
17 崇	鉏吏切	事 ㅅ→사
18 生		

表 65-2	反切	止攝開口三等 / 去聲志韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	職吏切	志誌誌識 (記也) 지→지 幟 치→치
20 昌	昌志切	熾 치→치
21 船		
22 書	式吏切	試弒 (殺) 시→시
23 禪	時吏切	侍 시→시
24 日	仍吏切	餌珥 →이 俚 ?→이 則 이→이
25 見	居吏切	記 기→기
26 溪	去吏切	亟 기→극 (疾也·急也) / 기 (頻數也)
27 群	渠記切	忌碁 기→기
28 疑		
29 曉		
30 影	於記切	意 의→의
31 云		
32 以	羊吏切	異異食 이→이

表 66	反 切	止攝開口三等 / 平聲微韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居依切	幾機譏饑 기→기
6 溪		
7 群	渠希切	祈圻頤 기→기
8 疑	魚衣切	沂 의→기
9 曉	香衣切	希稀晞晞歛豨 희→희 悒 히→희
10 影	於希切	衣依 의→의
11 云		

表 67	反 切	止攝開口三等 / 上聲尾韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居 希切	幾蟻 기→기
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影		
11 云		

表 68	反 切	止攝開口三等 / 去聲未韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居豕切	既 기→기
6 溪	去既切	氣气기→기 汽?→기 (湯水蒸氣) 乞계/키→기 (貸也・與也)
7 群		
8 疑	魚既切	毅 의→의
9 曉	許既切	籲 희→희
10 影		
11 云		

表 69-1	反 切	止攝合口三等 / 平聲支韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來		
14 精	遵爲切	劑 ㄗ →자 (翦齊) / 제 (分也·菓一)
15 清		
16 從		
17 心		
18 邪	旬爲切	隨隋 ㄒ →수
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 69—2	反 切	止攝合口三等 / 平聲支韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌	昌垂切	吹炊 츄 →취
25 船		
26 書		
27 禪	時髓切	垂 슈 →수
28 日		
29 見 B	居爲切	嬌 규 →기
30 溪 B	去爲切	虧 규 →휴
31 群 B		
32 疑 B	魚爲切	危 위 →위
33 見 A	居隋切	規 규 →기
34 溪 A	去隨切	窺 규 →기
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B	許爲切	磨 휘 →휘
38 影 B	於爲切	萎 위 →위
39 曉 A		
40 影 A		
41 云	支切	爲 위 →위
42 以		

表 70-1	反 切	止攝合口三等 / 上聲紙韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來	力委切	累 류 →루
14 精	之累切	嘴 쉼 →취
15 清		
16 從		
17 心	息委切	髓 쉼 →수
18 邪		
19 莊		
20 初	初委切	揣 쉼 →취
21 崇		
22 生		

表 70—2	反 切	止攝合口三等 / 上聲紙韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日	如累切	蕊 예→예
29 見 B	過委切	詭傀 귀→귀
30 溪 B		
31 群 B	渠委切	跪 귀→귀
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B	況偽切	毀煨 휘→휘
38 影 B	於詭切	委 위→위 諉 뇌→위
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以		

表 71-1	反 切	止攝合口三等 / 去聲寘韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄	馳僞切	縑 ㄱ → ㄷ
12 娘		
13 來	良僞切	累 ㄹ → ㄴ
14 精		
15 清		
16 從		
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 71—2	反 切	止攝合口三等 / 去聲寘韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之睡切	惴 쥬 →취
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪	是僞切	睡 슈 →수 瑞 슈 →서
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B	危睡切	僞 위 →위
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B	於僞切	餒 위 →위
39 曉 A		
40 影 A	於避切	恚 휘 →에
41 云	于僞切	爲 위 →위
42 以		

表 72-1	反 切	止攝合口三等 / 平聲脂韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	陟佳切	追 ㄱ→ㄷ
10 徹		
11 澄	直追切	椎 ㅌ→ㄷ 槌 ㄱ→ㄷ 錘 ㅌ→ㄷ
12 娘		
13 來	力追切	纍 ㄹ→ㄴ 嫫 ? →ㄴ
14 精		
15 清		
16 從		
17 心	切	雖綏睢 ㄱ→ㄴ 菱 ㄱ→ㅇ
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生	所追切	衰 ㅌ→ㅌ

表 72—2	反 切	止攝合口三等 / 平聲脂韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	職追切	錐佳 ㅈ → ㅊ
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪	視佳切	誰 ㅅ → ㅆ
28 日	儒佳切	蕤 ㅅ → ㅆ
29 見 B	居追切	龜 ㄱ → ㅋ
30 溪 B		
31 群 B	渠追切	達馱 ㄱ → ㅋ 夔 기 → ㅋ
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A	渠追切	葵 ㄱ → ㅋ
36 疑 A		
37 曉 B	許維切	麾撫 ㅎ → ㅍ
38 影 B		
39 曉 A	切	隳 ㅎ → ㅍ
40 影 A		
41 云	洧悲切	帷 ㅅ → ㅆ
42 以	以追切	維惟唯遺 ㅅ → ㅆ

表 73-1	反 切	止攝合口三等 / 上聲旨韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來	力軌切	壘 류 →루 未誅 되 →되
14 精		
15 清		
16 從		
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 73—2	反 切	止攝合口三等 / 上聲旨韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書	式軌切	水 슈→수
27 禪		
28 日	如壘切	蕊 예→예
29 見 B	居洧切	軌簋 궈→궈 晷 구→궈
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A	居誅切	葵 규→궀
34 溪 A		
35 群 A	求癸切	揆 규→궀
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	以水切	唯 유→유

表 74-1	反 切	止攝合口三等 / 去聲至韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄	直類切	墜 ㄱ→ㄷ
12 娘		
13 來	力遂切	類 ㄱ→ㄹ 淚 ㄱ→ㄹ
14 精	將遂切	醉 ㄱ→ㄷ 樵 ㄱ→ㄷ
15 清	七醉切	翠膠 ㄱ→ㄷ
16 從	秦醉切	萃 ㄱ→ㄷ 悴 ㄱ→ㄷ 瘁 ㄱ→ㄷ
17 心	雖遂切	粹崇諄邃 ㄱ→ㄷ
18 邪	徐醉切	遂隧燧穗 ㄱ→ㄷ
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生	所類切	帥率 ㄱ→ㄷ

表 74—2	反 切	止攝合口三等 / 去聲至韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B	俱位切	愧 괴→괴
30 溪 B	丘愧切	喟 귀→위
31 群 B	求位切	櫃匱 귀→귀
32 疑 B		
33 見 A	居悸切	季 계→계
34 溪 A		
35 群 A	其季切	悸 계→계
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云	于愧切	位 위→위
42 以		

表 75	反 切	止攝合口三等 / 平聲微韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	甫微切	飛非扉緋 비→비
2 敷	芳非切	妃霏菲駢 비→비
3 奉	符非切	肥腓淝 비→비
4 微	無非切	微微 미→미
5 見	舉韋切	歸 귀→귀
6 溪		
7 群		
8 疑	語韋切	巍 위→외
9 曉	許歸切	揮輝暉輝翬徽徽 휘→휘
10 影	於非切	威威 위→위
11 云	雨非切	韋違圍幃闡 위→위

表 76	反 切	止攝合口三等 / 上聲尾韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	府尾切	匪榷篋誹 비→비
2 敷	敷尾切	菲斐肫 비→비
3 奉		
4 微	無匪切	尾媿 미→미
5 見	居偉切	鬼 귀→귀
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影		
11 云	于鬼切	偉煒瑋葦 위→위

表 77	反 切	止攝合口三等 / 去聲未韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	方味切	非沸 비→비
2 敷	芳未切	費 비→비
3 奉	扶沸切	翡 비→비
4 微	無沸切	未味 미→미
5 見	居胃切	貴 귀→귀
6 溪		
7 群		
8 疑	魚貴切	魏 위→위
9 曉	許貴切	諱 휘→휘 卉 휘→휘
10 影	於胃切	畏 위→외 慰尉蔚 위→위
11 云	于貴切	彙 휘→휘 緯胃渭謂蝟 위→위

6 效攝

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
豪 開1 表 78	au	o 毛 mo 刀 to 高 ko 遭 tso	o 毛 mo 刀 to 高 ko 遭 tso
肴 開2 表 8 1	au	o 包 p'ó 爪 tso 巢 so io 貓 mio 交 kio 孝 hio	o 包 p'ó 爪 tso 巢 so io 貓 mio 交 kio 孝 hio
宵 開3 表 8 4-1・2	iæu	io 表 p'io 朝 tio 小 sio 少 sio 橋 kio 要 io	io・o 表 p'io 朝 tso 小 so 少 so 橋 kio 要 io
蕭 開4 表 8 7	eu	io 鳥 tio 料 rio 叫 kio 篠 sio	io・o 鳥 tso 料 rio 叫 kio 篠 so

效攝は、豪韻・肴韻・宵韻・蕭韻からなる。いずれも開口韻である。中古漢語の韻母は<主母音a・ɑ・æ・ε+韻尾u>というものであるが、韓国漢字音ではこれらを、漢字音導入当時から主母音と韻尾を合体させた形の単母音oで表現している。これはこの撰の韓国漢字音としての特徴である。個別的变化として、牢roi→ro、艘su→so、脳惱no→nø、爪tsoa→tso、燥so→tso、稿ko→ho、耗ho→moなどがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表 8 0 **告**は、號韻開口1等で、中古 [au] からの变化音ko ‘고 (居號切、報也・啓也)’、表 2 9 0 沃韻合口1等で、中古 [ok] からの变化音kok ‘곡 ([廣韻] 姑沃切、請也・示也)’の両音があり、現代漢字音で併用されている。

告白고백 報告보고 警告경고 告存곡존 告歸곡귀/고귀 告寧곡녕/고녕

(2) 表 8 3 **樂**は、效韻開口2等で、中古 [au] からの变化音io ‘요 (魚教切、好也・欲也)’、表 2 2 4 鐸韻開口1等で、中古 [ak] からの变化音rak ‘락 (歷各切、喜也)’、表 2 2 8 覺韻開口2等で、中古 [ak] からの变化音ak ‘악 (八音總名・風流人)’の三つの音があり、現代漢字音に継承されている。

樂山樂水요산요수 樂此不疲요차불피 快樂쾌락 安樂안락 樂器악기 音樂음악

(3) 表 8 9 **溺**は、嘯韻開口4等で、中古 [eu] > [iæu] からの变化音nio ‘뇨 (奴弔切、溲也・用便)’、表 2 7 3 錫韻開口4等で、中古 [ek] > [iek] からの变化音nik ‘닉 (乃歷切、没也・弱也)’があり、現代漢字音で両音は併用されている。

溺器요기 溺沒익몰 溺感익혹 溺愛익애

(4) 表 8 7 **跳**は、蕭韻開口4等で、中古 [eu] > [iæu] からの变化音to ‘토 (徒刀切、躍也・蹶也)’、表 8 9 の嘯韻開口4等で、中古 [eu] > [iæu] からの变化音tso ‘조 (田聊

切、躍也・蹶也)があり、現代漢字音に併用されている。

跳驅조구 跳白조백 跳噴조분 跳躍도약 跳梁도량 跳哮도효 跳開橋도개교

(5) 表 8 3 覺^ㄱは、效韻開口 2 等で、中古 [au] からの変化音kio ‘교 (居效切、夢醒)’、表 2 2 8 覺韻開口 2 等で、中古 [auk] からの変化音kak ‘각 (訖岳切、寤也・曉也)’があるが、現代漢字音ではkak ‘각’音のみ継承されている。

覺得각득 覺書각서 覺醒각성 覺悟각오

6 效攝

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	平	豪	7 8
開	1	上	皓	7 9
開	1	去	號	8 0
開	2	平	肴	8 1
開	2	上	巧	8 2
開	2	去	效	8 3
開	3	平	宵	8 4 - 1・2
開	3	上	小	8 5 - 1・2
開	3	去	笑	8 6 - 1・2
開	4	平	蕭	8 7
開	4	上	篠	8 8
開	4	去	嘯	8 9

表 78	反 切	效攝開口一等 / 平聲豪韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博毛切	褒 ㅍ→ㅍ
2 滂		
3 並	薄褒切	袍 ㅍ→ㅍ
4 明	莫袍切	毛 ㅍ→ㅍ
5 端	都牢切	刀劔 ㄷ→ㄷ
6 透	土刀切	叨滔韜 ㄷ→ㄷ
7 定	徒刀切	桃逃眺陶萄 ㄷ→ㄷ
8 泥	奴刀切	獠 ㄴ→ㄴ
9 來	魯刀切	撈勞癆 ㄹ→ㄹ 牢 ㄹ→ㄹ
10 精	作曹切	遭糟漕嘈 ㅈ→ㅈ
11 清	七刀切	操 ㅈ→ㅈ
12 從	昨勞切	曹槽漕嘈 ㅈ→ㅈ
13 心	蘇遭切	騷 ㅈ→ㅈ 臊 ㅈ→ㅈ 艘 ㅈ→ㅈ
14 見	古勞切	高膏篙 ㄱ→ㄱ
15 溪	苦刀切	尻 ㄱ→ㄱ
16 疑	五勞切	敖熬嗷 ㅇ→ㅇ 羔糕 ㄱ→ㄱ
17 曉	呼毛切	蒿 ㅎ→ㅎ
18 匣	胡刀切	豪毫號濠 ㅎ→ㅎ
19 影	於刀切	熬 ㅇ→ㅇ

表 79	反 切	效攝開口一等 / 上聲皓韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博抱切	寶保堡葆褓 보→보
2 滂		
3 並	薄浩切	抱 ㅃ→ㅃ
4 明		
5 端	都皓切	搗島倒 도→도
6 透	他浩切	討 ㅌ→ㅌ
7 定	徒皓切	道稻 도→도
8 泥	奴皓切	惱惱 노→노
9 來	盧皓切	老姥 로→로 姥 ㄹ→ㄹ
10 精	子皓切	早蚤棗澡藻 조→조
11 清	采老切	草 초→초
12 從	昨早切	皂造 조→조
13 心	蘇老切	掃嫂 수→수
14 見	古老切	稟藁 고→고 縞 ㄱ→ㅇ
15 溪	苦浩切	考攷烤拷 ㄱ→ㄱ
16 疑		
17 曉	呼皓切	好 호→호
18 匣	胡老切	浩皓鎬 호→호
19 影	烏皓切	襖媼懊 오→오

表 80	反 切	效攝開口一等 / 去聲號韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博耗切	報 보→보/부
2 滂		
3 並	薄報切	暴曝瀑 포→포
4 明	莫報切	冒帽媚瑁眊 모→모
5 端	都導切	倒到 도→도
6 透	切	套 토→토 (長大) / 투 (前例也)
7 定	徒到切	導盜悼舞蹈 도→도
8 泥		
9 來	郎到切	滂勞 료→료
10 精	則到切	躁竈 조→조
11 清	七到切	糙糙 조→조
12 從		
13 心	蘇到切	燥 소→소 掃 소→소
14 見	古到切	告膏 고→고 焄 고→곡
15 溪	苦到切	靠 고→고 犒 고→호
16 疑	五到切	傲熬 오→오
17 曉	呼到切	好 호→호 耗 호→모
18 匣	胡到切	號 호→호
19 影	烏到切	奧襖懊塊澳隩 오→오

表 81	反 切	效攝 開口 2 等 / 平聲 肴韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	布交切	包胞苞 ㅍ→ㅍ
2 滂	匹交切	脬泡胞 ㅍ→ㅍ
3 並	薄交切	咆炮庖跑 ㅍ→ㅍ 刨 ㅍ →ㅍ
4 明	莫交切	貓 ㅍ→ㅍ 茅 ㅍ→ㅍ
5 知	陟交切	嘲 ㅍ→ㅍ
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	側教切	抓 ㅍ →ㅍ
11 初	初教切	抄鈔勦 ㅍ→ㅍ
12 崇	士稍切	巢 ㅍ→ㅍ
13 生	所教切	梢捎船筲鞘稍 ㅍ→ㅍ
14 見	古肴切	交郊菱蛟蛟膠教 ㅍ→ㅍ
15 溪	口交切	敲 ㅍ→ㅍ (叩也·短杖) / ㅍ (從傍擊)
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡芽切	肴淆 ㅍ→ㅍ 洩 ?→ㅍ
19 影	於交切	坳凹 ㅍ→ㅍ

表 82	反 切	效攝 開口 2 等 / 上聲 巧韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博巧切	飽 ㅍ→ㅍ
2 滂		
3 並	薄巧切	鮑 ㅍ→ㅍ
4 明	莫飽切	卯昴茆 ㅍ→ㅍ
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	側絞切	爪 ㅈ→ㅈ
11 初	初爪切	炒 ㅈ→ㅈ 吵ㅈ→ㅍ (鳴也) / ㅈ (喧也)
12 崇		
13 生		
14 見	古巧切	攬 ㄱ→ㄱ 絞狡鉸佼皎 ㄱ→ㄱ
15 溪	苦絞切	巧 ㄱ→ㄱ
16 疑	五巧切	咬 ㄱ→ㄱ
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 83	反 切	效攝 開口 2 等 / 去聲效韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北教切	豹 ㅍ→ㅍ 爆 ㅍ→ㅍ
2 滂	匹兒切	砲炮 ㅍ→ㅍ
3 並	防教切	匏 ㅍ→ㅍ
4 明	莫教切	貌 ㅁ→ㅁ (容儀) / 막 (描畫·遠也)
5 知	都教切	罩 ㅈ→ㅈ
6 徹		
7 澄	直教切	權 ㅈ→ㅈ
8 娘	奴教切	鬧淖 ㄴ→ㄴ
9 來		
10 莊	側教切	筮 ㅈ→ㅈ
11 初	初教切	杪 ㅈ→ㅈ
12 崇		
13 生	所教切	稍 ㅅ→ㅅ 瀟 ㅅ→ㅅ
14 見	古教切	教校較窖覺 (夢醒) ㄱ→ㄱ 酵 ㄱ→ㄱ
15 溪	苦教切	巧 ㄱ→ㄱ
16 疑	五教切	樂 ㄹ→ㄹ
17 曉	呼教切	孝 ㄹ→ㄹ
18 匣	胡教切	效倣 ㄹ→ㄹ 校 ㄱ→ㄱ
19 影	於教切	坳勒 ㄹ→ㄹ

表 84-1	反 切	效攝開口三等 / 平聲宵韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	甫嬌切	鏢鏢 ㄩ→ㄩ
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B	武庶切	苗描貓 ㄩ→ㄩ
5 幫 A	甫遙切	鏢颯 ㄩ→ㄩ 鏢 ㅍ→ㄩ
6 滂 A	撫招切	飄漂 ㄩ→ㄩ
7 並 A	符霄切	瓢 ㄩ→ㄩ
8 明 A		
9 知	陟遙切	朝 ㄩ→ㄔ
10 徹	敕宵切	超 ㄔ→ㄔ
11 澄	直遙切	潮 ㄩ→ㄔ 晁 ㄔ→ㄔ
12 娘		
13 來	力昭切	燎 ㄩ→ㄩ
14 精	即消切	焦蕉膳椒鷓 ㄔ→ㄔ 焦 ㅈ→ㄔ
15 清	七遙切	繰 ㄔ→ㄔ 鍬 ㄔ→ㄔ
16 從	昨焦切	樵譙樵 ㄔ→ㄔ
17 心	相邀切	消宵霄銷逍 ㄔ→ㄔ 硝 ㄔ→ㄔ
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 84—2	反 切	效攝開口三等 / 平聲宵韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	止遙切	昭 ㄓ→ㄓ 招 ㄓ→ㄓ 召 ㄓ→ㄓ 釗 ㄓ→ㄓ (勉也・見也) / ㄓ (人名：周康王)
24 昌	尺招切	昭 ㄓ→ㄓ
25 船		
26 書	式招切	燒 ㄓ→ㄓ
27 禪	市昭切	韶 ㄓ→ㄓ
28 日	如招切	饒 ㄓ→ㄓ
29 見 B	舉喬切	驕 ㄓ→ㄓ
30 溪 B	起囂切	趨 ㄓ→ㄓ
31 群 B	巨嬌切	喬 ㄓ→ㄓ
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A	去遙切	蹻 ㄓ→ㄓ
35 群 A	渠遙切	翹 ㄓ→ㄓ
36 疑 A		
37 曉 B	許嬌切	杓 ㄓ→ㄓ
38 影 B	於喬切	妖 ㄓ→ㄓ
39 曉 A		
40 影 A	於霄切	邀 ㄓ→ㄓ
41 云		
42 以	餘昭切	搖 ㄓ→ㄓ 遙 ㄓ→ㄓ 姚 ㄓ→ㄓ

表 85-1	反 切	效攝開口三等 / 上聲小韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	陂矯切	表裱 ㄩ→ㄩ 錶 ?→ㄩ
2 滂 B		
3 並 B	平表切	殍 ㄩ→ㄩ
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A	敷沼切	縹漂 ㄩ→ㄩ
7 並 A	苻少切	鰲 ㄩ→ㄩ
8 明 A	七沼切	藐渺秒眇 ㄩ→ㄩ
9 知		
10 徹		
11 澄	治小切	趙 ㄩ→ㄩ 兆 ㄩ→ㄩ 肇 ㄩ→ㄩ
12 娘		
13 來	力昭切	燎 ㄩ→ㄩ
14 精	子小切	剿 ㄩ→ㄩ
15 清	親小切	悄愀 ㄩ→ㄩ
16 從		
17 心	私兆切	小 ㄩ→ㄩ
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 85—2	反 切	效攝開口三等 / 上聲小韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之少切	沼 ㄓ→ㄔ
24 昌		
25 船		
26 書	書沼切	少 ㄓ→ㄔ
27 禪	市沼切	紹 ㄓ→ㄔ
28 日	而沼切	擾繞 ㄓ→ㄓ
29 見 B	居夭切	矯 ㄓ→ㄓ
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B	於兆切	夭 ㄓ→ㄓ
39 曉 A		
40 影 A		
41 云	切	昏 ㄓ→ㄓ
42 以		

表 86-1	反 切	效攝開口三等 / 去聲笑韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B	眉召切	廟 ㄩ→ㄩ
5 幫 A		
6 滂 A	匹妙切	剽 ㄩ→ㄩ
7 並 A		
8 明 A	彌笑切	妙 ㄩ→ㄩ
9 知		
10 徹		
11 澄	直照切	召 ㄩ→ㄩ
12 娘		
13 來	力照切	療 ㄩ→ㄩ
14 精	子肖切	醮 ㄩ→ㄩ 醮 ㄩ→ㄩ
15 清	七肖切	俏峭 ㄩ→ㄩ 倣 침→쑤 (視也·省也) / 초 (愁也)
16 從	才笑切	噍諂 ㄩ→ㄩ
17 心	私妙切	鞘 ㄩ→ㄩ 笑肖 ㄩ→ㄩ
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 86—2	反 切	效攝開口三等 / 去聲笑韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之少切	照詔 ㄗ→ㄗ
24 昌		
25 船		
26 書	失照切	少 ㄕ→ㄕ
27 禪	寔照切	邵劭邵召ㄕ→ㄕ
28 日	人要切	繞 ㄩ→ㄩ
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B	渠廟切	轄 ㄑ→ㄑ
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A	丘召切	翹 ㄑ→ㄑ
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於霄切	要 ㄩ→ㄩ
41 云		
42 以	弋照切	鷓耀 ㄩ→ㄩ

表 87	反 切	效攝開口四等 / 平聲蕭韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都聊切	刁雕凋瑯韶 ㄊ→ㄊ
6 透	吐彫切	佻挑 ㄊ→ㄊ 桃 탐→ㄊ
7 定	徒聊切	條調 ㄊ→ㄊ 迢苕 ㄊ→ㄊ 跳 ㄊ→ㄊ
8 泥		
9 來	落蕭切	聊僚瞭遼撩廖僚鷯 ㄌ→ㄌ
10 精		
11 清		
12 從		
13 心	蘇彫切	蕭簫瀟 ㄌ→ㄌ
14 見	古堯切	澆 ㄱ→ㄱ 梟 ㄱ→ㄱ 驍 ㄱ→ㄱ
15 溪		
16 疑	五聊切	焦 ㄱ→ㄱ 僥堯 ㄱ→ㄱ
17 曉		
18 匣		
19 影	於堯切	幺吆 ㄱ→ㄱ

表 88	反 切	效攝開口四等 / 上聲篠韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都了切	鳥 ㄉ→ㄊ
6 透		
7 定	徒了切	挑窕 ㄉ→ㄊ
8 泥	奴鳥切	嫻嫻 ㄋ→ㄋ
9 來	盧鳥切	了瞭蓼 ㄌ→ㄌ
10 精		
11 清		
12 從		
13 心	先鳥切	篠 ㄙ→ㄙ
14 見	古了切	皎繳皦 ㄐ→ㄐ 僥 ㄩ→ㄩ
15 溪		
16 疑		
17 曉	馨鳥切	曉 ㄒ→ㄒ
18 匣		
19 影	鳥皎切	杳 ㄩ→ㄩ 窈窕 ㄩ→ㄩ

表 89	反 切	效攝開口四等 / 去聲嘯韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	多嘯切	鈞弔 ㄉㄨ→ㄗ
6 透	他弔切	跳眺糶 ㄉㄨ→ㄗ
7 定	徒弔切	掉調藿 ㄉㄨ→ㄗ
8 泥	奴弔切	尿溺 ㄋㄨ→ㄋ
9 來	力弔切	料廖 ㄌㄨ→ㄌ 炮 ?→ㄌ
10 精		
11 清		
12 從		
13 心	蘇弔切	嘯 ㄙ→ㄙ
14 見	古弔切	叫 ㄍㄨ→ㄍ 徼 ㄍㄨ→ㄍ
15 溪	苦弔切	竅 ㄍㄨ→ㄍ
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

7 流攝

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
侯 開3 表 90	əu	u 質mu 頭tu 走tsu 口ku o 母mo	u 質mu 頭tu 走tsu 口ku o 母mo
尤 開3 表 93-1・2	iəu	iu 宙tiu 秋ts'iu 周tsiu 流riu 柔iu u 浮pu 搜su 九ku 右u	u・iu 宙tsu 秋ts'u 周tsu 流riu 柔iu u 浮pu 搜su 九ku 右u
幽 開3 表 96-1・2	iěu	iu 糾kiu 幽iu u 繆mu	iu 糾kiu 幽iu u 繆mu

流攝は、侯韻・尤韻・幽韻からなる。いずれも開口韻である。中古漢語の韻母は<主母音ə+韻尾u>というものであるが、韓国漢字音では主母音を韻尾に吸収させた形の単母音uで表現している。3等尤韻は古代韓国漢字音においてiuとなるものとuとなるものがあるが、唇音と牙音と齒音莊組は規則的にuに読まれる。唇音明母字「某・母・矛」などが母音oでよむのは特徴的。幽韻の彪がp'iu→p'io、謬がmu→riuと変化したのが注目される。

韓国漢字音における個別的变化としては、他にku→uとなるもの(区)、u→kuとなるもの(殴・欧)、mo→muとなるもの(侔牟謀)、ts'iu→ts'yとなるもの(就・臭)、ts'u→ts'yとなるもの(驟)、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表 9 2 讀^ㄩは、侯韻開口1等で、中古 [əu] からの変化音tu '두 (大透切、句一、文語絶處)、表 2 8 9 屋韻合口1等で、中古 [uk] からの変化音tok '독 (徒谷切、誦書・樂名)があり、現代漢字音に継承され併用されている。

讀書독서 讀經독경 讀誦독송 吏讀이두 (吏頭) 句讀點구두점

(2) 表 9 5 - 1 復^ㄹは、宥韻開口3等で、中古 [iəu] からの変化音pu '부 (浮富切、又也・再也)、表 2 9 1 - 1 屋韻合口3等で、中古 [iuk] > [uk] からの変化音pok '복 (房六切、返也・答也)があり、両音とも現代漢字音に継承され併用されている。

復校복교 復古복고 復答복답 復興부흥 復生부생 復活祭부활제

(3) 表 9 4 - 1 否^ㅁは、有韻開口3等で、中古 [iəu] からの変化音pu '부 (俯九切、口不許・違也)、表 5 8 - 2 紙韻開口3等で、中古 [jie] > [ji] からの変化音pi '비 (部鄙切、塞也・穢也)があり、両音とも現代漢字音に継承され併用されている。

否隔부격 否決부결 否認부인 否剥비박 否塞비색 否婦비부 否運비운

(4) 表 9 3 - 1 不 は、尤韻開口 3 等で、中古 [iəu] からの変化音 pu ‘早 (九鳩切、未定辭)’、表 2 0 8 物韻合口 3 等で、中古 [iuət] > [uə] からの変化音 pul ‘불 ([正韻] 逋沒切、未也・非也) があり、現代漢字音に両音とも継承され併用されている。

不自由부자유 不自然부자연 不定부정 不均等불균등 不規則불규칙 不及불급
 *不待接平대「不」は、中古音聲母体系から分類すれば全清音（無聲無氣音）で音價は [p] である。佐藤 昭 2002 によれば、中唐時代（8 世紀）に一定の音的条件のもとで、全清音（無聲無氣音）から次清音（無聲有氣音）へ分かれ出たとされる（幫 [p] →滂 [pʰ]）。上の例字の*不待接平대접の不 pu ‘平’はそれを示していると考えられる。現代漢字音には、無氣音から有氣音への変化過程で無氣・有氣音とも現代まで継承された結果と考えられる単語が見られる。

布…布施보시 布告포고 布石포석 貝…寶貝보배 貝物패물
 また「不 ‘早・불’」の両音現象について南廣祐 1973 は、奎章に「不」に関して「불 無也、早 (平聲) 未定、早 (上聲) 否 同、早 (去聲) 未定」解釈しているのと併せて、不足부족 不條理부조리 不振부진 不徳부덕 不當부당 は、「不」の後にハングル子音 ‘ㄷ・ㅌ’が続く場合 ‘ㄷ’脱落、不實부실 は、「不」の後にハングル子音 ‘ㅌ’が続く場合 ‘ㄷ’脱落の結果で、そのほかは ‘불’であるとする。

不可불가 不能불능 不良불량 不滿불만 不法불법 不安불안

7 流攝

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	平	侯	9 0
開	1	平	厚	9 1
開	1	去	候	9 2
開	3	平	尤	9 3 - 1・2
開	3	上	有	9 4 - 1・2
開	3	去	宥	9 5 - 1・2
開	3	平	幽	9 6 - 1・2
開	3	上	黝	9 7 - 1・2
開	3	去	幼	9 8 - 1・2

表 90	反 切	流攝開口一等 / 平聲侯韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	薄侯切	杯裒 부→부
4 明		
5 端	當侯切	兜 두→두 筩 도→두
6 透	託侯切	偷媮 투→투 輸 두→유
7 定	度侯切	頭 두→두 投 투→투
8 泥		
9 來	落侯切	樓樓樓婁 루→루 儻 름→루
10 精	子侯切	緘 쥬→쥬 陬 쥬→쥬
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古侯切	勾鈎溝 구→구
15 溪	恪侯切	樞 구→구
16 疑		
17 曉	呼侯切	勳 후→후
18 匣	戶鈎切	侯喉猴 후→후 瘼 흐→후
19 影	烏侯切	歐 우→구 區 구→구 (藏也·小室) / 宇 (域也·量名四豆) 謳鷗甌漚 구→구

表 91	反 切	流攝開口一等 / 上聲厚韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂	普后切	剖 부→부
3 並		
4 明	莫厚切	某母姆拇畝牡 모→모 拇畝모→무
5 端	當口切	斗抖陡 두→두
6 透		
7 定	徒口切	逗 두→두
8 泥		
9 來	郎斗切	簍樓 루→루
10 精	子苟切	走 주→주
11 清		
12 從		
13 心	蘇后切	摟叟叟噉藪 수→수
14 見	古厚切	狗苟垢峒 구→구
15 溪	苦后切	口鉤 구→구 叩 구→고
16 疑	五口切	藕偶耦 우→우
17 曉	呼后切	吼 후→후
18 匣	胡口切	厚後后 후→후
19 影	烏后切	毆 우→구 嘔 구→구

表 92	反 切	流攝開口一等 / 去聲候韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明	莫候切	茂貿懋贅袤戊 ㅁ→ㅂ
5 端	都豆切	鬪 ㅌ→ㅊ
6 透	他候切	透 ㅌ→ㅊ
7 定	徒候切	竇豆逗痘痘讀 (句一、文語絕處) ㄸ→ㄸ
8 泥	奴豆切	耨 ㄴ→ㄴ
9 來	盧候切	漏陋鏤瘻 ㄹ→ㄹ
1 0 精	則候切	奏 ㅈ→ㅈ
1 1 清	倉奏切	湊腠轉 ㅈ→ㅈ
1 2 從		
1 3 心	蘇奏切	嗽 ㅈ/ㅅ→ㅈ (咳) /ㅅ (吸也)
1 4 見	古候切	够構購媾覯姁句 ㄱ→ㄱ
1 5 溪	苦候切	扣寇杼 ㄱ→ㄱ
1 6 疑		
1 7 曉	呼漏切	荳窻 ㅊ→ㅊ
1 8 匣	胡遘切	候埃鬣逅 ㅎ→ㅎ
1 9 影	烏候切	漚 ㄱ→ㄱ

表 93-1	反切	流攝開口三等 / 平聲尤韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		不𦉳 𦉳→𦉳
2 滂		
3 並	縛謀切	浮蜉桴罌涪 𦉳→𦉳
4 明	莫浮切	矛眸 𦉳→𦉳 蠡謀侷牟 𦉳→𦉳
5 知	張流切	𦉳 𦉳→𦉳 𦉳 𦉳→𦉳
6 徹	丑鳩切	抽瘳 𦉳→𦉳
7 澄	直由切	綢紬稠籌壽疇疇 𦉳→𦉳
8 娘		
9 來	力求切	流疏旒瀏瀏留榴瘤鏳琉瑠 𦉳→𦉳
10 精	即由切	啾 𦉳→𦉳 𦉳 𦉳→𦉳
11 清	七由切	秋楸湫鯨鞦 𦉳→𦉳
12 從	自秋切	曾蝻 𦉳→𦉳 適 𦉳→𦉳
13 心	息流切	修羞 𦉳→𦉳
14 邪	似由切	囚洵 𦉳→𦉳
15 莊	側鳩切	鄒耶 𦉳→𦉳 𦉳 𦉳→𦉳 𦉳 𦉳→𦉳
16 初	楚鳩切	搗 𦉳→𦉳
17 崇	士尤切	愁 𦉳→𦉳
18 生	所鳩切	搜颯蒐廋洩 𦉳→𦉳

表 93-2	反 切	流攝開口三等 / 平聲尤韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	職流切	周 調舟洲 ㄱ→주 週 ㅈ→주
20 昌		
21 船		
22 書	式州切	收 ㄱ→주
23 禪	市流切	讎酬 ㄱ→주
24 日	耳由切	柔揉鞣蹂 ㄱ→유
25 見	居求切	鳩鬪龜 ㄱ→구 糾 ㄱ→구
26 溪	去鳩切	丘蚯蚓 ㄱ→구 邱 ㅈ→구
27 群	巨鳩切	求球毬逌裘毬球仇勳 ㄱ→구
28 疑	語求切	牛 ㄱ→우
29 曉	許尤切	休 ㅈ→휴
30 影	於求切	憂優擾麈 ㄱ→우
31 云	羽求切	尤郵 疣 ㄱ→우
32 以	以周切	悠攸由油游猶猷輶適蚰 ㄱ→유

表 94-1	反 切	流攝開口三等 / 上聲有韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方久切	否缶 阜→부
2 滂		
3 並	房久切	婦負阜 阜→부
4 明		
5 知	陟柳切	肘 斗→주
6 徹	敕久切	丑 斗→주
7 澄	除柳切	紂 斗→주
8 娘	女久切	紐扭犼鈕扭 斗→주
9 來	力久切	柳 斗→주 縉 利→류
10 精	子酉切	酒 斗→주
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 94—2	反 切	流攝開口三等 / 上聲有韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之九切	帚 ㄅㄨㄣˊ→ㄅㄨ
20 昌	昌九切	醜 ㄅㄨㄣˊ→ㄅㄨ
21 船		
22 書	書九切	手首守 ㄕㄨㄣˊ→ㄕㄨ
23 禪	殖酉切	受綬 ㄕㄨㄣˊ→ㄕㄨ
24 日		
25 見	舉有切	力久玖韭灸 ㄗㄨ→ㄗ
26 溪	去久切	糶 ㄗㄨ→ㄗ
27 群	其九切	臼舅咎 ㄗㄨ→ㄗ 柏 ?→ㄗ (柏樹·烏柏)
28 疑		
29 曉	許久切	朽 ㄒㄨ→ㄒ
30 影		
31 云	云久切	有 ㄩ→ㄩ 友 ㄩ→ㄩ
32 以	與久切	酉樗莠牖卣羨誘 ㄩ→ㄩ

表 95-1	反 切	流攝開口三等 / 去聲宥韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方副切	富 阜→부
2 滂	敷救切	副 阜→부 覆 阜→부 (蓋也·包也)
3 並	扶富切	復 阜→부 (又也·再也)
4 明		
5 知	陟救切	晝 斗→주
6 徹		
7 澄	直祐切	宙冑 斗→주 酎 斗→주
8 娘		
9 來	力救切	溜霽 斗→류 廖 冑→류 (周召伯名) / 留 (姓也)
10 精	即就切	儗 斗→주
11 清		
12 從	疾儗切	就驚 斗→취
13 心	息救切	秀琇繡鏤 斗→수 宿(列星) 斗→수
14 邪	似祐切	袖岫 斗→수
15 莊	側救切	皺縐 斗→주
16 初		
17 崇	鋤祐切	驟 斗→취
18 生	所祐切	瘦漱 斗→수

表 95—2	反 切	流攝開口三等 / 去聲宥韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	職救切	呪 축→주
20 昌	尺救切	臭 쥬 →취 殞 쥬→주
21 船		
22 書	舒救切	獸狩 슈→수
23 禪	承呪切	壽授售 슈→수
24 日		
25 見	居祐切	究救疚 구→구
26 溪		
27 群	巨救切	舊樞 구→구
28 疑		
29 曉	許救切	嗅 후→후
30 影		
31 云	于救切	又右佑 우→우 宥圍侑 유→유
32 以	余救切	褻袖黽 유→유 狻唼→유 糲 이/이→유

表 96-1	反 切	流攝開口三等 / 平聲幽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	甫然切	彪 弄→丑
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來		
14 精		
15 清		
16 從		
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 96-2	反 切	流攝開口三等 / 平聲幽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A	居虬切	穆 𠵿 → 𠵿
34 溪 A		
35 群 A	渠幽切	鯨 𠵿 → 𠵿 璆 𠵿 → 𠵿
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於虬切	幽 ㄩ → ㄩ
41 云		
42 以		

表 97-1	反 切	流攝開口三等 / 上聲黝韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來		
14 精		
15 清		
16 從		
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 97-2	反 切	流攝開口三等 / 上聲黝韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A	居黝切	糾 ㄐ→ㄑ
34 溪 A		
35 群 A	渠黝切	虯 ㄐ→ㄑ
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於糾切	黝 ㄩ→ㄩ
41 云		
42 以		

表 98-1	反 切	流攝開口三等 / 去聲幼韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B	靡幼切	繆 ㄇ→ㄇ 謬 ㅁ/ ㄇ→ㄹ (誤也)
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來		
14 精		
15 清		
16 從		
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 98-2	反 切	流攝開口三等 / 去聲幼韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	伊謬切	幼 ㅍ→ㅍ
41 云		
42 以		

第4章 中古漢語の韻母と対応する韓国漢字音（入声韻母がある撰）

1の1 咸攝平上去聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
覃 開1 表 99	ʌm	am 耽 tam 簪tsam 感kam	am 耽 tam 簪tsam 感kam
咸 開2 表 105	ɐm	am 站ts'am 杉sam 減kam	am 站ts'am 杉sam 減kam
鹽 開3 表 111-1・2	iɛm	iɛm 貶 p'iɛm 漸占 ts'iɛm 險 hiɛm 塩iɛm ɐm 檢kɛm 掩ɐm	iɛm・ɐm 貶 p'iɛm 漸占 ts'ɛm 險hiɛm 塩iɛm ɐm 檢kɛm 掩ɐm
添 開4 表 117	ɛm	iɛm 添 t'iɛm 店tiɛm 兼kiɛm	iɛm・ɐm 添 ts'ɛm 店tsɛm 兼kiɛm
談 開1 表 102	am	am 談 tam 慚 ts'am 甘kam	am 談 tam 慚 ts'am 甘kam
銜 開2 表 108	am	am 讎 ts'am 監 kam 銜 ham	am 讎 ts'am 監 kam 銜 ham
嚴 開3 表 114	iɛm	ɐm 劍kɛm 嚴ɐm	ɐm 劍kɛm 嚴ɐm
凡 合3 表 120	iuam	ɐm 帆犯 pɐm	ɐm 帆犯 pɐm

咸攝平上去聲は、覃韻・談韻・咸韻・銜韻・鹽韻・嚴韻・添韻・凡韻からなる。凡韻だけが合口韻で、ほかの7韻はみな開口韻である。韓国漢字音は、中古漢語の1・2等字がam、3・4等字がiɛm かɐmとよまれるのが原則的。3等塩韻字は一般にiɛmであるが、見組・曉組・影組のB類はɐmとなっていて、3等嚴韻字と同類となる。3等字で頭子音ts・ts'・sをもつものは現代までに後の母音iを落としiɛm→ɐmとなったのである。韓国漢字音における個別的变化としては、ham→kamとなるもの（堪戡・蚶酣・憾撼）、kam→hamとなるもの（緘）、ɐm→hɛmとなるもの（驗）、siɛm→tsɛmとなるもの（苦）、ts'iɛm→ts'amとなるもの（塹）、tsiɛm→ts'amとなるもの（僭）、ts'iɛm→tsamとなるもの（潛）、kiɛm→kamとなるもの（驗）、huɛm→hɛmとなるもの（欸）、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表106 澁は、謙韻開口2等で、中古〔 Δm 〕 > 〔 am 〕 からの変化音 $tsam$ ‘담 (都合切、樂也)’、表107 陷韻開口2等で、中古〔 em 〕 > からの変化音 $tsam$ ‘잠 ([韻會] 丈陷切、安也・澹也)’、表133-1 沁韻開口3等で、中古〔 iem 〕 > 〔 $iəm$ 〕 からの変化音 $tsim$ ‘침 (直禁切、沒也・漬也)’があり、三つの音とも現代漢字音に継承され併用されている。 湛然담연 湛恩담은 湛冥담명 湛露잠로 湛靜침정 湛溷침닉

(2) 表99 參は、覃韻開口1等で、中古〔 Δm 〕 > 〔 am 〕 からの変化音 $ts'am$ ‘참 (倉含切、間廁干與・謁也)’、表102 談韻開口1等で、中古〔 am 〕 からの変化音 sam ‘삼 (三の大數字)’、表131-1 侵韻開口3等 (初母・齒音の次清音) で、中古〔 iem 〕 > 〔 $iəm$ 〕 からの変化音 $ts'am$ ‘참 ((參差不齊)’、表131-1 侵韻開口3等 (生母・齒音の全清音) で、中古〔 iem 〕 > 〔 $iəm$ 〕 からの変化音 sam ‘삼 (疏簪切・藥名・星名)’があり、四つの音とも現代漢字音に継承され併用されている。

壹貳參일이삼 參加참가 參考참고 新參신참 參差不齊참치부제 人參인삼 (藥草)

(3) 表99 頤は、覃韻開口1等で、中古〔 Δm 〕 > 〔 am 〕 からの変化音 ham ‘함 (戸感切、頤一不飽・頤也)’、表100 感韻開口1等で、中古〔 Δm 〕 > 〔 am 〕 からの変化音 am ‘암 (五感切、一之點頭)’があり、両音は現代漢字音に継承され併用されている。

頤可암가 頤首암수 頤車함거 頤下物함하물

(4) 表106 厭は、謙韻開口2等で、中古〔 em 〕 > 〔 am 〕 からの変化音 am ‘암 (鄔感切、沈溺・閉也)’、表111-2 鹽韻開口3等で、中古〔(j) iem 〕 > 〔(j) iem 〕 からの変化音 iem ‘염 (於鹽切、安也・足也)’、表112-2 琰韻開口3等で、中古〔(j) iem 〕 > 〔(j) iem 〕 からの変化音 iem ‘염 (於琰切、惡也・嫌也)’、表113-2 豔韻開口3等で、中古〔(j) iem 〕 > 〔(j) iem 〕 からの変化音 iem ‘염 (於豔切、足也・滿也)’、表127-2 葉韻開口3等で、中古〔 $iæp$ 〕 からの変化音 $iæp$ ‘엽 (益涉切、禳也・合也)’があり、現代漢字音に併用されている。

厭足염족…豊かである 厭副염부…心から満足する

厭忌염기…いみきらう 厭世염세…世の中が無常に思え悲観する

厭然암연… (素直に従う・隱蔽) 厭旦엽단 厭躡엽섭 厭冠엽관

1 の 1 咸攝平上去聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	平	覃	9 9
開	1	上	咸	1 0 0
開	1	去	勘	1 0 1
開	1	平	談	1 0 2
開	1	上	敢	1 0 3
開	1	去	闕	1 0 4
開	2	平	咸	1 0 5
開	2	上	賺	1 0 6
開	2	去	陷	1 0 7
開	2	平	銜	1 0 8
開	2	上	檻	1 0 9
開	3	去	鑑	1 1 0
開	2	平	鹽	1 1 1 - 1・2
開	3	上	琰	1 1 2 - 1・2
開	3	去	豔	1 1 3 - 1・2
開	3	平	嚴	1 1 4
開	3	上	儼	1 1 5
開	3	去	釅	1 1 6
開	4	平	添	1 1 7
開	4	上	忝	1 1 8
開	4	去	忝	1 1 9
合	3	平	凡	1 2 0
合	3	上	范	1 2 1
合	3	去	梵	1 2 2

表 99	反 切	咸攝開口一等 / 平聲覃韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	丁含切	耽耽眈眈 담→탐 湛 담→담
6 透	他含切	貪探 탐→탐
7 定	徒含切	覃潭譚蟬 (衣書蠹·白魚) 담→담
8 泥	那含切	男南楠 남→남
9 來	盧含切	婪 램→람 嵐 남→람
10 精	作含切	簪 잠→잠
11 清	倉含切	參 (一加) 驂 참→참
12 從	昨含切	蠶 잠→잠
13 心	蘇含切	毳 삼→삼
14 見		
15 溪	口含切	堪戡龕 함→감
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡男切	含函涵頤 (頤也) 함→함
19 影	烏含切	庵菴暗奩鶴 암→암

表 100	反 切	咸攝開口一等 / 上聲感韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透	他感切	志 탐→탐
7 定	徒感切	函菴 담→담
8 泥	奴感切	脯 남→남
9 來	盧感切	婪람 →람
10 精		
11 清	七感切	慘 참→참
12 從		
13 心		
14 見	古禪切	感 감→감
15 溪	苦感切	坎轄 감→감
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡感切	撼 함→감 函 함→함
19 影	烏感切	黥庵揜 암→암 頷 (一之點頭) 암→암

表 101	反 切	咸攝開口一等 / 去聲勘韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透	他紺切	探 탐→탐
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古暗切	贛 감/궁 →감 (村名) / 궁 (賜也) 紺淦 감→감
15 溪	苦紺切	勘 감→감
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡紺切	憾 함→감 琿 함→함
19 影	烏紺切	暗闇 암→암

表 102	反 切	咸攝開口一等 / 平聲談韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都甘切	擔儋 담→담
6 透	他酣切	坍 단→담
7 定	徒甘切	談痰 담→담
8 泥		
9 來	魯甘切	藍 남→남 籃檻 람→람
10 精		
11 清		
12 從	昨甘切	慚 참→참
13 心	蘇甘切	三參 (‘三’ 大寫) 삼→삼
14 見	古三切	甘柑泔坭 감→감
15 溪		
16 疑		
17 曉	呼談切	蚶憇 함→감
18 匣	胡甘切	酣 함→감 邯 함→함
19 影		

表 103	反 切	咸攝開口一等 / 上聲敢韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都敢切	膽 담→담
6 透	吐敢切	毯 담→담
7 定	徒敢切	淡 담→담
8 泥		
9 來	盧敢切	覽攬覽 람→람
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古覽切	敢橄 감→감 攬 람→람
15 溪		
16 疑		
17 曉	呼覽切	喊 함→함
18 匣		
19 影	烏敢切	掩 암→암 (坑也) / 엄 (土覆物)

表 104	反 切	咸攝開口一等 / 去聲闕韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都濫切	擔 담→담
6 透		
7 定	徒濫切	淡啖擔澹 담→담
8 泥		
9 來	盧 切	濫 램→람
10 精		
11 清		
12 從	藏濫切	暫 잠→잠 鑿 잠→잠
13 心		
14 見		
15 溪	苦濫切	瞰闕 감→감
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 105	反 切	咸攝 開口 2 等 / 平聲咸韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘	女咸切	謫喃 남→남
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇	士咸切	饑讒 참→참
13 生	所咸切	杉摻 삼→삼
14 見	古咸切	檻樵 감→감 尫 감→개 緘 감→함
15 溪	苦咸切	鴿 ?→감
16 疑	五咸切	岳晷 암→암
17 曉		
18 匣	胡讒切	咸鹹誠 함→함
19 影	乙咸切	淹 엄→엄

表 106	反 切	咸攝 開口 2 等 / 上聲 謙韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄	徒減切	湛 잠→담
8 娘		
9 來		
10 莊	側減切	斬 참→참
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古斬切	減 감→감 𪛗 검→감
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	下斬切	謙 함→함
19 影		黯 𪛗 厭(沈溺·閉也) 암→암

表 107	反 切	咸攝 開口 2 等 / 去聲陷韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	陟陷切	站 참→참
6 徹		
7 澄	佇陷切	賺湛 잠→잠
8 娘		
9 來		
10 莊	莊陷切	蘸 잠→잠
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶 切	陷餡 함→함
19 影		

表 108	反 切	咸攝 開口 2 等 / 平聲銜韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初	楚銜切	攙 참→참
12 崇	鋤銜切	嶮鑿 참→참
13 生	所銜切	杉芟 삼→삼
14 見	古銜切	監 감→감
15 溪	口銜切	嵌 감→감
16 疑	五銜切	巖 암→암
17 曉		
18 匣	戶監切	銜 함→함
19 影		

表 109	反 切	咸攝 開口 2 等 / 上聲檻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡黠切	檻檻 함→함
19 影		

表 110	反 切	咸攝 開口 2 等 / 去聲鑑韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初	楚鑿切	黻 참→참
12 崇		
13 生	所鑑切	鈇 삼→삼
14 見	格儼切	鑑鑿監 감→감
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 111-1	反 切	咸攝開口三等 / 平聲鹽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	府廉切	砭 ㅍㅁ→ㅍㅁ
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	張廉切	沾霑 ㅈㅁ→ㅈㅁ
10 徹	丑廉切	覘 ㅈㅁ→ㅈㅁ
11 澄		
12 娘	女廉切	黏 ㄴㅁ→ㄴㅁ
13 來	力鹽切	廉鎌簾匳帘 ㄹㅁ→ㄹㅁ
14 精	子廉切	尖 ㅈㅁ→ㅈㅁ 殲 ㅈㅁ→ㅈㅁ 漸 ㅈㅁ→ㅈㅁ
15 清	七廉切	籤簽僉 ㅈㅁ→ㅈㅁ 鋟 ㅈㅁ→ㅈㅁ
16 從	昨鹽切	潛 ㅈㅁ→ㅈㅁ
17 心	息廉切	暹織織儉銛 ㅈㅁ→ㅈㅁ 綬 ㅈㅁ→ㅈㅁ
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 111-2	反 切	咸攝開口三等 / 平聲鹽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	職廉切	詹瞻譚 ㅈㅅ→ㅈㅅ 占 ㅈㅅ→ㅈㅅ
24 昌	處占切	檐檐 ㅈㅅ→ㅈㅅ
25 船		
26 書	失廉切	苦 ㅈㅅ→ㅈㅅ
27 禪	視占切	蟾 ㅈㅅ→ㅈㅅ
28 日	汝鹽切	髡 ㄷ→염
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B	巨淹切	箝鉗 ㅈㅅ→ㅈㅅ 黔鈐 ㅈㅅ→ㅈㅅ
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B	央炎切	淹闡醃崦 ㅅㅅ→ㅅㅅ
39 曉 A		
40 影 A		厭 (安也·足也) ㅅㅅ→ㅅㅅ
41 云	于廉切	炎 ㅅㅅ→ㅅㅅ
42 以	余廉切	鹽閻 ㅅㅅ→ㅅㅅ 簷 ㅈㅅ→ㅈㅅ

表 112-1	反切	咸攝開口三等 / 上聲琰韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	方斂切	貶窆 됴→뵆
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹	丑琰切	諂 됴→침
11 澄		
12 娘		
13 來	良冉切	斂蔽 림→림
14 精		
15 清		
16 從	慈泮切	漸 점→점
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 112-2	反切	咸攝開口三等 / 上聲琰韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	占琰切	颯黠 점→점
24 昌		
25 船		
26 書	失冉切	陝閃 섬→섬
27 禪	時染切	剡 섬→섬
28 日	而琰切	染 ㄱ→염 冉苒 염→염
29 見 B	居奄切	臉檢驗 검→검
30 溪 B		
31 群 B	巨險切	儉 검→검 芡 감→검
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B	虛檢切	險儉嶮 힘→힘
38 影 B	衣儉切	奄掩唵罨揜兪 엄→엄
39 曉 A		
40 影 A	於琰切	魘黶𩑦厭 (惡也・嫌也) 엄→엄
41 云		
42 以	以冉切	琰剡 엄→엄

表 113-1	反切	咸攝開口三等 / 去聲豔韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	方驗切	窆 ㅍㅁ→ㅍㅁ
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來	力驗切	斂殮瀦 ㄹㅁ→ㄹㅁ
14 精		
15 清	昌豔切	塹 ㅈㅁ→ㅈㅁ 槩 ㅈㅁ→ㅈㅁ
16 從		
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 113—2	反 切	咸攝開口三等 / 去聲豔韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	章豔切	佔 ㅈㅅ→ㅈㅅ
24 昌		
25 船		
26 書	舒膽切	揆 ㅅㅅ→ㅅㅅ 苦 ㅅㅅ→ㅅㅅ
27 禪	時豔切	瞻 ㅅㅅ→ㅅㅅ
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B	魚窠切	驗 ㅅㅅ→ㅅㅅ
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於驗切	饜厭 (足也·滿也) ㅅㅅ→ㅅㅅ
41 云		
42 以	以瞻切	濫焱焰鹽 ㅅㅅ→ㅅㅅ

表 114	反 切	咸攝開口三等 / 平聲嚴韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑	語 切	嚴 엄→엄
9 曉	虛嚴切	杵 흠→힘
10 影	於嚴切	醢 엄→엄
11 云		

表 115	反 切	咸攝開口三等 / 上聲儼韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑	魚掩切	儼 엄→엄
9 曉		
10 影		
11 云		

表 116	反 切	咸攝開口三等 / 去聲釅韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居欠切	劍 검→검
6 溪	去劍切	欠 흙→흙
7 群		
8 疑	魚欠切	釅 엄→엄
9 曉		
10 影		
11 云		

表 117	反 切	咸攝開口四等 / 平聲添韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	丁兼切	掂 던→짐
6 透	他兼切	添 텨→침
7 定	徒兼切	甜湑 텨→침 恬 텨→념
8 泥	奴兼切	鮎 텨→짐 拈 점/념→념 (以指取物)
9 來	勒兼切	濂 련→련
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古甜切	兼鯁鷄 검→검
15 溪	苦兼切	謙 검→검
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶兼切	嫌 험→험
19 影		

表 118	反 切	咸攝開口四等 / 上聲忝韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	多忝切	點玷 덤→점
6 透	他玷切	忝舔 텨→침
7 定	徒玷切	簞 덤→점
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見		
15 溪	苦簞切	賺賺歉 검→검
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡忝切	嫌 험→험
19 影		

表 119	反 切	咸攝開口四等 / 去聲 添韻/ 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都念切	店玷塾玷 덤→점 疔 점→점
6 透	他念切	忝 텨→점
7 定	徒念切	덤→점
8 泥	奴念切	念 념→념
9 來		
10 精	子念切	僭 점→참
11 清		
12 從		
13 心		
14 見		
15 溪	苦念切	歉謙 검→검
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 120	反 切	咸攝合口三等 / 平聲凡韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉	符咸切	帆凡 범→범
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影		
11 云		

表 121	反 切	咸攝合口三等 / 上聲范韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉	防 切	范範犯 범→범
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影		
11 云		

表 122	反 切	咸攝合口三等 / 去聲梵韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷	浮梵切	汎泛汎 범→범
3 奉	扶泛切	梵 범→범
4 微		
5 見	居欠切	劍 검→검
6 溪	去劒切	欠 흙→흙
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影		
11 云		

1の2 咸攝入聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
合 開1 表123	ɬp	ap 答 tap 雜tsap 合hap	ap 答 tap 雜tsap 合hap
洽 開2 表125	ɐp	ap 挿sap 眨tsap iəp 狹hiəp	ap 挿sap 眨tsap iəp 狹hiəp
葉 開3 表127-1・2	iəp	iəp 妾ts'iəp 涉siəp 葉iəp	əp・iəp 妾ts'əp 涉səp 葉iəp
帖 開4 表129	ɛp	iəp 蝶tiəp 帖t'iəp 協hiəp	əp・iəp 蝶tsəp 帖ts'əp 協hiəp
盍 開1 表124	ap	ap 塔t'ap 蠟rap 盍hap	ap 塔t'ap 蠟rap 盍hap
狎 開2 表126	ap	ap 翳sap 甲kap 壓ap	ap 翳sap 甲kap 壓ap
業 開3 表128	iap	əp 劫怯kəp 業əp	əp 劫怯kəp 業əp
乏 合3 表130	iuap	əp 法pəp	əp 法pəp

咸攝入聲は、合韻・盍韻・洽韻・狎韻・葉韻・業韻・帖韻・乏韻からなる。乏韻だけが合口韻で、ほかの7韻はみな開口韻である。韓国漢字音は、中古漢語の1・2等字がap、3・4等字がiəpかəpとよまれるのが原則的。なお細かく見ると、2等洽韻の牙音・喉音はiəpとなるものが多く、また3等業韻の牙音・喉音はapとなるのが基本となっている。

韓国漢字音における個別的变化としては、kiəp→hiəpとなるもの（夾）、hiəp→kiəpとなるもの（袂）、hap→apとなるもの（狎）、kiəp→hupとなるもの（恰）、hiəp→hupとなるもの（洽）、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表123 合は、(見母) 合韻開口1等で、中古 [ɬp] > [ap] からの变化音ap ‘합 (曷閣切、結一・同也)’があり、(匣母) 合韻開口1等で、中古 [ɬp] > [ap] からの变化音hop ‘흡 (量詞)’があり、両方とも現代漢字音に継承され併用されている。

合理합리 合法합법 合性합성 1合한흡 (=10勺)

(2) 表124 蓋は、盍韻開口1等(匣母)で、中古〔ʌp〕 > 〔ap〕 からの変化音hap ‘합’ (〔廣韻〕胡臘切、苫覆・蒲席)」、盍韻開口1等(見母)で、中古〔ʌp〕 > 〔ap〕 からの変化音kap ‘갑’ (〔正韻〕古沓切、齊下邑名・姓也)」、表30 泰韻開口1等で、中古〔ʌi〕 > 〔ai〕 からの変化音ke ‘개’ (〔居太切、覆也・白茅苦也)』があるが、現代漢字音ではke音のみが用いられる。

蓋愆개건 蓋頭개두 蓋笠개립 氣蓋세기개세 蓋棺事定개관사정

(3) 表99 蟬は、覃韻開口1等で、中古〔ʌm〕 > 〔am〕 からの変化音tam ‘담’ (徒南切、衣書蠹・白魚)」、表131-1 侵韻開口3等で、中古〔iem〕 > 〔iəm〕 からの変化音sim ‘심’ (徐心切、物動貌)」、表131-2 侵韻開口3等で、中古〔iəm〕 からの変化音uum ‘음’ (〔廣韻〕餘針切、衣書蠹・白魚)』があり、現代漢字音にはuum・simの両音が継承されている。
蟬魚음어 (=衣魚) 蟬蟬심심

1の2 咸攝入聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	入	合	123
開	1	入	盍	124
開	2	入	洽	125
開	2	入	狎	126
開	3	入	葉	127-1・2
開	3	入	業	128
開	4	入	帖	129
合	3	入	乏	130

表 123	反 切	咸攝開口一等 / 入聲合韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都合切	搭 탐→탐 (模也) / 답 (附也·掛也) 答 답→답
6 透	他合切	踏榻 탐→답
7 定	徒合切	沓 답→답
8 泥	奴荅切	納納 납→납
9 來	盧合切	拉 략→랍
10 精	子荅切	帀 자→잡 (週也·遍也) 帀 자→잡 (帀口)
11 清		
12 從	徂合切	雜襍 잡→잡
13 心	蘇合切	飒卅鞞駟響 삼→삼
14 見	古沓切	鴿蛤 함→함 合(結一·同也) 갑 →함
15 溪		
16 疑		
17 曉	呼合切	喝 할→갈 (詞也·怒聲) / 애 (嘶聲)
18 匣	侯閤切	合盒郤 함→함 合(量詞) 함→흠
19 影		

表 124	反 切	咸攝開口一等 / 入聲盍韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都盍切	裕 답→답 奩 ?→첩
6 透	吐盍切	塌塔榻 답→답
7 定		
8 泥		
9 來	盧盍切	邈蠟鑠 략→랍 邈 답→답 臘 납→랍
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見		盍 (齊下邑名·姓也) 갑→갑
15 溪	苦盍切	磕 (石聲) 갑→갑 瞌 카 →갑 (眼~·欲睡貌)
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡臘切	盍闔蓋 (苦覆·蒲席) 합→합
19 影		

表 125	反 切	咸攝 開口 2 等 / 入聲洽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	竹洽切	筍 잡/차 → 차
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	側洽切	眨 잡→잡
11 初	楚洽切	插 삽→삽
12 崇	士洽切	闡 잡→잡 牖 잡→삽 炸자 →작 爍 잡→잡
13 生	山洽切	霎敵箠 삽→삽
14 見	古洽切	夾 겹→협 狹 협→겹 邲 겹→겹
15 溪	苦洽切	掐 겹→겹 恰 겹→흡
16 疑		
17 曉		
18 匣	侯夾切	洽 협→흡 狹恰 협→협 硤협→협
19 影		

表 126	反 切	咸攝 開口 2 等 / 入聲狎韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄	丈甲切	霄 冑→冑
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生	所甲切	翬 冑→冑
14 見	古狎切	甲胛岬 冑→冑
15 溪		
16 疑		
17 曉	呼甲切	
18 匣	胡甲切	匣 冑→冑 狎 합→합
19 影	烏甲切	鴨壓 합→합 狎 합→합

表 127-1	反 切	咸攝開口三等 / 入聲葉韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	陟葉切	輒 침→칩
10 徹		
11 澄		
12 娘	尼輒切	聶 합→섭 (附耳私小語) / 집 (撰也·姓也) 鑷躡 녀→섭
13 來	良涉切	獵躡 녀→럽 鬣 럽→럽
14 精	即葉切	接棹 접→첩 睫 침→칩
15 清	七接切	妾 침→칩
16 從	疾葉切	捷 침→칩
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 127-2	反 切	咸攝開口三等 / 入聲葉韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之涉切	摺襪 접→접 褶 덥→습 (騎服) / 첩 (襲也・袂也)
24 昌		
25 船		
26 書	書涉切	攝 섭→섭
27 禪	時攝切	涉 섭→섭
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於輒切	靨厭 (禳也・合也) 엽→엽
41 云		
42 以	與涉切	葉 엽→엽 頁 혈→혈

表 128	反 切	咸攝開口三等 /入聲業韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居怯切	劫 겁→겁
6 溪	去劫切	怯 겁→겁
7 群		
8 疑	魚怯切	業 업→업
9 曉	虛業切	脅 헝→헝
10 影	於業切	腌 업→업
11 云		

表 129	反 切	咸攝開口四等 / 入聲帖韻 / 漢字音(李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	丁愜切	跌 덥→질
6 透	他協切	貼帖 텨→첩
7 定	徒協切	疊牒 텨→첩 蝶諫磔 텨→첩
8 泥	奴協切	茶 녀→넵
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心	蘇協切	變 섭→첩
14 見	古協切	莢頰鋏 협→협
15 溪	苦協切	愜 곶→협 篋 협→협 慊 곶→겸 (意不滿) / 협 (足也)
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡頰切	俠挾協 협→협
19 影		

表 130	反 切	咸攝合口三等 / 入聲乏韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	方乏切	法 법→범
2 敷		
3 奉	房法切	梵 범→범
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影		
11 云		

2の1 深攝平上去聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
侵 開 3 表 131-1・2	iəm	im 林rim 心sim 針ts'im Λm 岑 tsΛm 森sam um 今 kum 音um 凜rum um 品p'um	im 林rim 心sim 針ts'im am 岑 tsam 森sam um 今 kum 音um 凜rum um 品p'um

深攝は開口の侵韻ひとつからなる。韓国漢字音はimかumとよむのが基本で、後者は見組・曉組・影組字のよみ方である。莊組字はΛmとよまれ、これはのちにamとなった。韓国漢字音における個別的变化としては、nim→imとなるもの（稔賃）、kum→humとなるもの（欽）、ts'im→tsamとなるもの（箴）、p'um→p'umとなるもの（稟）、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表 1 3 1 - 2 金は、侵韻開口 3 等で、中古音 [iəm] からの変化音kum ‘금 (居吟切、五-西方之行・斤也) ’、[國音・kim召] (姓也・地名) があり、現代漢字音では両音とも継承され併用されている。この両音現象について、南廣祐 1973 は、kim ‘召’音は以前の韻書・玉篇にはその根拠はなく、大廣益會玉篇でも‘巨音切’なのでやはりkum ‘召’音ではないが、四解下 7 2 に‘金’が‘今・襟・禁’と並んで平聲kim ‘召’なので、‘召’音は中国音の影響であり、これが姓・地名では「금>召」の変化を起こし定着したとされている。

卞志源は、『語言研究集刊(第四輯)』掲載の論文「韓国漢字‘金’讀音」において、kim ‘召’音は中古音、kum ‘금’音は上古音の反映とするのが一般言語学者の認識であるが、それは『詩経』で‘金’と同韻字‘今・錦・音・林・心’の上古音：-iəm (Karlgren)、-jəm (Li)、-jəm (Pulleyblank)、-jim (Baxter)、これらの字の中古音は全部-im韻なので、<kum>kim>と結論したと述べる。しかし南廣祐 1973 は、人名・地名は保守的な面を含んでいるので、kim ‘召’音は古代音を継承しており、<kim>kim>変化規律の影響を受けてないと反論する。

金属금속 金融금융 黄金황금 金氏김씨 金海김해 金泉김천

2の1 深攝平上去聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	3	平	侵	1 3 1-1・2
開	3	上	寢	1 3 2-1・2
開	3	去	沁	1 3 3-1・2

表 131-1	反切	深攝開口三等 / 平聲侵韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	知林切	砧 탐→침
10 徹	丑林切	琛郴 침→침
11 澄	直深切	沉 침→침
12 娘		
13 來	力尋切	林淋琳霖臨 립→립
14 精	子心切	稜綾 침→침
15 清	七林切	侵駸 침→침
16 從		
17 心	息林切	心 심→심
18 邪	徐林切	尋潯葦鐔鱣蟬 (物動貌) 심→심 擗 심/션 →잠 (取也) /심 (深也)
19 莊	側吟切	簪 ㅈ→잠
20 初	楚簪切	參 (參差不齊) ㅈ→잠
21 崇	鋤針切	岑涇 ㅈ→잠
22 生	所今切	森參 (人一) ㅈ→삼

表 131-2	反切	深攝開口三等 / 平聲侵韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	職深切	針 침→침 𦉳 짐→짐 箴 침→잠
24 昌		
25 船		
26 書	式針切	深 심→심
27 禪	氏任切	忱 심→침 謹 심→심
28 日	如林切	壬任恁 (如此) 임→임
29 見 B	居吟切	今襟禁금→금 金금→금 (斤也·國名) / 김 (姓·地名)
30 溪 B	去金切	欽 금→흠 嶽衾 금→금
31 群 B	巨金切	琴芩禽擒檣 금→금
32 疑 B	魚金切	吟 음→음
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B	許金切	歆廡흠→흠
38 影 B	於金切	音陰暗 음→음 瘡 암→음
39 曉 A		
40 影 A	把淫切	愔 음→음
41 云		
42 以	餘針切	淫姪霑蟬 (衣書蠹·白魚) 음→음

表 132-1	反 切	深攝開口三等 / 上聲寢韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	筆錦切	稟 ㅍ→ㅍ
2 滂 B	丕飲切	品 ㅍ→ㅍ
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄	直稔切	朕 ㅈ→ㅈ
12 娘		
13 來	力稔切	凜 ㄹ→ㄹ 標 ㄹ→ㄹ
14 精		
15 清	七稔切	寢 ㅊ→ㅊ
16 從		
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初	切	礮 ㅊ→ㅊ
21 崇		
22 生		

表 132-2	反切	咸攝開口三等 / 上聲寢韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	章荏切	枕 침→침
24 昌		
25 船	食荏切	甚 심→심
26 書	式荏切	審嬾沈諗 심→심
27 禪	常枕切	甚 심→심
28 日	如甚切	稔 님→임 荏飪 임→임
29 見 B	居飲切	錦 금→금
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B	牛錦切	驗 엄→힘
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B	於錦切	飲 음→음
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以		

表 133-1	反切	深攝開口三等 / 去聲沁韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	知鳩切	攄 침→침
10 徹		
11 澄	直禁切	鳩 침→침
12 娘	乃禁切	賃恁 (念也·信也) 님→임
13 來	良鳩切	淋 림→림
14 精	子鳩切	浸湛 침→침
15 清	七鳩切	沁沁 침→침
16 從		
17 心		
18 邪		
19 莊	莊蔭切	譖 ㄸ→참
20 初	楚譖切	讖 ㄸ→참
21 崇		
22 生	所禁切	滲 入→삼

表 133—2	反 切	深攝開口三等 / 去聲沁韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之任切	枕 침→침
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日	汝鳩切	任妊絰飪 →임 妊衽임→임
29 見 B	居蔭切	禁 금→금
30 溪 B	切	衾 김→금
31 群 B	巨禁切	噤姁 금→금
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B	於禁切	窳飲廕蔭 음→음
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以		

2の2 深攝入聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
緝 開 3 表 134-1・2	iëp	ip 蟄 ts'ip 立rip 集tsip uip 習 suip 急kuip Ap 澀 sap	ip 蟄 ts'ip 立rip 集tsip uip 習 suip 急kuip ap 澀 sap

深攝入聲は開口の緝韻ひとつからなる。韓国漢字音はipかuipとよむのが基本で、後者は主として見組・曉組・影組字のよみ方である。「習・輯」など精組・章組字のいくつかはipでなくuipとよまれるのは、対応する平上去声側と平行しないという点が興味深い。莊組字はApとよまれ、これはのちにapとなった。韓国漢字音における個別的变化としては、tsuip→tsipとなるもの(緝輯汁)、suip→sipとなるもの(什)、uip→suipとなるもの(熠)、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表 1 3 1 - 2 **恧**は、侵韻開口 3 等で、中古 [iæm] からの変化音nim '님 (尼心切、如此)'、表 1 3 3 - 1 沁韻開口 3 等で、中古 [iæm] からの変化音im '임 (如鳩切、念也・信也)'があるが、現代漢字音では侵韻nim '님'音のみ継承し使われている。韓国漢字音の頭音には子音 'ㄴ'は子音 'ㅇ'に置き換わる頭音法則のため侵韻 '님'音が沁韻の如く 'ㅇ'になっている。 恧麼임마…どのように/このように

恧生임생…このような 恧的임적…このような 恧地임지…このような

(2) 表 1 3 4 - 1 **楫**は、楫韻開口 3 等で、中古音 [iæp] からの変化音tsuip '즙 (籍入切、棹也)'、表 1 2 7 - 1 葉韻開口 3 等で、中古音 [iæp] からの変化音tsæp '접 (即涉切、短棹曰一)'があり、現代漢字音ではtsuip音のみが使われている。

楫師즙사

(3) 表 1 3 4 - 2 **拾**は、緝韻開口 3 等で、中古音 [iæp] からの変化音suip '습 (寔入切、掇也・收也)'とsip '십 (寔入切、十也)'があり、現代漢字音では併用されている。

拾得습득 收拾수습 拾集습집 五拾오십 拾萬십만

2の2 深攝入聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	3	入	緝	1 3 4 - 1・2

表 134-1	反切	深攝開口三等 / 入聲緝韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	陟立切	繫 ㅈ→ㅉ
10 徹		
11 澄	直立切	蟄 ㅈ→ㅉ
12 娘		
13 來	力入切	立粒笠笠 ㄹ→ㄹ
14 精		
15 清	七入切	緝 ㅈ→ㅉ 茸 ㅈ→ㅉ
16 從	秦入切	集 ㅈ→ㅉ 輯楫 ㅈ→ㅉ
17 心		
18 邪	似入切	習襲隰 ㅈ→ㅉ
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生	切	澀 ㅈ→ㅉ

表 134-2	反切	深攝開口三等 / 入聲緝韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之入切	汁 ㄷ→ㄱ 執 ㄱ→ㄱ
24 昌		
25 船		
26 書	失入切	濕 ㄷ→ㄷ
27 禪	是執切	十 ㅅ→ㅅ 什 ㅅ→ㅅ 拾 ㅅ→ㅅ (收也) / ㅅ (十也)
28 日	入執切	入 ㅅ→ㅅ 廿이→ㅅ (二十也)
29 見 B	居立切	急級汲汲給芟 ㄱ→ㄱ
30 溪 B	去急切	泣 ㅅ→ㅅ
31 群 B	其立切	及笈 ㄱ→ㄱ
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B	許及切	吸 ㅎ→ㅎ
38 影 B	於汲切	邑悒浥裊 ㅅ→ㅅ
39 曉 A		
40 影 A	伊入切	揖挹 ㅅ→ㅅ
41 云		
42 以	羊入切	熠 ㅅ→ㅅ

3の1 山攝平上去聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
寒 開1 表135	an	an 單 tan 殘tsan 看kan	an 單 tan 殘tsan 看kan
山 開2 表138	æn	an 山 san 綻t'an 間kan	an 山 san 綻t'an 間kan
仙 開3 表144-1・2	iæn	iæn 編 p'ien 展tsien 仙善 sien 遣kien iæn演 æn 件kæn 彦æn	iæn・æn 編 p'ien 展tsæn 仙善 sæn 遣kien 演iæn æn 件kæn 彦æn
先 開4 表150	ɛn	iæn 邊 piæn 天t'ien 前tsien 見kien	iæn 邊 piæn 天t'ien 前tsien 見kien
刪 開2 表141	an	an 班 pan 棧tsan 奸kan	an 班 pan 棧tsan 奸kan
元 開3 表147	ian	æn 建 kæn 獻 hæn 言æn	æn 建 kæn 獻 hæn 言æn
桓 合1 表153	uan	an 般 pan 端tan 酸san oan 觀koan 歡hoan	an 般 pan 端tan 酸san oan 觀koan 歡hoan
山 合2 表157	uæn	oan 幻 hoan	oan 幻 hoan
仙 合3 表161-1・2	iuæn	iæn 傅 tsien 選s'ien 絹kien uæn 權kuæn 員uæn	iæn・æn 傅 tsæn 選sæn 絹kien uæn 權kuæn 員uæn
先 合4 表168	uɛn	iæn 犬 k'ien 玄hien 淵ien	iæn 犬 k'ien 玄hien 淵ien
刪 合2 表159	uan	oan 関koan 還hoan 頑oan an 撰ts'an	oan 関koan 還hoan 頑oan an 撰ts'an
元 合3 表165	iuæn	an 反pan 晚man æn 煩翻藩pæn uæn 券kuæn 遠uæn	an 反pan 晚man æn 煩翻藩pæn uæn 券kuæn 遠uæn

山攝は、寒韻・山韻・刪韻・仙韻・元韻・先韻・桓韻からなる。韓国漢字音は、中古漢語の開口1・2等字がan、開口3・4等字がiænかɛnとよまれるのが原則的。3等字で頭子音ts・ts'・sをもつものは現代までに後の母音iを落としiæn→ɛnとなった。開口3等仙韻の見組・曉組・影組字の場合、中古漢語のA類字とB類字でよみ方が分かれ、前者はiæn（遣kien）、後者はɛn（件kæn）となる。なお開口3等元韻字は基本的にɛnと読まれる。

中古漢語の合口1・2等字はoanとなるものと、anとなるものがあり、後者は唇音・舌音・歯音の場合である。合口3・4等字はiænかuænでよまれるのが原則的。合口3等仙韻の見組・曉組・影組字の場合、中古漢語のA類字とB類字でよみ方が分かれ、前者はiæn（絹kiæn）、後者はuæn（権kuæn）となる。後者は合口3等元韻字の発音uænと同類。合口3等元韻の唇音字のよみ方がanとænに分かれるが、なぜそうなるのか理由は不明。

韓国漢字音における個別的变化としては、開口では、ts'an→sanとなるもの（鏜）、tsiæn→ts'anとなるもの（濺）、siæn→ts'iænとなるもの（擅）、hiæn→kiænとなるもの（筧）、tiæn→tsinとなるもの（殄）、hæn→hunとなるもの（掀）、piæn→p'iænとなるもの（遍）、などがあり、合口では、hoan→oanとなるもの（莞）、oan→koanとなるもの（縮）、kiæn→iænとなるもの（涓）、uæn→oanとなるもの（碗宛）、koan→kuænとなるもの（顴）、huæn→hunとなるもの（壩）、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表135難は、寒韻開口1等で、中古[an]からの変化音nan '난(那肝切、艱一・不易)'、表137翰韻開口1等で、中古[an]からの変化音nan '난(乃旦切、患也)'、表1歌韻開口1等で、中古音[a]韻母からきたna '나(囊何切、患也・阻也)'があるが、現代漢字音ではnan音のみが使われている。

無難무난 非難비난 災難재난 避難피난 *困難근란 *論難논란
*困難근란 *論難논란の'란'音は、韓国漢字音で母音の間または'ㄹ'が接続の場合、後者の'ㄹ'は前の'ㄹ'に同化され'ㄹ+ㄹ→ㄹ+ㄹ'現象によるものである。

反論반론 嗔怒진로 許諾허락 理論이론 牡丹모란 會寧회령(地名)

(2) 表135單は、寒韻開口1等で、中古[an]からの変化音tan '단(多寒切、獨也・盡也)'、表144-2仙韻開口3等で、中古音[iæn]からの変化音sæn '선(時連切、廣大貌、一于)'、表146-2線韻開口3等で、中古[iæn]からの変化音sæn '선(上演切、姓也・縣名一父)'があり、現代漢字音では併用されている。

單價단가 單科단과 單獨단독 單于선우…匈奴君主の稱号 單縣선현…山東省縣名

(3) 表153莞は、桓韻合口1等で、中古[uæn]からの変化音koan '관(胡官切、草名苜蓿)'、表159漕韻合口2等で、中古[uæn]からの変化音oan '완(戸版切、一爾笑貌)'があり、現代漢字音では併用されている。

莞筵관연 莞簟관점 莞草관초 莞花관화 莞然완연

(4) 表153潘は、桓韻合口1等で、中古[uæn]からの変化音pan '반(鋪官切、阿南水名・姓也)'、表164元韻合口3等で、中古[iuan] > [uan]からの変化音pæn '번(孚袁切、浙米汁)'があり、現代漢字音ではpan音のみ使われている。

潘沐반목 潘楊之好반양지호

3の1 山攝平上去聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	平	寒	135

開	1	上	旱	1 3 6
開	1	去	翰	1 3 7
開	2	平	山	1 3 8
開	2	上	產	1 3 9
開	2	去	禡	1 4 0
開	2	平	刪	1 4 1
開	2	上	潛	1 4 2
開	2	去	諫	1 4 3
開	3	平	仙	1 4 4 - 1·2
開	3	上	獮	1 4 5 - 1·2
開	3	去	線	1 4 6 - 1·2
開	3	平	元	1 4 7
開	3	上	阮	1 4 8
開	3	去	願	1 4 9
開	4	平	先	1 5 0
開	4	上	銑	1 5 1
開	4	去	霰	1 5 2
合	1	平	桓	1 5 3
合	1	上	緩	1 5 4
合	1	去	換	1 5 5
合	2	平	山	1 5 6
合	2	去	禡	1 5 7
合	2	平	刪	1 5 8
合	2	上	潛	1 5 9
合	2	去	諫	1 6 0
合	3	平	仙	1 6 1 - 1·2
合	3	上	獮	1 6 2 - 1·2
合	3	去	線	1 6 3 - 1·2
合	3	平	元	1 6 4
合	3	上	阮	1 6 5
合	3	去	願	1 6 6
合	4	平	先	1 6 7
合	4	上	銑	1 6 8
合	4	去	霰	1 6 9

表 135	反 切	山攝開口一等 / 平聲寒韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都寒切	丹筭單 (獨也·盡也) 단→단 殫 탄→탄
6 透	他干切	灘癱 탄→탄 攤 탄→탄
7 定	徒干切	壇檀 단→단 彈 탄→탄
8 泥	那干切	難 (艱一·不易) 난→난
9 來	落干切	闌蘭攔欄瀾譚 란→란
10 精		
11 清	七安切	餐 찬→손 (鋪也) / 찬 (吞食)
12 從	昨干切	殘 잔→잔
13 心	蘇干切	姍珊 산→산
14 見	古寒切	干肝竿乾 간→간
15 溪	苦寒切	看刊栞 간→간
16 疑		
17 曉	許干切	軒 한→한 頊 ?→한
18 匣	胡安切	邯寒韓 한→한
19 影	烏寒切	安鞍 안→안

表 136	反 切	山攝開口一等 / 上聲旱韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明	莫旱切	懣 만→만 (煩悶)
5 端	多旱切	疸 단→달 擲탄→탄 担단/담/걸 →담 (負擔) /걸 (担橋)
6 透	他但切	坦 탄→탄
7 定	徒旱切	誕袒 탄→탄
8 泥		
9 來	落旱切	懶 란→란
10 精		
11 清		
12 從	藏旱切	瓚 찬→찬
13 心	蘇旱切	散繖撒傘 산→산
14 見	古旱切	桿 간→한 稈 간→간
15 溪	空旱切	侃 간→간
16 疑		
17 曉	呼旱切	罕 한→한
18 匣	胡笳切	旱 한→한
19 影		

表 137	反 切	山攝開口一等 / 去聲翰韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	得按切	ㄷ 단→단
6 透	他旦切	炭歎 탄→탄
7 定	徒案切	但 단→단 憚彈 탄→탄
8 泥	奴案切	難 (患也) 난→난
9 來	郎肝切	爛 란→란
10 精	則肝切	贊讚 찬→찬
11 清	蒼案切	粲燦璨 찬→찬
12 從		
13 心	蘇肝切	散 산→산
14 見	古案切	幹 간→간 肝 한→간 𩑦 한→한
15 溪	苦肝切	看衍 간→간
16 疑	五肝切	岸 안→안
17 曉	呼肝切	漢嘆燻 한→한
18 匣	侯肝切	汗扞捍閑悍翰瀚鉞 한→한
19 影	烏肝切	按案 안→안

表 138	反 切	山攝 開口二等 / 平聲山韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇	士山切	孱孱潺轄 잔→잔
13 生	所閑切	山 산→산
14 見	古閑切	艱間 간→간
15 溪	苦閑切	慳 한→간 鬻 간/간→간 (頭髮禿)
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶閑切	閑鵝閒 한→한 痲 한→간
19 影	烏閑切	殷 안→은 (盛貌) / 안 (黑赤色)

表 139	反 切	山攝 開口二等 / 上聲產韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	阻限切	醜盞 잔→잔
11 初	初限切	鏞 찬→산 劓 찬→잔
12 崇		
13 生	所簡切	產 산→산
14 見	古限切	簡襴束揀 간→간
15 溪		
16 疑	五限切	眼 안→안
17 曉		
18 匣	胡簡切	限 한→한
19 影		

表 140	反 切	山攝 開口二等 / 去聲禰韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	晡幻切	扮 반→반
2 滂	匹莧切	盼 반→반
3 並	浦莧切	瓣辦 판→판
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄	丈莧切	綻 탄→탄
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古莧切	間覷 간→간
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	侯禰切	莧 한→한
19 影		

表 141	反 切	山攝 開口二等 / 平聲刪韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	布還切	班斑頒扳盤攸 반→반
2 滂	普班切	攀扳 반→반
3 並	切	𠄎 ?→장
4 明	莫還切	蠻 만→만
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生	所姦切	刪漕 산→산
14 見	古顏切	姦菅奸 간→간
15 溪		
16 疑	五姦切	顏 안→안
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 142	反 切	山攝 開口二等 / 上聲濟韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	布縮切	板版 판→판
2 滂		
3 並	扶板切	坂 판→판
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘	奴板切	赧 난→난
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	下赧切	僭 한→한
19 影		

表 143	反 切	山攝 開口二等 / 去聲諫韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂	普患切	攀 반→반
3 並	謨晏切	慢慢縵 만→만
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄	丑晏切	
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初	初鴈切	麤 찬→찬
12 崇	士諫切	棧 잔→잔
13 生	所晏切	汕汕疝 산→산
14 見	古晏切	諫 간→간 澗鋼 간→간
15 溪		
16 疑	五晏切	鴈贗 안→안
17 曉		
18 匣		
19 影	烏 切	晏鶡 안→안

表 144-1	反 切	山攝開口三等 / 平聲仙韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A	卑連切	鞭編編 편→편
6 滂 A	芳連切	篇偏翩扁 편→편
7 並 A	房連切	緋榘諱便 (利也) 편→편
8 明 A	武延切	綿棉 먼→면
9 知	張連切	鱸遭 전→전
10 徹	丑延切	梃 천→천
11 澄	直連切	纏躔灑 전→전 麴 던→전
12 娘		
13 來	力延切	連漣鯁聯 런→런
14 精	子仙切	煎湔 전→전
15 清	七然切	遷韃 천→천
16 從	昨仙切	錢전→전
17 心	相然切	仙秣鮮 선→선
18 邪	夕連切	涎 연→연
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 144-2	反切	山攝開口三等 / 平聲仙韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	諸延切	氈鷓旃旃 전→전
24 昌		
25 船		
26 書	式連切	羶 전→전 扇煽 선→선
27 禪	市連切	蟬禪嬋單 (廣大貌·-于) 선→선 澶 →전 (水名) / 단 (漫也)
28 日	如延切	然 ㄷ→연 燃 연→연 肫 임→우
29 見 B		
30 溪 B	去乾切	愆騫褰拳 건→건
31 群 B	渠焉切	乾虔鍵 건→건 捐 ?→건
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B	於乾切	焉薦媯鄔 언→언
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	以然切	延筵蜒縑埏연→연

表 145-1	反 切	山攝開口三等 / 上聲獮韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B	符蹇切	辨辯 변→변
4 明 B	亡辨切	免勉冕俛 먼→면
5 幫 A	方緬切	編 변→변
6 滂 A		
7 並 A	符善切	編 변→변
8 明 A	彌 切	緬湏湏沔沔 먼→면 勳면→민
9 知	知演切	展輓 전→전 轉 던→전
10 徹	丑善切	葳 천→천
11 澄		
12 娘	尼展切	碾 년→년
13 來	力展切	輦 런→런
14 精	即淺切	剪翦齧戩讓 전→전
15 清	七演切	淺 천→천
16 從	慈演切	踐 천→천
17 心	息淺切	鮮癡蘇獮燹 선→선
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 145-2	反切	山攝開口三等 / 上聲獮韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌	昌善切	闡 천→천
25 船		
26 書		
27 禪	常演切	善墪鱗蟻墪 션/션→션
28 日		
29 見 B	九輦切	蹇蹇圀 견→견
30 溪 B		
31 群 B	其輦切	件 견→견
32 疑 B	魚蹇切	甌 언→언 獻 헌→헌
33 見 A		
34 溪 A	去演切	遣縑 견→견 綰 권→권
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	以淺切	演衍 연→연

表 146-1	反切	山攝開口三等 / 去聲線韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	彼眷切	變 변→변
2 滂 B		
3 並 B	皮變切	弁鼻卞沐忤扑 변→변
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A	匹戰切	騙 편→편
7 並 A	婢面切	便 편→편 (安也·消息) / 변 (一辟足恭)
8 明 A	彌箭切	面 면→면
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘	女箭切	碾 년→년
13 來		
14 精	子賤切	箭 전→전 濺 전/전→천
15 清		
16 從	才線切	賤餞 천→천
17 心	私箭切	線 선→선
18 邪	似面切	羨 선→선
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 146-2	反 切	山攝開口三等 / 去聲線韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之膳切	戰顛 전→전
24 昌		
25 船		
26 書	式戰切	扇煽 선→선
27 禪	時戰切	繕膳鄗嬪禪單 (姓也) 선→선 擅 선→천
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B	魚變切	彥諺唁讞 언→언
33 見 A		
34 溪 A	去戰切	謹 견→견
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以		

表 147	反 切	山攝開口三等 / 平聲元韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居言切	鞬鞬 건→건
6 溪		
7 群		
8 疑	語軒切	言 언→언
9 曉	虛言切	掀 헌→흔 軒 헌→헌
10 影	謁言切	薦 천→천
11 云		

表 148	反 切	山攝開口三等 / 上聲阮韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群	其偃切	鍵 건→건
8 疑		
9 曉	虛偃切	幘 헌→헌
10 影	於幘切	𦉳偃鄜𦉳𦉳 언→언
11 云		

表 149	反 切	山攝開口三等 / 去聲願韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居万切	建 건→건
6 溪		
7 群	渠建切	健腱 건→건
8 疑		
9 曉	許建切	憲獻 헌→헌
10 影	於建切	堰 언→언
11 云		

表 150	反 切	山攝開口四等 / 平聲先韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	布玄切	邊籩 변→변 編 편→편
2 滂		
3 並	部田切	駢변→병 胼 변→변 蹠 편→편
4 明	莫賢切	眠 면→면
5 端	都年切	顛巔癡滇愼 던→전
6 透	他前切	天 턴→천
7 定	徒年切	田填闡 던→전
8 泥	奴顛切	年 년→년
9 來	落賢切	憐蓮 런→런
10 精	則前切	箋籤 전→천 躡 전→전
11 清	蒼先切	千仟芊阡 천→천
12 從	昨先切	前 전→전
13 心	蘇前切	先躡 션→션
14 見	古賢切	肩堅 견→견
15 溪	苦堅切	牽汧 견→견
16 疑	五堅切	研妍 연→연
17 曉	呼煙切	祆 현→천
18 匣	胡田切	賢弦絃舷絃 현→현 痃 현→현
19 影	烏前切	烟燕菸闕咽 연→연

表 151	反 切	山攝開口四等 / 上聲銑韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方典切	扁匾 변→변
2 滂		
3 並	薄沘切	辯 변→변
4 明	彌殄切	眄 면→면
5 端	多殄切	典 던→전
6 透	他典切	腆渙覲 던→전
7 定	徒典切	殄 던→진
8 泥	乃殄切	撚 년→년
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心	蘇典切	跣銑洗 선→선
14 見	古典切	繭趼 견→견 筭 현→견
15 溪		
16 疑		
17 曉	呼典切	顯鞣蜺 현→현
18 匣	胡典切	峴倪 현→현
19 影		

表 152	反 切	山攝開口四等 / 去聲霰韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方見切	徧 변→변 遍 변→편
2 滂	普麵切	片 편→편
3 並		
4 明	莫甸切	麵 먼→면
5 端	都甸切	殿 던→전
6 透	他甸切	瑱 던→전
7 定	堂練切	塾墳電奠澱甸佃鈿 던→전 淀 던→정
8 泥		
9 來	郎甸切	練鍊煉棟 런→런
1 0 精	作甸切	薦 천→천
1 1 清	倉甸切	倩蒨茜 천→천
1 2 從	在甸切	荐琿洵旻 천→천
1 3 心	蘇佃切	霰 션→션
1 4 見	古電切	見 견→견
1 5 溪	苦甸切	牽 견→견
1 6 疑	吾甸切	硯 연→연
1 7 曉		
1 8 匣	胡甸切	見 현→견 現 현→현
1 9 影	於甸切	燕嚶宴 연→연

表 153	反 切	山攝合口一等 / 平聲桓韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北潘切	般搬 반→반
2 滂	普官切	潘(姓)番 (南海地名) 반→반 拵반→변/분 (棄也) / 변 (附手舞貌)
3 並	薄官切	癢盤槃磬鞞磻蟠 반→반
4 明	母官切	瞞謾縵曼 만→만
5 端	多官切	端崐 단→단
6 透	他端切	湍 단→단
7 定	度官切	團搏 단→단
8 泥		
9 來	落官切	鸞鸞 란→란 巒 란→만
10 精	借官切	鑽 찬→찬
11 淸		擻爨 찬→찬
12 從	在丸切	攢 찬→찬
13 心	素官切	酸竣 산→산
14 見	古丸切	官倌棺觀冠莞 (草名·苻離) 관→관
15 溪	苦官切	寬髓 관→관
16 疑	五丸切	玩刈 완→완
17 曉	呼官切	歡權驩謹 환→환
18 匣	胡官切	丸紈洿芘丸紈洿芘 환→환 垣洿 원→원 萑 환→환 完 완→완 貍 환→환
19 影	一丸切	剡琬 완→완

表 154	反 切	山攝合口一等 / 上聲緩韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1	幫	
2	滂	
3	並	蒲旱切 伴拌 반→반 稗 ?→반
4	明	莫旱切 滿 만→만
5	端	都管切 短 단→단
6	透	吐緩切 瞳 탄→탄
7	定	徒管切 斷 단→단
8	泥	乃管切 暖 난→난
9	來	盧管切 卵 란→란
1 0	精	作管切 攢纂繽 찬→찬
1 1	清	
1 2	從	
1 3	心	
1 4	見	古滿切 管琯館 관→관
1 5	溪	苦管切 款 관→관
1 6	疑	
1 7	曉	
1 8	匣	緩 환→완 浣 환→완 皖 환/ 환 →환
1 9	影	碗盃 윈→완 椀 완→완

表 155	反 切	山攝合口 1 等 / 去聲換韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博漫切	半絆만→만
2 滂	普半切	判판→판 泮만→만
3 並	薄半切	叛畔伴만→만
4 明	莫半切	幔漫墁鑊만→만
5 端	從管切	斷鍛단→단
6 透	通貫切	彖단→단
7 定	從玩切	段椴단→단
8 泥		
9 來	郎段切	亂란→란
10 精	借官切	鑽찬→찬
11 清	七亂切	爨竄찬→찬
12 從		
13 心	蘇貫切	筭禱蒜산→산
14 見	古玩切	館貫裸瓘鶴冠觀 관→관
15 溪		
16 疑	五換切	玩翫완→완
17 曉	火貫切	奐喚煥煥 환→환
18 匣	胡玩切	換遄垸 환→환 垸 완/ 환→완
19 影	烏貫切	惋腕완→완

表 156	反 切	山攝合口二等 / 平聲山韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古頑切	鰓환→환 綸관→관
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 157	反 切	山攝合口二等 / 去聲禡韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡辦切	幻 환→환
19 影		

表 158	反 切	山攝合口二等 / 去聲刪韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生	數還切	門 畵→산 拴 甸→甸 栓 畵→甸 (木釘)
14 見	古還切	關瘰 官→관
15 溪		
16 疑	五還切	玩頑 完→완
17 曉		
18 匣	戶關切	還環寰鬘環園緩 환→환
19 影	烏關切	彎 蠻→만 灣 完→만

表 15 9	反 切	山攝 合口二等 / 上聲潛韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇	雛鯨切	撰饌 찬→찬
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶板切	莞 (一爾笑貌) 환→완
19 影	烏板切	縮 완→관

表 160	反 切	山攝 合口 2 等 / 去聲諫韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初	初患切	纂 찬 →찬
12 崇	切	澗 찬 →쇄
13 生		
14 見	古患切	慣卵 관 →관
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡慣切	患宦擥輶黍 환 →환
19 影		

表 161-1	反 切	山攝合口三等 / 平聲仙韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄	直攣切	傅 전→전 椽 연→연
12 娘		
13 來		
14 精	子泉切	鑄 전→전
15 淸	此緣切	俊痊詮銓荃筌輕 전→전
16 從	疾緣切	泉 전→전 全痊 전→전
17 心	須緣切	宣瑄 선→선 揄 슈 →선
18 邪	似宣切	旋璇璿 선→선
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 161-2	反 切	山攝合口三等 / 平聲仙韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	職緣切	專媯磚輒顛膊 전→전
24 昌	昌緣切	川穿 천→천
25 船	食川切	船 선→선
26 書		
27 禪	市緣切	遄筵 천→천
28 日	而緣切	堦 ㄱ→연 (城下田)
29 見 B		
30 溪 B	丘圓切	圈捲 권→권
31 群 B	巨員切	權拳卷蜷 권→권 顴 관→권
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A	許緣切	儼翾嬛 현→현
40 影 A	於緣切	娟 연→연
41 云	王權切	員圓園 원→원
42 以	與專切	沿鉛鳶緣櫟蠅捐 연→연

表 16 2-1	反 切	山攝合口三等 / 上聲彌韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	陟亮切	轉輾 년→년
10 徹		
11 澄	持亮切	篆瑑 전→전
12 娘		
13 來		
14 精		
15 清		
16 從	徂亮切	雋 전→전
17 心	思亮切	選 선→선
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 162-2	反 切	山攝合口三等 / 上聲獮韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌	昌亮切	喘舛 천→천
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日	而亮切	軟蟬 ㄱ→연 冥 연→연
29 見 B	居轉切	捲 권→권
30 溪 B		
31 群 B	渠篆切	圈 권→권
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	以轉切	亮 연→연

表 163-1	反 切	山攝合口三等 / 去聲線韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	知戀切	轉傳 전→전
10 徹		
11 澄	直戀切	傳 던→전
12 娘		
13 來	力卷切	戀 런→런
14 精		
15 清		
16 從		
17 心	須緣切	渲 ?→선
18 邪	似宣切	旋璇 선→선
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 163-2	反切	山攝合口三等 / 去聲線韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌	尺絹切	串鉤 천→친
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B	居倦切	眷卷 권→권
30 溪 B		
31 群 B	渠卷切	倦 권→권
32 疑 B		
33 見 A	吉掾切	絹狷 견→견 鄧 규 →견 (邑名)
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云	王眷切	院瑗媛 원→원
42 以	以絹切	掾 연→연

表 164	反 切	山攝合口三等 / 平聲元韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	甫煩切	藩蕃 번→번
2 敷	浮袁切	翻番 (數也) 幡潘 (浙米汁) 번→번
3 奉	附袁切	煩繁蘩燔燔燔燔蕃樊蕃 번→번
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑	愚袁切	原源元沅莞龜 원→원
9 曉	況袁切	暄萱諼 환→환 堯 환→훈
10 影	於袁切	冤智鴛 원→원
11 云	雨元切	袁園猿轅爰援垣宛 (西域國名、大一) 원→원

表 165	反 切	山攝合口三等 / 上聲阮韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	府遠切	反返 반→반
2 敷		
3 奉		
4 微	無遠切	晚挽輓 만→만
5 見		
6 溪	去阮切	綰 권→권
7 群	求晚切	圈 권→권
8 疑	虞遠切	阮 원→원
9 曉	況晚切	烜 환→환
10 影	於阮切	宛 (—然) 원→완 婉苑琬苑 원→원 畹 완→원
11 云	雲阮切	遠 원→원

表 16 6	反 切	山攝合口三等 / 去聲願韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	方願切	販販 환→판
2 敷		
3 奉	符万切	飯 반→반
4 微	無販切	曼蔓万萬 만→만
5 見		
6 溪	去願切	勸券 권→권
7 群	臼万切	圈 권→권
8 疑	魚怨切	願愿 원→원
9 曉	虛願切	楨 환→환
10 影	於願切	怨苑 원→원
11 云	于願切	遠 원→원

表 167	反 切	山攝合口四等 / 平聲先韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古玄切	涓 견→연 鶻 견→견 蠲 견→견
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡涓切	玄懸 현→현
19 影	烏玄切	淵 연→연

表 168	反 切	山攝合口四等 / 上聲銑韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	姑沘切	畎 경→견
15 溪	苦沘切	犬 견→견
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡畎切	沘鉉 현→현
19 影		

表 16 9	反 切	山攝合口四等 / 去聲霰韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古縣切	睟冑 견→견
15 溪		
16 疑		
17 曉	許縣切	絢眴 현→현
18 匣	黃練切	縣眩炫銜 현→현
19 影		

3の2 山攝入聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
曷 開1 表170	ɑt	al 達 tal 擦ts'al 渴kal	al 達 tal 擦ts'al 渴kal
黠 開2 表171	æt	al 八p'al 殺sal 軋lal	al 八p'al 殺sal 軋lal
薛 開3 表173-1・2	iæt	iəl 別piəl 哲t'iəl 折tsiəl əl 傑kəl	iəl・əl 別piəl 哲ts'əl 折tsəl əl 傑kəl
屑 開4 表175	ɛt	iəl 警piəl 鉄t'iəl 節tsiəl 結kiəl	iəl・əl 警piəl 鉄ts'əl 節tsəl 結kiəl
鎋 開2 表173	at	al 刹 ts'al 轄 hal	al 刹 ts'al 轄 hal
月 開3 表174	iat	al 掲 kal 謁al əl 歇 həl	al 掲 kal 謁al əl 歇 həl
末 合1 表176	uat	al 鉢 pal 末mal 脱t'al oal 撮 ts'oal 活hoal	al 鉢 pal 末mal 脱t'al oal 撮 ts'oal 活hoal
黠 合2 表177	uæt	oal 滑猾 hoal	oal 滑猾 hoal
薛 合3 表179-1・2	iuæt	iəl 劣riəl 絶tsiəl 説siəl 悦iəl uəl 蹶kuəl	iəl・əl 劣riəl 絶tsəl 説səl 悦iəl uəl 蹶kuəl
屑 合4 表181	uet	iəl 決 kiəl 血穴 hiəl	iəl 決 kiəl 血穴 hiəl
鎋 合2 表178	uat	oal 刮 koal	oal 刮 koal
月 合3 表180	iuat	al 髮 pal 襪 mal əl 噦 əl 罰 pəl uəl 蕨 kuəl 月越 uəl oal 曰 oal	al 髮 pal 襪 mal əl 噦 əl 罰 pəl uəl 蕨 kuəl 月越 uəl oal 曰 oal

山攝入聲は、曷韻・黠韻・鎋韻・薛韻・月韻・屑韻・末韻からなる。韓国漢字音は、中古漢語の開口1・2等字がal、開口3・4等字がiəlかəlとよまれるのが原則的。仙韻開口の見組・曉組・影組字の場合、中古漢語のA類字とB類字でよみ方が分かれ、前者はiəl（子hiəl）、後者はəl（傑kəl）となる。中古漢語の合口1・2等字はoal（唇音字al）、合口3・4等字はiəlかuəlでよまれるのが原則的。薛韻合口の見組・曉組・影組字の場合、中古漢語の

A類字とB類字でよみ方が分かれ、前者はiəl(悦iəl)、後者はuəl(蹶kuəl)となる。月韻開口・合口においてalとよまれるのがある。この母音は元韻とも共通する現象で例外的なものであるが、唇音字の場合は中古漢語での音韻変化で2等韻に合流した結果を映したものと考えられる。

韓国漢字音における個別的变化としては、hal→kalとなるもの(喝褐)、kal→alとなるもの(戛)、tʰiəl→tsilとなるもの(迭埵)、hiəl→hilとなるもの(頡)、koal→hoalとなるもの(闊)、soal→soeとなるもの(刷)、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表170 獺は、曷韻開口1等で、中古[at]からの変化音tal‘달(他達切、水狗)’、表172 鍤韻開口2等で、中古[at]からの変化音tsʰal‘찰(狄轄切、水狗)’があるが、現代漢字音ではtal‘달’音のみが見られる。 獺祭달제

(2) 表170 喝は、曷韻開口1等で、中古[at]からの変化音kal‘갈(許葛切、訶也・怒聲)’、表36 卦韻開口2等で、中古[ai]からの変化音e‘에(於邁切、嘶聲)’があるが、現代漢字音ではkal音のみが使われている。

喝食갈식 喝采갈채 喝道갈도 喝破갈파

3の2 山攝入聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	入	曷	170
開	2	入	黠	171
開	2	入	鍤	172
開	3	入	薛	173-1・2
開	3	入	月	174
開	4	入	屑	175
合	1	入	末	176
合	2	入	黠	177
合	2	入	鍤	178
合	3	入	薛	179-1・2
合	3	入	月	180
合	4	入	屑	181

表 170	反 切	山攝開口一等 / 入聲曷韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	當割切	笱姐怛 달→달
6 透	他達切	鬪撻獺(水狗) 달→달
7 定	唐割切	達 달→달
8 泥	奴曷切	捺 날→날
9 來	盧達切	辣刺 랄→랄 痢 라 →랄 (辛痛)
10 精		
11 淸	七曷切	擦 찰→찰
12 從	才割切	砸 자→잡 (砸碎 : 잡쇠)
13 心	桑割切	撒薩 살→살
14 見	古達切	葛 갈→갈 割갈/할→할
15 溪	苦曷切	渴 갈→갈
16 疑		
17 曉	許葛切	喝 (訶也·怒聲) 할→갈
18 匣	胡葛切	曷褐 할→갈
19 影	烏葛切	遏 알→알

表 171	反 切	山攝 開口 2 等 / 入聲黠韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博拔切	八 팔→팔
2 滂		
3 並	蒲八切	拔 발→발
4 明	莫八切	抹 말→말
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	側八切	紮扎 찰→찰
11 初	初八切	察 찰→찰
12 崇		
13 生	所八切	殺煞鍛 살→살
14 見	古黠切	戛 갈→갈
15 溪	恪八切	搗 갈→갈
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡八切	黠 할→할
19 影	烏黠切	軋堰 알→알

表 172	反 切	山攝 開口 2 等 / 入聲鐮韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹	他鐮切	獺(水狗) 찰→찰
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初	初鐮切	刹 찰→찰
12 崇	查鐮切	鋤 짜→찰 (切草刀) 鑕 찰→찰
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉	許鐮切	瞎 할→할
18 匣	胡瞎切	轄 할→할
19 影		

表 173-1	反 切	山攝開口三等 / 入聲薛韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	方別切	別 別→별 莢 며 →별
2 滂 B		
3 並 B	皮列切	別 別→별
4 明 B		
5 幫 A	并列切	鼈 別→별 癩 ?→별
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A	七列切	滅 滅→멸
9 知	陟列切	蜚 철→철 哲 털→철
10 徹	丑列切	徹 철→철
11 澄	直列切	輒 철→철
12 娘		
13 來	良薛切	列烈裂 렬→렬
14 精		
15 清		
16 從		
17 心	私列切	褻泄繼薛 설→설
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 173-2	反 切	山攝開口三等 / 入聲薛韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	旨熱切	折浙 절→절
24 昌	昌列切	掣 철→철
25 船	食列切	舌 설→설
26 書	識列切	設 설→설
27 禪	常列切	折 설→절
28 日	如列切	熱 열→열
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B	渠列切	桀傑杰 걸→걸
32 疑 B	魚列切	孽蘖闌 열→열
33 見 A	居列切	子 혈/걸→혈
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	羊列切	拽 열→열 (施也) / 예 (引也) 曳 이 →예 (引也)

表 174	反 切	山攝開口三等 /入聲月韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居竭切	揭 갈→갈 訐 알→알 羯 갈→갈
6 溪		
7 群	其謁切	竭礪 갈→갈
8 疑		
9 曉	許竭切	歇 헐→헐
10 影	於歇切	謁 알→알
11 云		

表 175	反 切	山攝開口四等 / 入聲屑韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方結切	愍 말→벌
2 滂	普蔑切	撇 벌→벌 瞥 벌→벌
3 並	蒲結切	弊 벌→벌
4 明	莫結切	蔑篋巖 멀→멀
5 端		
6 透	他結切	鐵餐 털→철
7 定	徒結切	迭陟埵蠶 털→질 跌딜 →질
8 泥	奴結切	捏涅 념→널 茶 념→날
9 來	練結切	捩 렬→렬
10 精	子結切	節癩 절→질
11 清	千結切	竊切 절→질
12 從	昨結切	截 절→질
13 心	先結切	楔屑 설→설
14 見	古屑切	結桔潔拮 결→결
15 溪	苦結切	鏗 결→결 契 결→결 (勤苦) / 설 (人名)
16 疑	五結切	臬隄 얼→얼 齧 혈→설
17 曉		
18 匣	胡結切	頡頏 혈→힐
19 影	烏結切	噎咽 열→열

表 176	反 切	山攝合口一等 / 入聲末韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北末切	鉢撥 발→발
2 滂	普活切	潑 발→발
3 並	蒲撥切	拔魃芟鉞 발→발
4 明	莫撥切	抹末沫 말→말
5 端	丁括切	掇綴剝 철→철
6 透	他括切	脫悅悅 탈→탈
7 定	徒活切	奪 탈→탈
8 泥		
9 來	郎括切	埒 랄→랄
10 精		
11 淸	倉括切	撮 촬→촬
12 從		
13 心		
14 見	古活切	括聒 괄→괄
15 溪	苦括切	闊 괄→활
16 疑		
17 曉	呼括切	豁 활→활
18 匣	戶括切	活 활→활
19 影	烏括切	斡 알→알

表 177	反 切	山攝 合口 2 等 / 入聲點韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪	口滑切	鬣 갈/갈 (頭髮禿)
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶八切	滑猾確 활→활
19 影	烏八切	窆 알→알

表 178	反 切	山攝 合口 2 等 / 入聲 鎋韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生	數刮切	刷 살/살/ㅅ → 쇠
14 見	古 切	刮鵠 괄 → 괄
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 179-1	反 切	山攝合口三等 / 入聲薛韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	陟劣切	輟 철→철
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來	力輟切	劣 련→렬
14 精		
15 清		
16 從	情雪切	絶 절→절
17 心	相絶切	雪 설→설
18 邪	寺絶切	蕘 수/슈 →예 (施倒)
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 179-2	反切	山攝合口三等 / 入聲薛韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	職悅切	拙 절→졸
24 昌	昌悅切	啜 철→철
25 船		
26 書	失蕪切	說 설→설
27 禪		
28 日	如劣切	蕪 설→설
29 見 B	紀劣切	蹶 꺾→꺾
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	弋雪切	悅閱說 열→열

表 180	反 切	山攝合口三等 / 入聲月韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	方伐切	發髮 발→발
2 敷		
3 奉	房越切	伐筏闕堡罰 벌→벌
4 微	望發切	襪 말→말
5 見	居月切	厥蹶蕨蹙 꺾→꺾
6 溪	去月切	闕 꺾→꺾
7 群	其月切	掘槩 꺾→꺾
8 疑	魚厥切	月別 월→월
9 曉		
10 影	於月切	噦 얼→얼
11 云	王伐切	曰 왈→왈 越戍鉞粵樾 월→월

表 181	反 切	山攝合口四等 / 入聲屑韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古穴切	決訣抉缺譎 결→결
15 溪	苦穴切	缺闕 결→결
16 疑		
17 曉	呼決切	血 혈→혈
18 匣	胡決切	穴 혈→혈
19 影		

4の1 臻攝平上去聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
痕 開1 表182	ən	ʌn 吞 t'ʌn 懇kan 恨hʌn ʊn 恩ʊn 痕hʊn 根kʊn	an 吞 t'an 懇kan 恨han ʊn 恩ʊn 痕hʊn 根kʊn
眞 開2 表185-1・2	iën	in 貧 pin 津真tsin 緊kin ʊn 僅kʊn	in 貧 pin 津真tsin 緊kin ʊn 僅kʊn
殷 開3 表190	iən	ʊn 斤kʊn 欣hʊn	ʊn 斤kʊn 欣hʊn
魂 合1 表193	uən	un 奔 pun 尊tsun 遁tun on 敦 ton 村 ts'on 困kon	un 奔 pun 尊tsun 遁tun on 敦 ton 村 ts'on 困kon
諄 合3 表196-1・2	iuën	iun 輪 riun 春ts'iun 均kiun un 遵 tsun 隕un	iun・un 輪 riun 春ts'un 均 kiun un 遵 tsun 隕un
文 合3 表199	iuən	un 分 pun 君kun 雲un	un 分 pun 君kun 雲un

臻攝は、痕韻・眞韻・殷韻・魂韻・文韻・諄韻からなる。開口1等痕韻字の韓国漢字音は、ʌn (→an) となるものとʊnとなるものがある。開口3等眞韻は一般にinであるが、見組・曉組・影組字の場合、中古漢語のA類字とB類字でよみ方が分かれ、前者はin (緊kin)、後者はʊn (僅kʊn) となる。殷韻の見組・曉組字がʊnであるのは、音韻的に眞韻のA類字よりB類字に近い性格があることを意味する。合口3等の諄韻はiunとよまれ、文韻はunとよまれるのが基本となっている。

韓国漢字音における個別的变化としては、sin→sənとなるもの (詵)、ts'ʊn→ts'inとなるもの (禰)、ʊn→kanとなるもの (𪛗)、kʊn→kiənとなるもの (勁)、tun→tonとなるもの (屯豚臀)、tsun→tsonとなるもの (尊樽蹲存)、mʊn→munとなるもの (吻)、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表193合口1等魂韻敦^ㄷは、中古[uən]からの变化音ton '돈 (都昆切、怒也・詆也)'、表194合口1等混韻敦^ㄷは中古[uən]からの变化音ton '돈 (杜本切、渾一・不開通貌)'、表195合口1等恩韻敦^ㄷは中古[uən]からの变化音ton '돈 (都困切、堅也)'、表45合口1等隊韻敦^ㄷは、中古[ʌi]からの变化音te '대 (都回切、玉一繫類)'があるが、現代漢字音にはton音のみ見られる。

敦篤 (=敦厚) 돈독 敦睦돈목 敦朴돈박 敦迫돈박 敦崇돈송 敦煌돈황 (地名)

(2) 表199[賁]は、文韻合口3等で、中古 [iuən] > [uən] からの変化音pun ‘분 (符分切、大也)’、表59-1[賁]は、真韻開口3等で、中古 [ie] > [i] からの変化音pi ‘비 (彼義切、飾也・卦名)’があるが、現代漢字音には真韻のpi音のみ使われている。

賁來비래…他人の訪問の敬称 賁飾비식…美しく飾る 賁然비연…輝く模様

4の1 臻攝平上去聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	平	痕	182
開	1	上	很	183
開	1	去	恨	184
開	3	平	眞・臻	185-1・2
開	3	平	臻	186-1・2
開	3	上	軫	187-1・2
開	3	上	角	188-1・2
開	3	去	震	189-1・2
開	3	平	殷	190
開	3	上	隱	191
開	3	去	焮	192
合	1	平	魂	193
合	1	上	混	194
合	1	去	懇	195
合	3	平	諄	196-1・2
合	3	上	準	197-1・2
合	3	去	稕	198-1・2
合	3	平	文	199
合	3	上	吻	200
合	3	去	問	201

表 182	反 切	臻攝開口一等 / 平聲痕韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透	吐根切	吞 ㅌ→탄
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古痕切	跟根 ㄱ→근
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶恩切	痕 ㅎ→흔
19 影	烏痕切	恩 ㅎ→은

表 183	反 切	臻攝開口一等 / 上聲很韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古恨切	
15 溪	康根切	懇壘 ㄱ→간 齷 ㄱ →간
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡壘切	很 ㅎ →흔
19 影		

表 184	反 切	臻攝開口一等 / 去聲恨韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古恨切	良 ㄱ → 간
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡良切	恨 ㅎ → 한
19 影		

表 185-1	反切	臻攝開口三等 / 平聲眞・臻韻 / 漢字音(李朝→現代)
1 幫 B	府巾切	彬斌份邠豳 빈→빈
2 滂 B		
3 並 B	符巾切	貧 빈→빈
4 明 B	武巾切	岷珉緡閩旻恣 민→민
5 幫 A	必隣切	賓鎋濱瀕檣 빈→빈
6 滂 A	匹賓切	繽 빈→빈
7 並 A	符眞切	頻瀕蘋顰嘖嬪 빈→빈
8 明 A	彌隣切	民 민→민
9 知	陟鄰切	珍 진→진
10 徹	丑人切	
11 澄	直珍切	陳塵 딴→진
12 娘		
13 來	力珍切	鄰鱗隣遴麟鄰嶙嶙隣 린→린
14 精	將鄰切	津 진→진
15 清	七人切	親 친→친
16 從	匠鄰切	秦螽 진→진
17 心	息鄰切	辛新薪 신→신
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 185-2	反切	臻攝開口三等/ 平聲眞・臻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	職鄰切	眞甄 진→진
24 昌	昌眞切	眞瞋 진→진
25 船	食鄰切	神 썸/션/신→신
26 書	失人切	身申伸呻紳娠 신→신
27 禪	植鄰切	晨辰宸 신→진 臣 신→신
28 日	如鄰切	人仁 ㄹ→인
29 見 B	居銀切	巾 건→건
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B	語巾切	銀垠鴛闇罌 은→은
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於眞切	因姻茵駟網湮堙網烟氤 인→인
41 云		
42 以	翼眞切	寅夤蜃 인→인

表 186-1	反 切	臻攝開口三等 / 平聲臻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊	側洗切	榛臻綦漆 진→진
16 初		
17 崇		
18 生	所臻切	莘駢 선/슨 →신 洗 선/슨 →션

表 186-2	反 切	臻攝開口三等 / 平聲臻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云		
32 以		

表 187-1	反切	臻攝開口三等 / 上聲軫韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B	眉殞切	閔憫敏愍抵潛 민→민
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A	忍切	牘 빈→빈 牝 빙→빈
8 明 A	武盡切	泯 민→민
9 知		
10 徹		
11 澄	直引切	紉睽 진→진
12 娘		
13 來		
14 精	即忍切	儘 진→진
15 清		
16 從	慈忍切	盡 진→진
17 心		
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 187-2	反切	臻攝開口三等 / 上聲軫韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	章忍切	診疹畛軫軫稔 진→진
24 昌		
25 船		
26 書	式忍切	哂矧 신→신
27 禪	時忍切	腎娠 신→신
28 日	而軫切	忍 인→인
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B	宜引切	听 은→은
33 見 A	居忍切	緊 긴→긴
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	余忍切	引蜺鞞 인→인

表 188-1	反 切	臻攝開口三等 / 上聲 韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初	初謹切	襯 ㄷ→ㄷ 襯 ㄷ→ㄷ
17 崇		
18 生		

表 188-2	反 切	臻攝開口三等 / 上聲 韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云		
32 以		

表 189-1	反切	臻攝開口三等 / 去聲震韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A	必刃切	殯鬢擯儳 빈→빈
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知	陟刃切	鎭瑱 진→진
10 徹	丑刃切	趁疢 진→진
11 澄	直刃切	陣 진→진
12 娘		
13 來	良刃切	吝藺輻遴躡 린→린
14 精	即刃切	進晉搢縉 진→진 璿 진→진
15 清	七遴切	親 친→친
16 從		
17 心	息晉切	信凶汎訊 신→신
18 邪	徐刃切	燼蓋 신→신
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 189-2	反切	臻攝開口三等 / 去聲震韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	章刃切	振震賑 진→진
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪	時刃切	慎蜃 신→신
28 日	而振切	認韌仞靛 인→인 認刃 →인
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B	渠邊切	僅廛瑾僅堦觀殫 근→근
32 疑 B	魚覲切	熬 은→은
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A	許覲切	夔 혼→혼
40 影 A	於刃切	印 인→인
41 云		
42 以	羊晉切	胤 윤→윤

表 1 9 0	反 切	臻攝開口三等 / 平聲殷韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	舉欣切	斤筋 근→근
6 溪		
7 群	巨斤切	勤勲芹 근→근
8 疑	語斤切	齷 은→간 鄞 은→은
9 曉	許斤切	欣忻訢忻昕 혼→흔
10 影	於斤切	殷愍 근→은
11 云		

表 191	反 切	臻攝開口三等 / 上聲隱韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居隱切	謹權董登 근→근
6 溪		
7 群	其謹切	近 근→근
8 疑		
9 曉		
10 影	於謹切	隱 은→은
11 云		

表 192	反 切	臻攝開口三等 / 去聲炘 韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居愀切	勁 근→경 旻斬 근→근
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉	香斬切	炘 훈→흔
10 影		
11 云		

表 193	反 切	臻攝合口一等 / 平聲魂韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博昆切	奔賁餽 분→분
2 滂	普魂切	噴 분→분
3 並	蒲奔切	盆湓 분→분
4 明	莫奔切	門捫 문→문
5 端	都昆切	墩敦惇敦 (怒也·厚也) 돈→돈
6 透		
7 定	徒渾切	屯豚臀鈍 든→돈
8 泥		
9 來	盧昆切	論崙 룬→룬
10 精	祖昆切	尊樽 준→존
11 清	此尊切	村촌→촌
12 從	徂尊切	蹲存 준→존
13 心	思渾切	孫獮獮獮 손→손
14 見	古渾切	昆崑琨鯤 곤→곤
15 溪	苦昆切	坤髡 곤→곤
16 疑		
17 曉	呼昆切	昏婚闇昏 혼→혼
18 匣	戶昆切	渾琿魂餽 혼→혼
19 影	烏渾切	溫瘟 온→온

表 194	反 切	臻攝合口一等 / 上聲混韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	布忖切	本畚 븐→븐
2 滂		
3 並	蒲本切	笨 븐→븐
4 明	模本切	懣 문→문 (煩也)
5 端		
6 透		
7 定	徒損切	圉沌豚敦 (渾一・不開通貌) 돈→돈 盾 둔→돈
8 泥		
9 來		
10 精	茲損切	搏 준→준
11 清	倉本切	忖 촌→촌
12 從		
13 心	蘇本切	損 손→손
14 見	古本切	袞鯨滾 곤→곤
15 溪	苦本切	網裊 곤→곤 鬪壺悃 곤→곤
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡本切	混 혼→혼 (雜也) / 混 (西戎名・一夷)
19 影	烏本切	穩 온→온

表 195	反 切	臻攝合口一等 / 去聲恩韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	甫悶切	遶奔 분→분
2 滂	普悶切	噴 분→분
3 並		
4 明	莫困切	闕 문→비 邁 문→문
5 端	都困切	拙頓敦(豎也) 둔→돈
6 透		
7 定	徒困切	鈍遁遯 둔→둔
8 泥	奴困切	嫩 닌→닌
9 來	盧困切	論 른→룬
10 精		
11 清	倉困切	寸 촌→촌
12 從		
13 心	蘇困切	巽喫遜 손→손
14 見	古困切	? →곤
15 溪	苦悶切	困 곤→곤
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡困切	囵溷 혼→혼 恩 혼→혼
19 影		

表 196-1	反切	臻攝合口三等 / 平聲諄韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹	丑倫切	椿 ㄷㄨㄣ → ㄷㄨㄣ
11 澄		
12 娘		
13 來	力迺切	輪倫綸掄侖淪 ㄹㄨㄣ → ㄹㄨㄣ
14 精	將倫切	遵 ㄷㄨㄣ → ㄷㄨㄣ
15 清	七倫切	皃竣 ㄷㄨㄣ → ㄷㄨㄣ
16 從		
17 心	相倫切	荀詢洵恂 ㄷㄨㄣ → ㄷㄨㄣ
18 邪	詳遵切	旬循巡馴 ㄷㄨㄣ → ㄷㄨㄣ
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 196—2	反 切	臻攝合口三等 / 平聲諄韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	章倫切	肫 ㄊㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ 諄 ㄔㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ
24 昌	昌脣切	春 ㄔㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ
25 船	食倫切	脣滯 ㄔㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ
26 書		
27 禪	常倫切	純 ㄔㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ 純 ㄔㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ 醇 ㄔㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ 淳 ㄔㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ 鶻 ㄔㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ 鶴 ㄔㄨㄣˉ → ㄔㄨㄣˉ
28 日		
29 見 B	居筠切	麿 ㄐㄨㄣˉ → ㄐㄨㄣˉ
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A	居勻切	均 ㄐㄨㄣˉ → ㄐㄨㄣˉ 鈞 ㄐㄨㄣˉ → ㄐㄨㄣˉ 龜 ㄐㄨㄣˉ → ㄐㄨㄣˉ
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云	爲贄切	筠 ㄐㄨㄣˉ → ㄐㄨㄣˉ
42 以	羊倫切	勻 ㄩㄣˉ → ㄩㄣˉ 响 ㄩㄣˉ → ㄩㄣˉ

表 197-1	反切	臻攝合口三等 / 上聲準韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B	眉殞切	閔憫敏愍 민→민
5 幫 A	切	溘 민→민 (諡號)
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來		
14 精		
15 清		
16 從		
17 心	思尹切	筍 순→순 隼 준→준 樵? →순
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 197-2	反切	臻攝合口三等 / 上聲準韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之尹切	準准 ㄱ→ㄴ
24 昌	尺尹切	蠡 ㄱ→ㄴ
25 船	食尹切	盾楯 ㄱ→ㄴ 吮 ㄹ→ㄷ (吮也) / ㄹ (嗽也·舐也)
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B	渠殞切	窘 ㄱ→ㄴ 菌 ㄱ→ㄴ
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云	于敏切	隕殞 ㄹ→ㄹ
42 以	余準切	尹允 ㄹ→ㄹ

表 198-1	反 切	臻攝合口三等 / 去聲稇韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄		
12 娘		
13 來		
14 精	子峻切	俊駿峻儁 ㄐㄨㄥˊ→ㄐㄨㄥˊ 騫 ?→ㄐㄨㄥˊ
15 清		
16 從		
17 心	私閏切	濬浚峻 ㄐㄨㄥˊ→ㄐㄨㄥˊ
18 邪	辭閏切	殉徇 ㄐㄨㄥˊ→ㄐㄨㄥˊ
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 198—2	反 切	臻攝合口三等 / 去聲稇韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船	食閏切	順 ㄔ→ㄔ
26 書	舒閏切	舜瞬 ㄔ→ㄔ
27 禪		
28 日	如順切	潤 ㄔ→ㄔ 閏 ㄔ→ㄔ
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以		

表 1 9 9	反 切	臻攝合口三等 / 平聲文韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	府文切	分吩 분→분
2 敷	撫文切	芬紛氛雰 분→분
3 奉	符分切	焚汾焚蚡粉墳墳賁 (大也) 분→분
4 微	無分切	文紋蚊雯聞闐 문→문
5 見	舉云切	君軍鞮 군→군
6 溪		
7 群	渠云切	群裙 군→군
8 疑		
9 曉	許云切	葷熏燠燠薰醺勳勛 훈→훈
10 影	於云切	縕氤 온→온
11 云	王分切	云雲耘芸郢蓁 운→운

表 2 0 0	反 切	臻攝合口三等 / 上聲吻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	方吻切	粉 분→분
2 敷		
3 奉	房吻切	憤忿 분→분
4 微	武粉切	吻 ㅁ→ㅁ 勿 ㅁ→ㅁ
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影		
11 云		

表 20 1	反 切	臻攝合口三等 / 去聲問韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	方問切	糞奮噴 분→분
2 敷		
3 奉	扶問切	分 분→분 份 (‘彬’古字) 빈→빈
4 微	亡運切	紊問 문→문
5 見	居運切	拮 군→군
6 溪		
7 群	渠運切	郡 군→군
8 疑		
9 曉	許運切	訓熏 훈→훈
10 影	於問切	蘊愠 온→온 慰 윤/유→위
11 云	王問切	韻運暈郢 운→운

4の2 臻攝入聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
質 開 3 表 203-1・2	iət	il 筆 p'il 秩質tsil 吉kil iul 栗 riul uul 膝 suul 乙uul	il 筆 p'il 秩質tsil 吉kil iul 栗 riul uul 膝 suul 乙uul
迄 開 3 表 205	iət	uul 訖 kuul 迄huul əl 乞 kəl	uul 訖 kuul 迄huul əl 乞 kəl
沒 合 1 表 206	uət	ol 沒 mol 突 tol 骨kol ul 訥 nul 窟 kul ʌl 勃渤pʌl	ol 沒 mol 突 tol 骨kol ul 訥 nul 窟 kul al 勃渤pal
術 合 3 表 207-1・2	iuət	iul 律riul 出ts'iul 述siul 橘kiul	iul・ul 律riul 出ts'ul 述sul 橘 kiul
物 合 3 表 208	iuət	ul 弗 pul 勿 mul 屈kul uul 不puul 物muul	ul 弗 pul 勿 mul 屈kul 不pul 物mul

臻攝入聲は、沒韻・質韻・迄韻・物韻・術韻からなる。開口3等の質韻はilとよまれるのが基本で、一部がuulとよまれる。なお莊組字は規則的にuulとよまれる。開口3等の迄韻はuulが基本。合口1等の沒韻はolとよまれるのが基本で、一部がulとよまれる。唇音字の「勃・渤」がpʌlとよまれ母音がʌであるのは興味ふかい(中国語にもこれに類する発音があるので、その影響か)。合口3等の術韻はiul、物韻はulとよまれる。ただし物韻唇音字の「不・物」はuulとよまれる。

韓国漢字音における個別的变化としては、tsuul→tsilとなるもの(叱)、kil→hilとなるもの(詰)、kuul→huulとなるもの(訖)、uul→huulとなるもの(屹乞)、tsul→tsolとなるもの(卒)、siul→solとなるもの(率)、iul→hiulとなるもの(躡)、puul→pulとなるもの(不)、muul→mulとなるもの(物)、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表205 開口3等迄韻[訖]は、中古[iət]からの変化音kuul '訖(居乞切、終也)'とhuul '訖(許訖切、至也)'があり、現代漢字音には両音が使われている。

訖息글식…止まる 訖糶글적…粟を貯蔵する(過糶) 訖今홀금…今に至る・今まで

(2) 表205 開口3等迄韻[乞]は、中古[iət]からの変化音kəl '乞(欺訖切、求也・願也)'とki '乞(丘既切、與也)'があるが、現代漢字音にはkəl音のみ使われている。

乞假걸가 乞丐걸개 乞客걸객

(3) 表 206 合口 1 等没韻^卒は、中古 [uət] からの変化音 tsol ‘졸 (臧没切、軍伍・忽遽)’と表 207 合口 3 等術韻^{tsul} ‘졸 (即聿切、終盡・死也)’があるが、現代漢字音には tsol 音のみ使われている。

卒遽졸거 卒更졸경 卒哭졸곡 卒年졸년 卒徒졸도

(4) 表 207-2 合口 3 等術韻^出は、中古 [iuət] > [iuət] からの変化音 ts'iuul ‘출 (尺律切、進也・吐也)’ ts'iu ‘추 (尺類切、自内而外之)’があるが、現代漢字音には ts'iuul 音のみ使われている。

出家출가 出嫁출가 出脚출각 出刊출간 出監출감

(5) 表 208 合口 3 等物韻^不は、中古 [uət] からの変化音 pu ‘부 (俯九切、未定辭)’ pul ‘불 ([正韻] 九鳩切、自内而外之)’があり、現代漢字音に両音とも併用されている。

ただ、中古 puw ‘부’ から pu ‘부’ (‘一’ → ‘ㄸ’) に母音変化したのは、韓国母音規則で、漢字音唇音の場合 ‘一’ から ‘ㄸ’ に変化した結果である。そして漢字音 (平音) ‘ㄷ’ ‘ㅍ’ 前での漢字音 (流音) ‘ㄷ’ は脱落する要因のための両音併用も考えられる。

不安全불안전 不安불안 不信불신 不注意부주의 不等부등 不当부당

(6) 表 208 合口 3 等物韻^勿は、中古 [iuət] > [uət] からの変化音 mul ‘물 (文拂切、毋也・禁言)’ mol ‘몰 ([正韻] 莫勃切、掃塵)’があるが、現代漢字音には mul 音のみ使われている。

勿驚물경 勿拘물구 勿禁물금 勿論물론

4の2 臻攝入聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	入	没	202
開	3	入	質・櫛	203-1・2
開	3	入	櫛	204-1・2
開	3	入	迄	205
合	1	入	没	206
合	3	入	術	207
合	3	入	物	208

表 20 2	反 切	臻攝開口一等 / 入聲沒韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
1 0 精		
1 1 清		
1 2 從		
1 3 心		
1 4 見		
1 5 溪		
1 6 疑		
1 7 曉		
1 8 匣		
1 9 影		

表 203-1	反切	臻攝開口三等 / 入聲質・櫛韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	鄙密切	筆 필→필
2 滂 B		
3 並 B	房密切	弼 필→필
4 明 B	美畢切	密 밀→밀
5 幫 A	卑吉切	畢必 필→필
6 滂 A	譬吉切	匹 필→필
7 並 A		
8 明 A	彌畢切	蜜必謚 밀→밀
9 知	陟栗切	窒搾 질→질 錙 딜→질
10 徹	丑栗切	扶 질→질
11 澄	直一切	秩 질→질 姪帙 딜→질
12 娘	尼質切	暉 닐→닐
13 來	力質切	栗漑慄 룰→룰 璫 →룰
14 精		
15 清	親吉切	七漆 칠→칠
16 從	秦悉切	疾蒺 질→질
17 心	息七切	悉蟋 실→실 膝 슬→슬
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 203-2	反切	臻攝開口三等 / 入聲質・櫛韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之日切	桎蛭 달→질 質鑽磧 질→질 鷺질→즐
24 昌	昌栗切	叱 즐→질
25 船	神質切	實 실→실
26 書	式質切	失室 실→실
27 禪		
28 日	人質切	日 →일 駟 일→일 (駟伝遞馬) / 역 (駱一連屬)
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A	居質切	吉 길→길
34 溪 A	去吉切	詰 길→힐
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B	於筆切	乙 을→을
39 曉 A		
40 影 A	於悉切	一壹 일→일
41 云		
42 以	夷質切	溢鎡逸佚佚佾 일→일 軼 일→질 (過突・侵也) / 질

表 204-1	反 切	臻攝開口三等 / 入聲櫛韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊	阻瑟切	櫛 ㄗ→ㄗ
16 初		
17 崇		
18 生	所櫛切	瑟 ㄗ→ㄗ

表 204-2	反 切	臻攝開口三等 / 入聲櫛韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云		
32 以		

表 205	反 切	臻攝開口三等 / 入聲迄韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	居乞切	訖 글→글 (終也) / 흘 (至也)
6 溪	去訖切	乞걸→걸 (求也) 契걸→글 (國名·一丹)
7 群		
8 疑	魚迄切	屹屹 을→흘
9 曉	許訖切	迄 흘→흘 汔 ? →흘 (幾也)
10 影		
11 云		

表 206	反 切	臻攝合口一等 / 入聲沒韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	蒲沒切	勃渤浹 → 발
4 明	莫勃切	沒歿 물→물 勿 물→물 (掃塵)
5 端		
6 透	他骨切	突 돌→돌
7 定	陀骨切	凸腭揆 돌→돌
8 泥	內骨切	訥 놀→놀
9 來		
10 精	臧沒切	卒 졸(軍伍)→졸
11 淸	倉沒切	猝 졸→졸
12 從	昨沒切	摔 졸→졸
13 心		
14 見	古忽切	骨汨 골→골
15 溪	苦骨切	窟 골→골 矻 골→골
16 疑	五忽切	兀杌扞 울→울
17 曉	呼骨切	忽惚笏 흘→흘
18 匣	戶骨切	核 흘→흘 (果中實) 鶻 골→골
19 影		

表 207-1	反 切	臻攝合口三等 / 入聲術韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A		
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹	丑律切	黜 ㄷ→ㄷ 忱 ㄷ→ㄷ
11 澄	直律切	朮 ㄷ→ㄷ
12 娘		
13 來	呂卹切	律率 ㄹ→ㄹ
14 精	子聿切	卒 ㄷ (終盡) →ㄷ
15 清	倉聿切	竣 ㄷ/ㄷ →ㄷ 駿 ? →ㄷ
16 從		
17 心	辛聿切	戍恤鉞 ㄷ→ㄷ
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生	所律切	帥 ㄷ/ㄷ→ㄷ 率 ㄷ/ㄷ→ㄷ 蟀 ㄷ→ㄷ

表 207-2	反切	臻攝合口三等 / 入聲術韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌	赤律切	出 ^ㄷ → ^ㄷ (進也) / 予 (自內而外之)
25 船	食聿切	穉 ^ㄷ → ^ㄷ 術述 ^ㄷ → ^ㄷ
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A	居聿切	橘 ^ㄷ → ^ㄷ
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	餘聿切	聿喬鳩 ^ㄷ → ^ㄷ 通 ^ㄷ → ^ㄷ 鷓 ^ㄷ → ^ㄷ

表 208	反 切	臻攝合口三等 / 入聲物韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	分弗切	不 불→불/부 弗 紉紉紉芾 불→불
2 敷	敷勿切	拂佛 불→불
3 奉	符勿切	佛 불→불
4 微	文弗切	物 물→물 勿 물→물 (母也)
5 見		
6 溪	區勿切	屈訕 굴→굴
7 群	衢物切	倔堀掘 굴→굴
8 疑		
9 曉		
10 影	紆物切	鬱蔚尉 울→울 熨 울→울
11 云		

5の1 宕攝平上去聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
唐 開 1 表 209	aŋ	aŋ 幫 paŋ 湯 t'aŋ 岡 kaŋ	aŋ 幫 paŋ 湯 t'aŋ 岡 kaŋ
陽 開 3 表 212-1・2	iaŋ	iaŋ 張 tiaŋ 章 tsiaŋ 鄉 hiaŋ aŋ 樞強 kaŋ 央 aŋ 創 ts'aŋ	aŋ・iaŋ 張 ts'aŋ 章 ts'aŋ 鄉 hiaŋ aŋ 樞強 kaŋ 央 aŋ 創 ts'aŋ
唐 合 1 表 215	uaŋ	oaŋ 光 koaŋ 慌 hoaŋ	oaŋ 光 koaŋ 慌 hoaŋ
陽 合 3 表 218-1・2	iuaŋ	aŋ 方 paŋ 忘 maŋ oaŋ 狂 koaŋ 王 oaŋ	aŋ 方 paŋ 忘 maŋ oaŋ 狂 koaŋ 王 oaŋ

宕攝は、唐韻・陽韻からなる。中古漢語の開口韻母はaŋかiaŋ、合口韻母はoaŋ（3等陽韻の唇音字aŋ）とよまれる。開口3等の陽韻字は多数はiaŋであるが、莊組と見組字は規則的にiを落としaŋとなっている。莊組字がiをもたない理由は明確であるが（中古漢語の終わり頃にiを落としていた）、見組字がなぜiを落としてよまれるかは不明。韓国漢字音における個別的变化としては、t'aŋ→taŋとなるもの（鏜）、kaŋ→haŋとなるもの（亢缸、抗炕）、soaŋ→saŋとなるもの（孀）、tsiaŋ→ts'aŋとなるもの（彰）などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について。

(1) 表209開口1等唐韻糖は、中古[aŋ]からの変化音taŋ '당 (徒郎切、飴也・沙一)'のみであるがのちにtaŋ '당'の激音t'aŋ '탕'が加わり 現代漢字音ではtaŋ・t'aŋ両音が併用されている。南廣祐1973では、この「糖」の激音化には祠堂との意味分別または中国音の影響などが考えられると説き、類似の例として「唐」字を挙げ、「唐」の漢字音もその語源意識が薄れたので本来音taŋ '당'から激音化したt'aŋ '탕'音が生じ、國名はtaŋ '당'のほかに、地名の唐括 '탕고'、衣服の唐巾 '탕건'の両音があるとする。

糖分당분 葡萄糖포도당 糖尿病당뇨병 砂糖사탕 雪糖설탕 糖水肉탕수육

(2) 表214-1開口3等漾韻狀は、中古[iaŋ]からの変化音tsaŋ '장 (助亮切、形也・形容之)'と[國音]saŋ '상'がある。河野六郎1968によると、『類合』(1576)には書状としての音'장'状態には俗音としてのsaŋ '상'が使われていたとする。このtsaŋ・saŋ両音は、現代漢字音にも意味区別と合わせて継承されている。

狀啓장계 賞狀상장 紹介狀소개장 狀況상황 狀態상태 狀貌상모

5の1 宕攝平上去聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	平	唐	2 0 9
開	1	上	蕩	2 1 0
開	1	去	宕	2 1 1
開	3	平	陽	2 1 2 - 1・2
開	3	上	養	2 1 3 - 1・2
開	3	去	漾	2 1 4 - 1・2
合	1	平	唐	2 1 5
合	1	上	蕩	2 1 6
合	1	去	宕	2 1 7
合	3	平	陽	2 1 8 - 1・2
合	3	上	養	2 1 9 - 1・2
合	3	去	漾	2 2 0 - 1・2

表 209	反 切	宕攝開口一等 / 平聲唐韻 / 漢字音(李朝→現代)
1 幫	博旁切	幫 방→방
2 滂	普郎切	滂霧雱 방→방
3 並	步光切	旁傍勝彷彿 방→방
4 明	莫郎切	忙芒茫邙 망→망
5 端	都郎切	當璫襠 당→당 鎗 티 →당 (琅-鎖也)
6 透	吐郎切	湯盪 탕→탕 鎗 탕→당
7 定	徒郎切	唐塘塘滄棠堂撞唐突螳 당→당 糖당/땅→당 (飴也) /탕 (沙-)
8 泥	奴當切	囊 낭→낭
9 來	魯當切	郎廊狼稂琅榔瑯琅莨銀螂 랑→랑
10 精	則郎切	臧臧祥 장→장
11 清	七岡切	倉蒼艙倉 창→창
12 從	昨郎切	藏 장→장
13 心	息郎切	桑喪 상→상
14 見	古郎切	岡崗剛綱鋼綱 강→강 亢缸 강→항
15 溪	苦岡切	康糠 강→강
16 疑	五剛切	昂印 양→양
17 曉		
18 匣	胡郎切	行桁航杭沆迳 향→향
19 影		

表 210	反 切	宕攝開口一等 / 上聲蕩韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北朗切	榜榜旁 방→방
2 滂		
3 並		
4 明	模朗切	莽蟒滂 망→망
5 端	多朗切	黨黨 당→당
6 透	他朗切	笱 탕→탕 踢 땅 → 탕 倘躺 탕 → 당
7 定	徒朗切	蕩盪 탕→탕
8 泥	奴朗切	囊 낭→낭
9 來	盧黨切	朗烺 랑→랑
10 精	子朗切	駟 장→장/조
11 淸		
12 從	徂朗切	奘 장→장
13 心	蘇朗切	磔 상→상 操참/조→조 噪 삼/조→조
14 見		
15 溪	苦朗切	慷 강→강
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 211	反 切	宕攝開口一等 / 去聲宕韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	補曠切	謗 방→방
2 滂		
3 並	蒲浪切	傍 방→방
4 明		
5 端	丁浪切	當擋檔 당→당
6 透	他浪切	湯盪 탕→탕
7 定	徒浪切	宕碭砉 탕→탕
8 泥		
9 來	來宕切	浪闐菴 랑→랑
10 精	則浪切	葬 장→장
11 淸		
12 從	徂浪切	藏臧 장→장
13 心	蘇浪切	喪 상→상
14 見	古浪切	鋼 강→강
15 溪	苦浪切	抗炕伉亢闊 강→항
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影	烏浪切	盎 양→양

表 212-1	反 切	宕攝開口三等 / 平聲陽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	陟良切	張 당→장 裨 장→장
6 徹	褚羊切	偃 창→창
7 澄	直良切	長 당→장 萇場 장→장 腸 탕→장
8 娘	女良切	娘 냥→냥
9 來	呂張切	良涼量糧梁梁鯨 량→량 踉 량→양
10 精	卽良切	將漿醬 장→장
11 清	七羊切	槍搶踰 창→창 瑯鏘 장→장
12 從	在良切	牆牆牆戕蕎 장→장
13 心	息良切	相箱廂湘緇 상→상 鑲襄 상→양 驤 양→양
14 邪	似羊切	詳祥翔庠 상→상
15 莊	側羊切	莊裝妝 장→장
16 初	初良切	瘡 창→창
17 崇	士莊切	牀 상→상
18 生	色莊切	霜 상→상 孀 상→상

表 212-2	反 切	宕攝開口三等 / 平聲陽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	諸良切	章樟漳璋臺鄣璋 장→장 彰장→창
20 昌	尺良切	昌倡猖閻鯧莖 창→창
21 船		
22 書	式羊切	商傷殤觴 상→상
23 禪	市羊切	常嘗償裳鱗倘 상→상 嫦 상→향
24 日	汝陽切	攘讓穰讓 양→양 瓢 ㅊ→양
25 見	居良切	疆僵殭薑樞縉姜 강→강
26 溪	去羊切	羌 강→강
27 群	巨良切	強 강→강
28 疑		
29 曉	許良切	香鄉 향→향
30 影	於良切	央秧殃泐鞅鴛 양→양
31 云		
32 以	與章切	羊洋烺佯易陽楊揚瘍煬暘錫 양→양

表 213-1	反 切	宕攝開口三等 / 上聲養韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	知丈切	張 탕→장 漲 탕→창
6 徹	丑兩切	𤛵 창→창 銀 창→창
7 澄	直兩切	丈杖 당→장 仗 장→장
8 娘		
9 來	良 切	兩兩魴 량→량
10 精	即良切	𤛵蔣漿 장→장
11 清	七兩切	搶 창→창
12 從		
13 心	息兩切	想養 상→상
14 邪	徐兩切	像象橡 상→상
15 莊		
16 初	初兩切	闖 침/친 →창 (跳入) / 틈 (窺覷) 搶 창→창
17 崇		
18 生	疎兩切	爽 상→상

表 213—2	反 切	宕攝開口三等 / 上聲養韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	諸兩切	掌 장 →장
20 昌	昌兩切	敞廠斃 창 →창
21 船		
22 書	書兩切	賞餉 상 →상
23 禪	時掌切	上 상 →상
24 日	如兩切	壤攘嚷 ㅈ →양
25 見	居兩切	襁纒 강 →강
26 溪		
27 群	其兩切	疆強 강 →강 勇 양 →강 (迫也)
28 疑	魚兩切	仰 양 →양
29 曉	許兩切	享響響 향 →향
30 影	於兩切	鞅 양 →양
31 云		
32 以	餘兩切	養癢 양 →양

表 214-1	反切	宕攝開口三等 / 去聲漾韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	知亮切	帳 당→장 張 당/장→장 脹漲 당→창
6 徹	丑亮切	暢悵輶鬯 탕→창
7 澄	直亮切	仗長 장→장
8 娘	女亮切	釀 양→양
9 來	力讓切	亮涼諒輻量悵 량→량
10 精	子亮切	醬將 장→장
11 清	七亮切	蹕 장→장
12 從	疾亮切	匠 장→장
13 心	息亮切	相 상→상
14 邪		
15 莊	側亮切	壯 장→장
16 初	初良切	創愴 창→창
17 崇	鋤亮切	狀 장→장 (形也) / 상 [国音]
18 生		

表 214—2	反 切	宕攝開口三等 / 去聲漾韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之亮切	障瘴嶂 장→장
20 昌	尺亮切	唱倡 창→창
21 船		
22 書	式亮切	餉 상→향
23 禪	時亮切	尚上 상→상
24 日	人樣切	讓 ㅈ→양
25 見		
26 溪		
27 群	其亮切	諒 ?→경
28 疑		
29 曉	許亮切	向 상→향 暈 향→향
30 影	於亮切	怏鞅 양→양
31 云		
32 以	餘亮切	恙樣漾 양→양

表 215	反 切	宕攝合口一等 / 平聲唐韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古黃切	光洸胱 광→광 慌 황→황
15 溪		
16 疑		
17 曉	呼光切	荒盲慌 황→황
18 匣	胡光切	黃簧璜潢潢皇蝗煌隍惶遑風惶篁滄徨 황→황
19 影	烏光切	汪 왕→왕

表 216	反 切	宕攝合口一等 / 上聲蕩韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古晃切	廣 광→광 廊 황→광 (姓也)
15 溪		
16 疑		
17 曉	呼晃切	謊 황→황
18 匣	胡廣切	晃 황→황
19 影		

表 217	反 切	宕攝合口一等 / 去聲宕韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古曠切	桃光 광→광
15 溪	苦謗切	曠壙續 광→광
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 218-1	反 切	宕攝合口三等 / 平聲陽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	府良切	方坊枋肪 방→방
2 滂	敷方切	妨芳 방→방
3 並	符方切	防房魴肪 방→방
4 明	武方切	亡忘芒鎡礎 망→망
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 218—2	反 切	宕攝合口三等 / 平聲陽韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪	去王切	匡筐劬恇迂睡誑 광→광 框 ?→광
27 群	巨王切	狂誑 광→광
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云	雨方切	王 왕→왕
32 以		

表 219-1	反切	宕攝合口三等 / 上聲養韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	分网切	倣昉 방→방
2 滂	妃兩切	紡仿彷彿 방→방
3 並		
4 明	文兩切	罔網惛輞魍 망→망
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 219—2	反 切	宕攝合口三等 / 上聲養韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影	紆往切	枉 왕→왕
31 云	于兩切	往 왕→왕
32 以		

表 220-1	反 切	宕攝合口三等 / 去聲漾韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	甫妄切	舫放 방→방
2 滂	敷亮切	訪 방→방
3 並		
4 明	巫放切	妄忘望墜 망→망
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 220—2	反 切	宕攝合口三等 / 去聲漾韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見	居況切	迂 광/광/왕 →왕
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉	許訪切	況 황→황
30 影		
31 云	于放切	旺 왕→왕
32 以		

5の2 宕攝入聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
鐸 開1 表 221	ak	ak 博pak 作tsak 各kak 惡 ak	ak 博pak 作tsak 各kak 惡ak
葉 開3 表 222-1・2	iak	iak 着ts'iak 酌tsiak 略riak ak 脚kak 虐hak	ak・iak 着ts'ak 酌tsak 略riak ak 脚kak 虐hak
鐸 合1 表 223	uak	oak 郭koak 穫hoak	oak 郭koak 穫hoak
葉 合3 表 224-1・2	iuak	ak 縛pak oak 鑿hoak 攫koak	ak 縛pak oak 鑿koak 攫hoak

宕攝入聲は、鐸韻・葉韻からなる。中古漢語の開口韻母はakかiak、合口韻母はoak（3等葉韻の唇音字ak）とよまれる。開口3等の葉韻字は多数はiakであるが、見組字は規則的にiを落としakとなっているのは陽韻の場合と同様の現象。韓国漢字音における個別的变化としては、sak→sekとなるもの（索）、hoak→koakとなるもの（鑿）、koak→hoakとなるもの（攫）、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について

(1) 表 2 2 1 開口 1 等鐸韻[鑿]は、中古 [ak] からの変化音 ‘작 (疾各切、穿也)’、表 8 0 開口 1 等號韻では、中古 [au] からの変化音 ‘조 (在到切、穿空)’があり、現代漢字音に両音とも併用されている。

鑿空작공 鑿掘작굴 鑿落작락 鑿岩機작암기 鑿鑿작작 鑿柄조에

(2) 表 2 2 1 開口 1 等鐸韻[索]は、中古 [ak] からの変化音 ‘삭 (昔各切、繩也)’、表 2 6 9 開口 2 等陌韻は中古 [ɛk] > [æk] からの変化音 ‘색 (色窄切、求也・搜也)’があり、現代漢字音に両音とも併用される。

索然삭연 索索삭삭 索引색인 索出색출 搜索수색 模索모색

(3) 表 2 2 1 開口 1 等鐸韻[惡]は、中古 [ak] からの変化音 ‘악 (遏鄂切、醜陋)’、表 2 0 合口 1 等暮韻では中古 [o] からの変化音 ‘오 (烏故切、憎也・恥也)’があり、現代漢字音に意味区別で両音が併用される。

善惡선악 罪惡죄악 惡性악성 惡寒오한 嫌惡혐오 愛惡애오

(4) 表 2 2 1—1 開口 3 等葉韻[著]は、中古 [iak] からの変化音 ‘작 (直略切、附也・黏也)’、表 2 3—1 合口 3 等御韻では中古 [io] からの変化音 ‘저 (陟慮切、明也・章也)’があり、現代漢字音にも意味区別で両音が併用される。

著工작공 著想작상 著急작급 著書저서 著名저명 著述저술

5の2 宕攝入聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	入	鐸	2 2 1
開	3	入	藥	2 2 2-1・2
合	1	入	鐸	2 2 3
合	3	入	藥	2 2 4-1・2

表 221	反 切	宕攝開口一等 / 入聲鐸韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	補各切	博搏 박→박
2 滂	匹各切	粕泊 박→박
3 並	傍各切	薄泊箔 박→박
4 明	慕各切	摸膜莫寞漠幕 막→막
5 端		
6 透	他各切	託托佗柝橐拓籜籜 탁→탁
7 定	徒落切	鐸 탁→탁 度탁→탁 (謀也·忖也)
8 泥	奴各切	諾 낙→낙
9 來	盧各切	落洛駱絡烙酪樂 락→락
1 0 精	則落切	作 작→작
1 1 清	倉各切	錯 착→착
1 2 從	在各切	昨柞酢作 작→작 鑿착→착
1 3 心	蘇各切	索 삭→삭 (繩也)
1 4 見	古落切	閣各絡 각→각 擱 거/거 →각 (置也)
1 5 溪		
1 6 疑	五各切	愕鄂顎萼鴉噩악 악→악
1 7 曉	呵各切	郝 학→학
1 8 匣	下各切	貉涸鶴 학→학
1 9 影	烏各切	惡 악→악 (不善·不良)

表 222-1	反 切	宕攝開口三等 / 入聲藥韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知	張略切	着 작→작 著 탁→작
6 徹		
7 澄	直略切	着 작→작 著 탁→작
8 娘		
9 來	離灼切	略 락→락 掠 락→락
10 精	卽略切	爵雀 작→작
11 清	七雀切	鵲 작→작
12 從	在爵切	嚼燭 작→작
13 心	息約切	削 삭→삭
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 222—2	反 切	宕攝開口三等 / 入聲藥韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之若切	酌灼斫焯 작→작
20 昌	昌約切	綽 작→작
21 船		
22 書	書藥切	爍鑠 삭→삭
23 禪	市若切	勺芍 삭→작
24 日	而約切	若弱箬 ㄴ→약
25 見	居勺切	脚 각→각
26 溪	去約切	卻 각→각
27 群		
28 疑	魚約切	虐瘡 학→학
29 曉	虛約切	謔 학→학
30 影	於略切	約 약→약
31 云		
32 以	以灼切	躍籥淪鑰菓鑰 약 →약 櫟 리 →력 (撥權樹・青杠樹)

表 223	反 切	宕攝合口一等 /入聲鐸韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古博切	郭惇 곱→곶
15 溪	苦郭切	廓鞞 곱→곶
16 疑		
17 曉	虛郭切	藺霍藿 학→학
18 匣	胡郭切	穫鑊 학→학
19 影		

表 224-1	反 切	宕攝合口三等 / 入聲藥韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂	符鏤切	縛 박→박
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 224—2	反 切	宕攝合口三等 / 入聲藥韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見	居縛切	鑿 _학 → _각 攫 _覺 _각 → _학
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影	憂縛切	獲 _학 _학 → _학
31 云	王縛切	龔 _약 _약 → _학
32 以		

6の1 江攝平上去聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
江 開 2 表 225	auŋ	aŋ 邦 paŋ 窗 ts'aŋ 江 kaŋ	aŋ 邦 paŋ 窗 ts'aŋ 江 kaŋ

江攝は江韻だけからなる。2等江韻は韓国漢字音でaŋとよまれ、宕攝字と変わらない。中古漢語後期には江攝は宕攝に合流し区別がなくなっていたので、韓国漢字音はその状況を反映していると考えられる。韓国漢字音における個別的变化としては、tsoaŋ→tsaŋとなるもの（椿）、soaŋ→ssaŋとなるもの（雙）、p'aŋ→paŋとなるもの（胖）、tsaŋ→taŋとなるもの（撞躑）、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について

(1) 表 2 2 5 開口 2 等江韻椿は、中古 [auŋ] からの变化音 '장 (株江切、杙也)'、表 2 8 6—2 合口 3 等鍾韻では中古 [ioŋ] からの变化音 '용 ([唐韻古音]、書容也)' があるが、現代漢字音には江韻の音 '장' 音のみが使われている。椿手장수

(2) 表 2 2 5 開口 2 等江韻雙は、中古 [auŋ] からの变化音 '쌍 (疎江切、鳥二枚・偶也)' が現代漢字音に継承されている。雙駕馬쌍가마 雙童쌍동 (이) 雙方쌍방
李家源編 2000『漢韓大辭典』には、現代音 '쌍' の横に“原音「상」”と添えてある。李潤東 1997『韓國漢字音의理解』には、「雙」字が、初朴通事上・訓蒙下・重朴解中に '상'、類合・宣小と三韻・奎章には '상'、倭解下で '쌍' が見られるのを例に挙げ、「雙」字には「상>상>쌍」という硬音化過程があったとされる。

(3) 表 2 2 5 開口 2 等江韻瀧は、中古 [auŋ] からの变化音 '랑 (閩江切、昭州水名)'、'상 (疎江切、奔湍)'、表 2 7 8 合口 1 等東韻では中古 [uŋ] からの变化音 '룽 (盧東切、沾漬・細雨貌)' があり、現代漢字音には通攝東韻 '룽' 音のみ使われている。

瀧瀧농룽…雨の降る模様 瀧水농수…廣東省鬱林縣の江名

6の1 江攝平上去聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	2	平	江	2 2 5
開	2	上	講	2 2 6
開	2	去	絳	2 2 7

表 225	反 切	江攝 開口 2 等 / 平聲江韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博江切	邦 방→방
2 滂	匹江切	降 방→방
3 並	薄江切	龐 방→방
4 明	莫江切	尙庌 방→방
5 知	都江切	椿 장→장 (杙也) / 용 (撞也)
6 徹		
7 澄	宅江切	幢 당→당
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初	楚江切	窗 창→창
12 崇		
13 生	所江切	雙 상→쌍 瀧 상→상
14 見	古雙切	扛杠江扛 강→강 肛 향→향
15 溪	苦江切	腔 강→강
16 疑		
17 曉	許江切	夯 번 → 분 (粗笨) / 향 (用力以堅)
18 匣	下江切	降 향→향
19 影		

表 226	反 切	江攝 開口 2 等 / 上聲講韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	步項切	棒 방→봉 蚌 방→방
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘	切	攘 ㄴ→냥
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古項切	港 항→항 講 강→강
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡講切	項 항→항
19 影		

表 227	反 切	江攝 開口 2 等 / 去聲絳韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂	匹絳切	胖 방/광→반
3 並		
4 明		
5 知	陟降切	戇 장→당
6 徹		
7 澄	直絳切	撞 장→당
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生	所江切	雙 상→쌍
14 見	古巷切	虹降 강→강
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡絳切	巷 항→항
19 影		

6の2 江攝入聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
覺 開 2 表 228	auk	ak 剥 pak 濁t'ak 捉ts'ak 覺kak 握ak	ak 剥 pak 濁t'ak 捉ts'ak 覺kak 握ak

江攝入聲は覺韻だけからなる。2等覺韻は韓国漢字音でakとよまれ、宕攝入聲字と変わらない。韓国漢字音における個別的变化としては、ts'ak→t'akとなるもの（濯濯）がある。

6の2 江攝入聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	2	入	覺	228

表 228	反 切	江攝開口二等 / 入聲覺韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北角切	剥駁 박→박
2 滂	匹角切	朴璞撲撲 (相一挨也) 박→박
3 並	蒲角切	雹 박→박
4 明		
5 知	竹角切	卓琢啄 탁→탁
6 徹	救角切	戳 참→착
7 澄	直角切	濁 탁→탁 濯擢 착→탁
8 娘		
9 來		
10 莊	側角切	捉 착→착
11 初	測角切	齧 착→착
12 崇	士角切	錠淀 착→착
13 生	所角切	朔槩數 (頻屢・疾也) 삭→삭 蒴 삽→삭
14 見	古岳切	角桷珏催覺 (一得) 각→각
15 溪	苦角切	殼 각→각 確 학→학
16 疑	五角切	嶽岳樂 악→악
17 曉		
18 匣	胡覺切	學 학→학
19 影	於角切	握渥幄齧 악→악

7の1 曾攝平上去聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
登 開 1 表 229	əŋ	우ŋ 朋 puŋ 登 tuŋ 肯 kuŋ	우ŋ 朋 puŋ 登 tuŋ 肯 kuŋ
蒸 開 3 表 232-1・2	ieŋ	이ŋ 冰 piŋ 徵 tiŋ 称 ts'ieŋ 우ŋ 橙 tuŋ 蒸 tsuŋ 興 huŋ	이ŋ 冰 piŋ 徵 tsieŋ 称 ts'ieŋ 우ŋ 橙 tuŋ 蒸 tsuŋ 興 huŋ
登 合 1 表 235	uəŋ	oiŋ 弘 hoieŋ 肱 koieŋ 우ŋ 薨 huŋ	oŋ・əŋ 弘 hoŋ 肱 kəŋ 우ŋ 薨 huŋ

曾攝は、登韻・蒸韻からなる。開口1等の登韻は우ŋが基本。3等蒸韻は우ŋと 이ŋの両方のよみ方があるが、前者のよみ方が圧倒的。しかしなぜそうなっているかは不明。合口1等登韻はoiŋ (→əŋ) とよまれるのは特徴的で、母音が*oi*という二重母音の形であるのは梗撮合口2等のよみ方と共通している。韓国漢字音における個別的变化としては、puŋ→puŋとなるもの(崩朋鵬)、tuŋ→toŋとなるもの(疼)、ts'uŋ→tsuŋとなるもの(曾)、hoieŋ→hoŋとなるもの(弘)、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について

(1) 表 2 3 2 - 1 開口 3 等蒸韻馮は、中古 [iəŋ] > [iəŋ] からの变化音‘빙(皮冰切、乘也)’、表 2 8 4 - 1 合口 3 等東韻では、中古 [iuŋ] [uŋ] からの变化音‘풍(符風切、官名一相・姓也)’があり、現代漢字音に両音が併用されている。

馮氣빙기 馮怒빙노 馮陵빙릉 馮虛빙허 馮夷풍이…水の神・河伯/雨師の名

(2) 表 2 3 2 - 1 開口 3 等蒸韻徵は、中古 [iəŋ] > [iəŋ] からの变化音‘징(知陵切、召也・驗也)’、表 6 4 - 1 開口 3 等志韻では、中古 [ie] > [i] からの变化音‘치(展里切、五音之一)’があるが、現代漢字音には‘징’音のみ使われている。

徵求징구 徵兵징병 徵用징용 徵召징소 徵役징역 徵兆징조

(3) 表 2 3 2 - 2 開口 3 等蒸韻矜は、中古 [iəŋ] > [iəŋ] からの变化音‘궁(居陵切、戟鋌把)’、表 1 5 8 合口 2 等刪韻では、中古 [uæn] > [uan] からの变化音‘환(姑頑切、老無妻)’、表 1 8 5 - 2 開口 3 等眞・臻韻では、中古 [iəŋ] > [iəŋ] からの变化音‘근(渠巾切、矛柄)’があるが、現代漢字音には‘궁’音のみ使われている。

矜誇궁과 矜驕궁교 矜矜궁궁 矜隣궁린 矜伐궁벌 矜恕궁서

7の1 曾攝平上去聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	平	登	2 2 9
開	1	上	等	2 3 0
開	1	去	嶝	2 3 1
開	1	平	蒸	2 3 2 - 1・2
開	3	上	拯	2 3 3 - 1・2
開	3	去	證	2 3 4 - 1・2
合	1	平	登	2 3 5

表 229	反 切	曾攝開口一等 / 平聲登韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北藤切	崩 붕→붕
2 滂		
3 並	步崩切	朋鵬 붕→붕
4 明	武登切	瞢 미→몽(目不明)/ 맹 (悶也・不光明)
5 端	都藤切	登蹬燈 등→등
6 透	他登切	鑿 등→등
7 定	徒登切	滕騰騰藤滕籐 등→등 疼 등→등
8 泥	奴登切	能 능→능
9 來	魯登切	楞 령→릉
10 精	作藤切	增憎會增檜繪罍 증→증
11 清		
12 從	昨稜切	會 증→증 屢 증→증
13 心	蘇增切	僧 승→승
14 見	古恒切	絃 긍→궁
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡登切	恆 항→항 (久也・常也) / 궁 (弦也・徧也)
19 影		

表 230	反 切	曾攝開口一等 / 上聲等韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	多肯切	等戩 등→등
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見		
15 溪	苦等切	肯 긍→궁
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 231	反 切	曾攝開口一等 / 去聲嶝韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都鄧切	凳嶝鐙磴 등→등
6 透		
7 定	徒亘切	鄧 등→등 澄 정/등→징 (水靜而清) / 등 (清醬的簍)
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清	千鄧切	贈 증→증 劊 증→증
12 從	昨亘切	贈 증→증
13 心		
14 見	古鄧切	瓦 궁→궁
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 232-1	反 切	曾攝開口三等 / 平聲蒸韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	筆陵切	冰 빙→빙
2 滂		
3 並	扶冰切	憑馮凭 빙→빙
4 明		
5 知	陟陵切	徵 덩→징 癥 징→징
6 徹		
7 澄	直陵切	澄 등→징 激懲 징→징 橙 등→등
8 娘		
9 來	力膺切	陵凌凌菱綾鯨 령→릉
10 精		
11 清		
12 從	食陵切	繪 증→증
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 232-2	反切	曾攝開口三等 / 平聲蒸韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	煮仍切	烝蒸 증→증
20 昌	處陵切	稱侷 칭→칭 冨 ?→승
21 船	食陵切	乘勝繩澗 승→승
22 書	識蒸切	升昇陞 승→승
23 禪	署陵切	承丞 승→승
24 日	如乘切	仍陞 잉→잉 扔 →잉 (因也)
25 見	居陵切	兢矜 긍→궁
26 溪		
27 群		
28 疑	魚陵切	凝 응→응
29 曉	虛陵切	興 흥→흥
30 影	於陵切	應鷹膺 응→응
31 云		
32 以	余陵切	蠅 승→승

表 233-1	反 切	曾攝開口三等 / 上聲拯韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 233—2	反 切	曾攝開口三等 / 上聲拯韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	(蒸上聲)	拯 증→증
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云		
32 以		

表 234-1	反 切	曾攝開口三等 / 去聲證韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄	丈證切	證 징→증
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 234-2	反 切	曾攝開口三等 / 去聲證韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	諸應切	證 증→증
20 昌	昌孕切	秤稱 칭→칭
21 船	實證切	乘승→승 剩甞→잉 (餘也) 贖 싱→승 (益也·餘也) / 잉 (送也·副也)
22 書	詩證切	勝 승→승 滕 (織機~也) 승→승
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉	許應切	興 흥→흥
30 影	於證切	應 응→응
31 云		
32 以	以證切	媵 잉→잉

表 235	反 切	曾攝合口一等 / 平聲登韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古弘切	肱 핑→굉
15 溪		
16 疑		
17 曉	呼肱切	蕞 흥→홍
18 匣	胡肱切	弘 횡→홍
19 影		

7の2 曾攝入聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
徳 開 1 表 236	ək	ɯk 北 puɯk 墨黙 muɯk 得tuɯk 則tsuɯk 黒huɯk ək 賊 tsək 徳tək ʌk 刻 kʌk	uk 北 puk 墨黙 muk ɯk 得tuɯk 則tsuɯk 黒huɯk ək 賊 tsək 徳tək ak 刻 kak
職 開 3 表 237-1・2	iək	ik 直tik 息sik 職tsik 翼ik ɯk 即 tsuɯk 側ts'ɯk 極kuɯk ʌik 色sʌik	ik 直tsik 息sik 職tsik 翼ik ɯk 即 tsuɯk 側ts'ɯk 極kuɯk ək 色sək
徳 合 1 表 238	uək	uk 國 kuk ok 惑 hok	uk 國 kuk ok 惑 hok
職 合 3 表 239-1・2	iuək	iək 域 iək	iək 域 iək

曾攝入聲は、徳韻・職韻からなる。開口1等の徳韻はɯkが基本で、一部にək・ʌkとよまれるものがあるという状況である。開口3等の職韻はikとɯkの両方のよみ方があるが、莊組・見組字はもっぱら後者のよみ方をもつ。ただし莊組生母字だけはʌik (→ək) とよまれる。韓国漢字音における個別的变化としては、puɯk→pukとなるもの(北)、puɯk→pokとなるもの(葡)、muɯk→mukとなるもの(墨黙)、tsuɯk→ts'ɯk・ts'ikとなるもの(則)、piək→p'iəkとなるもの(逼)、ts'ɯk→ts'ikとなるもの(廁)、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について

(1) 表 237-2 開口3等職韻[亟]は、中古 [iək] > [iək] からの变化音‘亟(訖力切、疾也・急也)’、表 65-2 開口3等志韻では、中古 [iə] > [i] からの变化音‘亟(去吏切・頻數也)’があり、現代漢字音には両音とも併用されている。

亟務亟毋 亟速亟卒 亟心亟心 亟拜亟배 用기용 亟遊기유

7の2 曾攝入聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	1	入	徳	236
開	3	入	職	237-1・2
合	1	入	徳	238
合	3	入	職	239-1・2

表 236	反 切	曾攝開口一等 / 入聲德韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博墨切	北 ㅅ→ㅃ (逆方・北行) / 배 (敗走・背也)
2 滂		
3 並	蒲北切	葡菴 ㅅ→ㅃ
4 明	莫北切	墨默 ㅅ→ㅃ
5 端	多則切	得 ㅌ→ㄷ 德 ㄷ→ㄷ
6 透	他德切	忒慝 ㅌ→ㅊ 忒 ㅌ→ㅊ
7 定	徒得切	特 ㅌ→ㅊ
8 泥		
9 來	盧則切	勒助佻泐 ㄹ→ㄹ
10 精	子德切	則 ㅈ/ㅊ→ㅈ (助辭) / ㅈ (常法)
11 清		
12 從	昨則切	賊 ㅈ→ㅈ
13 心	蘇則切	塞 시→새 (邊界) / ㅈ (填也)
14 見	古得切	
15 溪	苦得切	克 ㅋ→ㅋ 刻 ㅋ→ㄱ
16 疑		
17 曉	呼北切	黑 ㅎ→ㅎ
18 匣	胡得切	劾 히 →해 (用力・功也) / ㅈ (推窮罪人)
19 影		

表 237-1	反 切	曾攝開口三等 / 入聲職韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	彼側切	逼 벽→ㅍ
2 滂		
3 並	符逼切	復 ㅍ/벽→ㅍ (剛傲自用)
4 明		
5 知	竹力切	植 직→ㅈ
6 徹	恥力切	飭敕 직→ㅈ
7 澄	除力切	直 ㅈ→ㅈ 值 ㅈ → ㅈ (遇也·当也·持也)
8 娘	女力切	匿 ㅈ→ㅈ
9 來	林直切	力 ㅈ→ㅈ
10 精	子力切	即 ㅈ→ㅈ 稷 직→ㅈ
11 清		
12 從		
13 心	相即切	息熄媳 직→ㅈ
14 邪		
15 莊	阻力切	仄晷側 ㅈ→ㅈ
16 初	初力切	側測 ㅈ→ㅈ 廁 ㅈ→ㅈ (圉·溷) / ㅈ (側也)
17 崇		
18 生	所力切	齋穡濶色 시→ㅈ

表 237-2	反 切	曾攝開口三等 /入聲職韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之翼切	織職 직→직
20 昌		
21 船	乘力切	食蝕 식→식
22 書	賞職切	飾式軾拭識 (見一、知也) 직→직
23 禪	常職切	植殖埴寔湜 직→직
24 日		
25 見	紀力切	棘亟殫 극→극
26 溪		
27 群	渠力切	極 극→극
28 疑		
29 曉		
30 影	於力切	憶億臆薏抑 억→억
31 云		
32 以	與職切	翼翊翌弋杙 익→익

表 238	反 切	曾攝合口一等 / 入聲德韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古或切	國 ㄱ→국
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡国切	或惑 ㅎ→국
19 影		

表 239-1	反 切	曾攝合口三等 / 入聲職韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 239-2	反 切	曾攝合口三等 / 入聲職韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章		
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云	雨逼切	域 역→역
32 以		

8の1 梗攝平上去聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
庚 開2 表 240	ɐŋ	ɮiŋ 盲 mɮiŋ 生 sɮiŋ 杏 hɮiŋ iəŋ 更 kiəŋ 衡 hiəŋ 影 iəŋ	ɐŋ 盲 meŋ 生 seŋ 杏 heŋ iəŋ 更 kiəŋ 衡 hiəŋ 影 iəŋ
庚 開3 表 246	iəŋ	iəŋ 兵 piəŋ 京 kiəŋ 英 iəŋ	iəŋ 兵 piəŋ 京 kiəŋ 英 iəŋ
青 開4 表 253	ɐŋ	iəŋ 瓶 piəŋ 丁 tiəŋ 青 ts'ɪəŋ 經 kiəŋ 形 hiəŋ	ɐŋ 丁 tsəŋ 青 ts'əŋ iəŋ 瓶 piəŋ 經 kiəŋ 形 hiəŋ
耕 開2 表 243	æŋ	ɮiŋ 萌 mɮiŋ 争 tsɮiŋ 幸 hɮiŋ iəŋ 耕 piəŋ 耕 kiəŋ ɬŋ 棚 pɬŋ 橙 tɬŋ	ɐŋ 萌 meŋ 争 tseŋ 幸 heŋ iəŋ 耕 piəŋ 耕 kiəŋ ɬŋ・ɬŋ 棚 pɬŋ 橙 tɬŋ
清 開3 表 250-1・2	iəŋ	iəŋ 并 piəŋ 貞 tiəŋ 正 tsɪəŋ 令 riəŋ 輕 kiəŋ	ɐŋ 貞 tsəŋ 正 tsəŋ iəŋ 并 piəŋ 令 riəŋ 輕 kiəŋ
庚 合2 表 256	uəŋ	oiŋ 觥 koŋ 横 hoŋ	ɐŋ 觥 kəŋ 横 həŋ
庚 合3 表 260	iuəŋ	iəŋ 榮永 iəŋ 兄 hiəŋ	iəŋ 榮永 iəŋ 兄 hiəŋ
青 合4 表 267	uəŋ	iəŋ 肩 kiəŋ 螢 hiəŋ	iəŋ 肩 kiəŋ 螢 hiəŋ
耕 合2 表 258	uəŋ	oiŋ 轟 hoŋ	ɐŋ 轟 kəŋ
清 合3 表 263-1・2	iuəŋ	iəŋ 傾 kiəŋ 營 iəŋ	iəŋ 傾 kiəŋ 營 iəŋ

梗攝は、庚韻・耕韻・清韻・青韻からなる。開口2等庚韻・耕韻の韓国漢字音のよみ方はɮiŋとiəŋの両方があり、どちらが多いとも言えない状況となっている。このふたつの2等韻は中古漢語から近代漢語に移る時期に複雑な音韻変化をたどったので、韓国漢字音は中国語側のそうした変化状況を反映したのであろう。韓国漢字音のɮiŋはその後aiŋとなり現代ではɐŋとよまれている。開口3等・4等韻は規則的にiəŋとよまれる。合口2等韻はoiŋ（→現代音はɐŋ）とよまれ、合口3等・4等韻はiəŋとよまれる。後者は開口側のよみ方と変わらない。

韓国漢字音における個別的变化としては、kiəŋ→keŋとなるもの（更梗）、kɮiŋ→kiəŋとなるもの（莖）、iəŋ→kiəŋとなるもの（硬）、pɬŋ→pɬŋとなるもの（棚鏹）、koŋ→koŋとなるもの（曠）、hoŋ→kəŋとなるもの（閔翹紘轟）、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について

(1) 表 2 4 0 開口 2 等庚韻^鑑は、中古 [ɛŋ] からの変化音 ‘쟁 (楚耕切、鼎屬有耳)’、表 2 1 1 開口 1 等開口 1 等宕韻では、中古 [ɑŋ] からの変化音 ‘당 (都郎切、琅一鎖也)’があるが、現代漢字音には ‘당’音のみ使われている。

鑑口당구…寺で御飯を炊く大釜 鑑戸당호…宋代の鹽業者 鑑鑑당당

(2) 表 2 4 0 開口 2 等庚韻^桁は、中古 [ɛŋ] からの変化音 ‘형 (何庚切、屋横木)’、表 2 1 1 開口 1 等開口 1 等宕韻では、中古 [ɑŋ] からの変化音 ‘항 (寒剛切、一楊械也)’があるが、韓国現代漢字の中にはこの ‘桁’字は使用されていない。

8 の 1 梗攝平上去聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	2	平	庚	2 4 0
開	2	上	梗	2 4 1
開	2	去	映	2 4 2
開	2	平	耕	2 4 3
開	2	上	耿	2 4 4
開	2	去	諍	2 4 5
開	3	平	庚	2 4 6
開	3	上	梗	2 4 7
開	3	去	映	2 4 8
開	3	平	清	2 4 9-1・2
開	3	上	靜	2 5 0-1・2
開	3	去	勁	2 5 1-1・2
開	4	平	青	2 5 2
開	4	上	迥	2 5 3
開	4	去	徑	2 5 4
合	2	平	庚	2 5 5
合	2	上	梗	2 5 6
合	2	去	映	2 5 7
合	2	平	耕	2 5 8
合	2	去	諍	2 5 9

合	3	平	庚	2 6 0
合	3	上	梗	2 6 1
合	3	去	映	2 6 2
合	3	平	清	2 6 3 - 1 · 2
合	3	上	靜	2 6 4 - 1 · 2
合	3	去	勁	2 6 5 - 1 · 2
合	4	平	青	2 6 6
合	4	上	迴	2 6 7
合	4	去	徑	2 6 8

表 240	反 切	梗攝 開口二等 / 平聲庚韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	甫盲切	祊 피 → 팽
2 滂	撫庚切	烹澎 피 → 팽
3 並	薄庚切	彭澎 피 → 팽 膨 뽕 → 팽 (脹貌)
4 明	武庚切	盲虻 ㅁ → 멍
5 知		
6 徹	丑庚切	撐 티 → 탕 瞳 지 → 쟁 (直視) / 당
7 澄	直庚切	棖지/쨍 → 쟁 (楔也) 澄 쨍/등 → 쟁 (水靜而淸) / 등 (沈也)
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初	楚庚切	鑄 칭/당 → 쟁 (鼎屬有耳) / 당 (鐵鎖)
12 崇		
13 生	所庚切	生牲笙甥 시 → 생
14 見	古行切	更경→갱 (再也) / 경 (改也) 庚경→경 粳경→갱 羹기→갱
15 溪	客庚切	坑阮 기→갱
16 疑		
17 曉	許庚切	亨 흥 → 형 亨 亨 흥 → 형
18 匣	戶庚切	衡衡 형→형 珩行히→행 桁 히→항 (一楊機也·浮橋) / 형 (屋橫木·葬具)
19 影		

表 241	反 切	梗攝 開口二等 / 上聲梗韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明	莫杏切	猛魴 미→맹
5 知		
6 徹		
7 澄	徒杏切	打 다/딩/타 →타 (擊也)
8 娘		
9 來	魯打切	冷 리→랭
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生	所景切	眚 시→생 (目病生翳) 省 시→생 (簡少·畜也)
14 見	古杏切	哽埂梗綆鯁鯁 경→경
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	何梗切	杏荅荅 히→행
19 影	於丙切	影 영→영

表 242	反 切	梗攝 開口二等 / 去聲映韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北孟切	榜 병→방 (揭示) / 병
2 滂		
3 並		
4 明	莫更切	孟 미→맹 (長也·始也) / 망 (一浪不精要貌)
5 知	猪孟切	幘 지→정
6 徹	他孟切	掌 경→당 (支柱)
7 澄	除更切	鋳 덩→정
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古孟切	更 기→경 (易也) / 갱 (改也)
15 溪		
16 疑	五爭切	硬 영/잉 →경 (堅牢·強也)
17 曉		
18 匣	下更切	行 히→항 (列也) / 행 (步也)
19 影		

表 243	反 切	梗攝 開口二等 / 平聲耕韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	布耕切	絳 병 →병 浜 빙→병
2 滂	普耕切	忸碎 피 →팽 忸攄 평 →평
3 並	薄萌切	棚 붕 →붕
4 明	莫耕切	薨萌氓 미 →맹
5 知		
6 徹		
7 澄	宅耕切	橙 등 →증 (橘屬) / 등 (凳)
8 娘		
9 來		
10 莊	側莖切	争箏 지 →쟁
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古莖切	耕 경→경
15 溪	口莖切	鏗經 기 →깡 桴 기 →경
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶耕切	莖 기 →경
19 影	烏莖切	鶯鷲嚶櫻罍瑯鸚 이 →앵

表 244	反 切	梗攝 開口二等 / 上聲耿韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	切	絝 병→명
2 滂		
3 並	蒲幸切	蚌 ㅁ →방 (石次玉)
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古幸切	耿 경→경
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡耿切	幸倅 히 →행
19 影		

表 245	反 切	梗攝 開口 2 等 / 去聲諍韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北靜切	迸 迸 → 병 繡 繡 → 붕
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	側迸切	諍 諍 → 쟁
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑	五靜切	硬 硬 → 경
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 246	反 切	梗攝開口三等 / 平聲庚韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	甫明切	兵 병→병
2 敷		
3 奉	符兵切	平坪評枰 평→평
4 微	武兵切	盟 미 →맹 明鳴 명→명
5 見	舉卿切	京驚 경→경 荊 형→형
6 溪	去京切	卿 경→경
7 群	渠京切	鯨擎檠黥勍 경→경
8 疑	語京切	迎 영→영
9 曉		
10 影	於驚切	英霽瑛 영→영 娛 잉→ 영
11 云		

表 247	反 切	梗攝開口三等 / 上聲梗韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	兵永切	秉丙炳邴晒柄 병→병
2 敷		
3 奉		
4 微	武永切	皿 명→명
5 見	居影切	景警儆境 경→경
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影	於丙切	影 영→영
11 云		

表 248	反 切	梗攝開口三等 / 去聲映韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	陂病切	柄 병→병
2 敷		
3 奉	皮命切	病 병→병
4 微	眉病切	命 명→명
5 見	居慶切	敬竟鏡獍 경→경
6 溪	丘敬切	慶 경→경
7 群	渠敬切	競倥 경→경
8 疑	魚敬切	迎 영→영
9 曉		
10 影	於敬切	映 영→영
11 云		

表 249-1	反切	梗攝開口三等 / 平聲清韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A	府盈切	并 명→명
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A	武并切	名泺 명→명
9 知	陟盈切	貞 덩→정 禎禎 정→정
10 徹	丑貞切	檉鯉禎 덩→정 偵정→정
11 澄	直貞切	呈程 덩→정 程醒 정→정
12 娘		
13 來		
14 精	子盈切	精晶旌 정→정 睛菁 청→청
15 清	七情切	清圉 청→청
16 從	疾盈切	情 정→정 晴 청→청
17 心	息營切	駢 성→성
18 邪	徐盈切	錫 당/성/씩 →당 (飴也) /성 (目光凝滯)
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 249-2	反 切	梗攝開口三等 / 平聲清韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	諸盈切	正征鉦 정→정
24 昌		
25 船		
26 書	書盈切	聲 성→성
27 禪	是征切	成城誠盛成郟箴 성→성
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A	去盈切	輕 경→경
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於盈切	嬰櫻纓瓔 영→영
41 云		
42 以	以成切	盈楹羸羸瀛羸 영→영

表 250-1	反 切	梗攝開口三等 / 上聲靜韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A	必郢切	餅屏 병→병
6 滂 A		
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹	丑郢切	逞 정→정 騁 칭→빙
11 澄		
12 娘		
13 來	良郢切	領嶺 령→령
14 精	子郢切	井 정→정
15 清	七靜切	請 칭→칭
16 從	疾郢切	靜靖淨 정→정 靖 칭→칭
17 心	息井切	省 성→성 (視也·察也)
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 250—2	反 切	梗攝開口三等 / 上聲靜韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之郢切	整 정→정
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A	居郢切	頸 경→경
34 溪 A		
35 群 A	巨郢切	瘿 깡→경
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於郢切	瘿 영→영
41 云		
42 以	以整切	郢 잉/영→영 粵 잉/영→영

表 251-1	反 切	梗攝開口三等 / 去聲勁韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B		
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A	昇政切	并併摒 병→병
6 滂 A	匹正切	聘 빙→빙
7 並 A		
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄	直正切	鄭 정→정
12 娘		
13 來	力政切	令 령→령
14 精		
15 清		
16 從	疾政切	淨靚 정→정
17 心	息正切	性姓 성→성
18 邪		
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 251-2	反切	梗攝開口三等 / 去聲勁韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之盛切	正政証 정→정
24 昌		
25 船		
26 書	式正切	聖 성→성
27 禪	承正切	盛 성→성
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A	居正切	勁 경→경
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以		

表 25 2	反 切	梗攝開口四等 / 平聲青韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂	普丁切	傳 빙→빙 妍 ?→평
3 並	薄經切	瓶屏駢泚 병→병 萍 평→평
4 明	莫經切	銘冥溟暝莫瞑螟 명→명
5 端	當經切	丁釘叮疔 덩→정 荳 당→정 (補也)
6 透	他丁切	聽廳 텅→청 汀程 덩→정
7 定	特丁切	亭停渟聘廷庭莛婷霆 덩→정
8 泥	奴丁切	寧寧 녕→녕 疇 ?→녕
9 來	郎丁切	靈鄰櫺令鈴伶零齡苓冷玲聆翎矜圉鶻 령→령 捨링 →령
1 0 精		
1 1 清	倉經切	青鯖蜻 청→청
1 2 從		
1 3 心	桑經切	星腥 성→성 猩 싱→성
1 4 見	古靈切	經涇 경→경
1 5 溪		
1 6 疑		
1 7 曉	呼刑切	馨 형→형
1 8 匣	戶經切	形型刑鏗邢硯陁 형→형
1 9 影		

表 253	反 切	梗攝開口四等 / 上聲廻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	蒲廻切	並 병→병
4 明	莫廻切	茗酪 명→명
5 端	都挺切	頂鼎酲 덩→정
6 透	他鼎切	町玼脛頰挺 덩→정
7 定	徒鼎切	錠艇挺挺 덩→정
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心	蘇挺切	醒 성→성
14 見	古挺切	剉 경→경
15 溪	去挺切	警 경→경
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡頂切	倅悻 히→행
19 影		

表 25 4	反 切	梗攝開口四等 / 去聲徑韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明	莫定切	暝 명→명
5 端	丁定切	釘訂訂 덩→정
6 透	他定切	聽 텅→청
7 定	徒徑切	定 덩→정
8 泥	乃定切	寧佞 녕→녕
9 來		
1 0 精		
1 1 清		
1 2 從		
1 3 心		
1 4 見	古定切	徑逕經 경→경
1 5 溪	苦定切	警磬罄 경→경
1 6 疑		
1 7 曉		
1 8 匣	胡定切	脛脛 형→경
1 9 影		

表 255	反 切	梗攝 合口 2 等 / 平聲庚韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古橫切	觥 𠄎→𠄎
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶盲切	橫鬢 𠄎→𠄎
19 影		

表 256	反 切	梗攝 合口 2 等 / 上聲梗韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古猛切	礦 핑→광
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 257	反 切	梗攝 合口 2 等 / 去聲映韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶猛切	橫 횡 → 횡
19 影		

表 258	反 切	梗攝 合口 2 等 / 平聲耕韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉	呼宏切	轟訇 𨛁→𨛇 掬 ?→𨛁 洶 ?→𨛇
18 匣	戶萌切	竝鉉紉 𨛁→𨛇 閔紉翹 𨛁→𨛇
19 影	烏宏切	泓 𨛁→홍

表 259	反 切	梗攝 合口 2 等 / 去聲諍韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 260	反 切	梗攝合口三等 / 平聲庚韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉	許榮切	兄 형→형
10 影		
11 云	永兵切	瑩榮 영→영

表 261	反 切	梗攝合口三等 / 上聲梗韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	俱永切	憬璟冏 경→경
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影		
11 云	于憬切	永 영→영

表 262	反 切	梗攝合口三等 / 去聲映韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非		
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見		
6 溪		
7 群		
8 疑		
9 曉		
10 影		
11 云	為命切	詠泳 영→영

表 263-1	反 切	梗攝合口三等 / 平聲清韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1	幫 B	
2	滂 B	
3	並 B	
4	明 B	
5	幫 A	
6	滂 A	
7	並 A	
8	明 A	
9	知	
10	徹	
11	澄	
12	娘	
13	來	
14	精	
15	清	
16	從	
17	心	
18	邪	
19	莊	
20	初	
21	崇	
22	生	

表 263-2	反 切	梗攝合口三等 / 平聲清韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A	去營切	傾 경 →경
35 群 A	渠營切	瓊瑩惇 경 →경
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	於營切	嫫 이/영 →앵 榮 영 →영
41 云		
42 以	余傾切	營瑩 영 →영 鑿 (飾也) 잉 →형

表 264-1	反 切	梗攝合口三等 / 上聲靜韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1	幫 B	
2	滂 B	
3	並 B	
4	明 B	
5	幫 A	
6	滂 A	
7	並 A	
8	明 A	
9	知	
10	徹	
11	澄	
12	娘	
13	來	
14	精	
15	清	
16	從	
17	心	
18	邪	
19	莊	
20	初	
21	崇	
22	生	

表 264—2	反 切	梗攝合口三等 / 上聲靜韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A	去穎切	頃籛 경→경
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	餘頃切	穎穎 영→영

表 265-1	反 切	梗攝合口三等 / 去聲勁韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1	幫 B	
2	滂 B	
3	並 B	
4	明 B	
5	幫 A	
6	滂 A	
7	並 A	
8	明 A	
9	知	
10	徹	
11	澄	
12	娘	
13	來	
14	精	
15	清	
16	從	
17	心	
18	邪	
19	莊	
20	初	
21	崇	
22	生	

表 265—2	反 切	梗攝合口三等 / 去聲勁韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A	休正切	復訶 형→형
40 影 A		
41 云		
42 以		

表 266	反 切	梗攝合口四等 / 平聲青韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古螢切	衕肩駟 경→경
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶肩切	榮螢熒 형→형
19 影		

表 267	反 切	梗攝合口四等 / 上聲廻韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古廻切	炯 형→형 穎 영→영 炘 경→경
15 溪	口廻切	褻 綱 경→경
16 疑		
17 曉		
18 匣	戶頂切	洞廻 형→형
19 影		

表 268	反 切	梗攝合口四等 / 去聲徑韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影	烏定切	澄 형→형

8の2 梗攝入聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
陌 開2 表 269	ɐk	ɿik 百 pɿik 宅 t'ɿik 客 kɿik iək 格 kiək 嚇 hiək	ɛk 百 pɛk 宅 t'ɛk 客 kɛk iək 格 kiək 嚇 hiək
陌 開3 表 271	iək	iək 逆 iək 碧 piək uɿk 劇 kuɿk	iək 逆 iək 碧 piək uɿk 劇 kuɿk
錫 開4 表 273	ɛŋ	iək 壁 piək 的 tiək 績 tsiək 擊 kiək ik 溺 nik 喫 kik	iək 壁 piək 的 tiək 績 tsiək 擊 kiək ik 溺 nik 喫 kik
麦 開2 表 270	æk	ɿik 麦 mɿik 責 ts'ɿik 厄 ɿik iək 擘 piək 隔 kiək 革 hiək	ɛk 麦 mɛk 責 ts'ɛk 厄 ɛk iək 擘 piək 隔 kiək 革 hiək
昔 開3 表 272-1・2	iæk	iək 癖 piək 昔石 siək 易 iək	iək・ək 癖 piək 昔石 sək 易 iək
陌 合2 表 275	uək	oik 號 koik	øk 號 kɔk
錫 合4 表 277	uək	iək 闕 kiək	iək 闕 kiək
麦 合2 表 275	uæk	oik 馘 koik 劃獲 hoik	øk 馘 kɔk 劃獲 hɔk
昔 合3 表 276-1・2	iuæk	iək 疫役 iək	iək 疫役 iək

梗攝入聲は、陌韻・麦韻・昔韻・錫韻からなる。開口2等陌韻・麦韻の韓国漢字音のよみ方はɿikとiəkの両方があり、前者のほうがやや優勢かと思われる。韓国漢字音のɿikはその後aikとなり現代ではɛkとよまれている。開口3等・4等韻はほとんどがiəkとよまれるが、一部にuɿk・ikとよまれるものがある。合口2等韻はoik（→現代音はøk）とよまれ、合口3等・4等韻はiəkとよまれる。後者は開口側のよみ方と変わらない。韓国漢字音における個別的変化としては、hiək→kiəkとなるもの（檄覘）、koik→kykとなるもの（輜擗）、などがある。

中古漢語における多音字の韓国漢字音について

(1) 表 2 6 9 開口 2 等陌韻宅は、中古 [ɐk] > [æk] からの変化音 ‘택 (直格切、所托居処・居也) と택 [国字・家也]’ があり、現代漢字音には両音が意味区別で併用されている。

- ① 宅택は、官職名及び他人家の敬称…「판사택 : 判事のお宅」、宅配택배など。
- ② 宅택は、他人の出身地名の下に付けて親しみを込める…釜山宅부산택など。

(2) 表 2 7 3 開口 4 等錫韻礫は、中古 [ɛk] > [iek] からの変化音 ‘력 (狼狄切、小石・丹沙)’ があり、現代漢字音では ‘력・릭’ 両音で使用されている。李潤東 1997 は、礫の漢字音が ‘력’ の他に ‘릭’ があるのは、梗攝が曾攝に併合された残留で、中国近代音の影響の新層音とされる。また同じく表 2 7 3 開口 4 等錫韻櫟が詩経と物名 1 1 に ‘릭’ 音で記されてあるので、当時の現実音は礫櫟とも ‘력・릭に併用されたのち、櫟のみ韻書音に沿い ‘력’ 音に帰着したとされる。ただ、韓国現代漢字辞書に<不和・反目・紛争>の意味合いとして、‘礫・櫟’ ではなく ‘輶’ を用いている。輶輶알릭

(3) 表 2 7 3 開口 4 等錫韻楊は、中古 [ɛk] > [iek] からの変化音 ‘체 (他計切、裸也)、’ ‘식 (先的切、袒一露臂・裘单)’ があるが、韓国現代漢字として使用例がない。

楊체…테이·체·むつき 楊식…세이·したて・つくる

(4) 表 2 7 3 開口 4 等錫韻喫は、中古 [ɛk] > [iek] からの変化音 ‘屹 (詰歴切、飲食)、’ があり、現代漢字音に使用されている。喫怯屹겁 喫苦屹고 喫緊屹진

8の2 梗攝入聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
開	2	入	陌	2 6 9
開	2	入	麥	2 7 0
開	3	入	陌	2 7 1
開	3	入	昔	2 7 2-1・2
開	4	入	錫	2 7 3
合	2	入	陌	2 7 4
合	2	入	麥	2 7 5
合	3	入	昔	2 7 6-1・2
合	4	入	錫	2 7 7

表 269	反 切	梗攝 開口 2 等 / 入聲陌韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博陌切	伯迫百柏 비→백
2 滂	普伯切	魄 비 →백 珀拍 비 →박
3 並	傍陌切	帛白 비 →백 舶 비 →박
4 明	莫白切	陌貊 미 →맥 貉 함→학 (山獺) / 락 [國音]
5 知	陟格切	舩磔 치 →착
6 徹	丑格切	折 치/탁 →절
7 澄	場伯切	擇澤 티 →택 宅 티 →택 (所托居處) / 택 (他家尊稱)
8 娘		
9 來		
10 莊	側伯切	噴窄舩笮 치 →착
11 初	測戟切	豆 치 →착
12 崇		
13 生	山戟切	索 시→색 (求也·搜也)
14 見	古伯切	格骼 격→격
15 溪	苦格切	客 기 →객
16 疑	五陌切	額 이 →액
17 曉	呼格切	赫嚇 혁→혁
18 匣		
19 影	伊昔切	隘 (阻塞) 이→액

表 270	反 切	梗攝 開口 2 等 / 入聲 麥韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博厄切	擘藥 벽→벽
2 滂		
3 並		
4 明	莫獲切	脈麥 미→맥
5 知	陟革切	摘 적→적 謫 덕→적
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊	側革切	責簣 치→척 幘 적→척
11 初	楚革切	柵策冊 치→척
12 崇		
13 生		
14 見	古核切	隔隔 격→격 革 혁→혁
15 溪	楷革切	緯 커/각 →격
16 疑		
17 曉		
18 匣	下革切	覈核 (豆實·剋一) 히 →핵
19 影	於革切	厄扼輓 이 →액

表 271	反 切	梗攝開口三等 / 入聲陌韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 非	彼役切	碧 벽→벽
2 敷		
3 奉		
4 微		
5 見	几劇切	戟 극→극
6 溪	綺戟切	隙 극→극
7 群	奇逆切	履劇 극→극
8 疑	宣戟切	逆 역→역
9 曉		
10 影		
11 云		

表 272-1	反切	梗攝開口三等 / 入聲昔韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫 B	彼役切	碧 ㅍ→ㅍ
2 滂 B		
3 並 B		
4 明 B		
5 幫 A	必益切	璧辟襪 ㅍ→ㅍ
6 滂 A	芳辟切	癖僻 ㅍ→ㅍ
7 並 A	房益切	關擗辟 ㅍ→ㅍ
8 明 A		
9 知		
10 徹		
11 澄	直炙切	擲 ㅌ→ㅌ 躑 ㅌ→ㅌ
12 娘		
13 來		
14 精	資昔切	積跡蹟借鯽積 ㅈ→ㅈ 脊鶴 ㅈ→ㅈ
15 清	七迹切	磧 ㅈ→ㅈ 刺ㅈ→ㅈ
16 從	秦昔切	籍藉 ㅈ→ㅈ 瘠 ㅈ→ㅈ
17 心	思積切	惜昔腊 ㅈ→ㅈ
18 邪	祥易切	夕席蓆ㄴ ㅈ (藉也) / ㅈ→ㅈ
19 莊		
20 初		
21 崇		
22 生		

表 272-2	反 切	梗攝開口三等 / 入聲昔韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章	之石切	隻撫跖 척→척 炙 적→적
24 昌	昌石切	尺 척→척 赤 적→적
25 船	食亦切	射 석→석 (指物而取)
26 書	施隻切	適 덕→적 爽螿 석→석
27 禪	常隻切	碩石 석→석
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A	伊昔切	益嗑 익→익
41 云	切	掖液腋 이/이 →액 亦帑 역→역 奕弈 혁→혁
42 以	羊益切	驛繹嶧嶧擇鞞團易射 (厭也) 역→역

表 273	反 切	梗攝開口四等 / 入聲錫韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	北激切	壁 벽→벽
2 滂	普擊切	劈霹 벽→벽
3 並	扶歷切	臂 벽→벽
4 明	莫狄切	覓冪 먹→먹
5 端	都歷切	滴的嫡鐸 덕→적
6 透	他歷切	踢剔 툃→척
7 定	徒歷切	笛迪敵狄荻翟翟覲 덕→적 滌 툃→척
8 泥	奴歷切	溺 닉→닉 怒 녉→녁
9 來	郎擊切	曆歷瀝漑轢鬲癘霹 렉→력 礫礫 렉→륵
10 精	則歷切	績 적→적
11 清	倉歷切	戚 척→척
12 從	前歷切	寂 적→적
13 心	先擊切	析泚皙錫 석→석 惕 툃/석→체 (裯也) / 석 (担—露臂)
14 見	古歷切	激擊 격→격
15 溪	苦擊切	喫 각→각
16 疑	五歷切	鷁 이→익
17 曉		
18 匣		
19 影	胡狄切	檄覲 혁→격 焮 혁→혁

表 274	反 切	梗攝 合口 2 等 / 入聲陌韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古伯切	號 𠵿→𠵿
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 275	反 切	梗攝 合口 2 等 / 入聲 麥韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄		
8 娘		
9 來		
10 莊		
11 初		
12 崇		
13 生		
14 見	古獲切	嚮擱 𠵼→꺠 𠵼 𠵼→꺠
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡麥切	劃獲 𠵼→꺠 晝 晝 →꺠 (分一・界限)
19 影		

表 276-1	反 切	梗攝合口三等 / 入聲昔韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1	幫 B	
2	滂 B	
3	並 B	
4	明 B	
5	幫 A	
6	滂 A	
7	並 A	
8	明 A	
9	知	
10	徹	
11	澄	
12	娘	
13	來	
14	精	
15	清	
16	從	
17	心	
18	邪	
19	莊	
20	初	
21	崇	
22	生	

表 276—2	反 切	梗攝合口三等 / 入聲昔韻 / 漢字音 (李朝→現代)
23 章		
24 昌		
25 船		
26 書		
27 禪		
28 日		
29 見 B		
30 溪 B		
31 群 B		
32 疑 B		
33 見 A		
34 溪 A		
35 群 A		
36 疑 A		
37 曉 B		
38 影 B		
39 曉 A		
40 影 A		
41 云		
42 以	營隻切	疫役 역→역

表 277	反 切	梗攝合口四等 /入聲錫韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古闕切	闕 ㄱ→ㄱ
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

9の1 通攝平上去聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
東 合 1 表 278	uŋ	oŋ 蒙 moŋ 東 toŋ 送 soŋ 工 koŋ	oŋ 蒙 moŋ 東 toŋ 送 soŋ 工 koŋ
東 合 3 表 284-1・2	iuŋ	iuŋ 中 tiuŋ 衆 tsiuŋ 融 iuŋ uŋ 風 p'uŋ 宮 kuŋ 熊 uŋ oŋ 夢 moŋ 鳳 poŋ	uŋ・iuŋ 中 tsuŋ 衆 tsuŋ 融 iuŋ uŋ 風 p'uŋ 宮 kuŋ 熊 uŋ oŋ 夢 moŋ 鳳 poŋ
冬 合 1 表 281	oŋ	oŋ 冬 toŋ 農 noŋ 宋 soŋ	oŋ 冬 toŋ 農 noŋ 宋 soŋ
鍾 合 3 表 286-1・2	ioŋ	ioŋ 寵 t'ioŋ 種 t'ioŋ 用 ioŋ oŋ 封 poŋ 濃 noŋ 恭 koŋ iuŋ 重 tsiuŋ 胸 hiuŋ	oŋ・ioŋ 寵 ts'oŋ 種 tsoŋ 用 ioŋ oŋ 封 poŋ 濃 noŋ 恭 koŋ iuŋ・uŋ 重 tsuŋ 胸 hiuŋ

通攝は、東韻。冬韻・鍾韻からなる。すべて合口韻である。韓国漢字音は、1等の東韻・冬韻の字は同一の母音 o をもち規則的に oŋ とよまれる。しかし3等韻をみると、東韻は iuŋ・uŋ とよむものが優勢で（一部 oŋ がある）、鍾韻は ioŋ・oŋ とよむものが優勢（一部 iuŋ がある）となっている。この母音 u・o の違いは両者の中古漢語の発音の状況をそのまま伝えたものと考えてよい。なお3等韻の場合、韓国漢字音で iuŋ・ioŋ とよまれるもの（i の母音をもつ）と uŋ・oŋ（i の母音をもたない）とよまれるものを比べてみると、後者は唇音字と見組字に見られるよみ方だということが知られる。これもある時期の中国語側の発音状況（これらの声母の後ろで介音 i の発音が弱かった）を伝えるものと考えられる。

韓国漢字音における個別的变化としては、tsoŋ→suŋ となるもの（崇：表 284-1）、sioŋ→ioŋ（春翬：表 286-2）、などがある。

9の1 通攝平上去聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
合	1	平	東	278
合	1	上	董	279
合	1	去	送	280
合	1	平	冬	281
合	1	上	腫	282
合	1	去	宋	283
合	3	平	東	284-1・2
合	3	去	送	285-1・2
合	3	平	鐘	286-1・2
合	3	上	腫	287-1・2
合	3	去	用	288-1・2

表 278	反 切	通攝合口一等 / 平聲東韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	薄紅切	篷蓬 봉→봉
4 明	莫紅切	矇蒙朦曠朦霧 몽→몽 檬 ?→몽
5 端	德紅切	東 동→동
6 透	他紅切	通 통→통 蓮 통→통
7 定	徒紅切	同銅桐童僮潼瞳 동→동 筒 동/통→통 筩 통→통
8 泥		
9 來	盧紅切	籠聾隴隴隴瓏隴 룡→룡
10 精	子紅切	悤鬃駿融縱鬃 종→종 縱 종/종→종
11 清	倉紅切	聰忽葱聰聰鹵 총→총
12 從	徂紅切	叢 총→총
13 心		
14 見	古紅切	公工功攻蚣 공→공
15 溪	苦紅切	空筥 공→공
16 疑		
17 曉	呼東切	烘 흥→흥
18 匣	戶公切	紅洪鴻虹訶葒 흥→흥
19 影	烏紅切	翁翁 응→응 喻 응→응

表 279	反 切	通攝合口一等 / 上聲董韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	蒲蒙切	羣 몽→몽
4 明	莫孔切	蒙懵 몽→몽
5 端	多動切	董懂 동→동
6 透	他孔切	桶 통→통
7 定	徒摠切	動 동→동
8 泥		
9 來	力董切	攏寵 룡→룡 籠 룡 → 룡 (不分明也)
10 精	作孔切	總 총→총
11 清		
12 從		
13 心		
14 見		
15 溪	康董切	孔 공→공
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡孔切	汞瀆 흥→흥
19 影	烏孔切	滃翫 옹→옹

表 280	反 切	通攝合口一等 / 去聲送韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	多貢切	凍棟 동→동
6 透	他貢切	痛 통→통
7 定	徒弄切	洞恫 동→동 胴 똥→동 働 통→통
8 泥	奴凍切	鼻 농→농
9 來	盧貢切	弄 룡→룡
10 精	作弄切	粽 중→중
11 清		
12 從		
13 心	蘇弄切	送 송→송
14 見	古送切	貢 공→공
15 溪	苦貢切	控空 공→공
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡貢切	鬨 흥→흥 蕪 흥→흥
19 影	烏貢切	甕魴 옹→옹

表 281	反 切	通攝合口一等 / 平聲冬韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	都宗切	冬 동→동
6 透		
7 定	徒冬切	彤佟 동→동
8 泥	奴冬切	膿農儂 농→농
9 來		
10 精	作冬切	宗 종→종
11 清		
12 從	藏宗切	琮竇淙淙 종→종
13 心	私宗切	鬆 송→송
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 282	反 切	通攝合口一等 / 上聲腫韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透		
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 283	反 切	通攝合口一等 / 去聲宋韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端		
6 透	他粽切	統 통→통
7 定		
8 泥		
9 來		
10 精	子宋切	綜 종→중 冢 중→중 (牡冢)
11 清		
12 從		
13 心	蘇統切	宋 송→송
14 見		
15 溪		
16 疑		
17 曉		
18 匣		
19 影		

表 284—1	反 切	通攝合口三等 / 平聲東韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方戎切	風楓 풍→풍 瘋 풍/曰→풍 (頭風病)
2 滂	敷空切	豐豐鄴 풍→풍
3 並	房戎切	馮 풍→풍
4 明		
5 知	陟弓切	中 등→중 忠哀 등→중
6 徹	敕中切	仲 중→중
7 澄	直弓切	冲 중→중 蟲种 등→중
8 娘		
9 來	力中切	隆窿癰 룡→룡
10 精		
11 清		
12 從		
13 心	息弓切	嵩崧崧 승→승 娥 승→용
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇	鋤弓切	崇 중→승
18 生		

表 284—2	反 切	通攝合口三等 / 平聲東韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	職戎切	終蠡 宗→중 濼 宗→중
20 昌	昌終切	充 憵→충
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日	如融切	戎狨絨 容→용
25 見	居戎切	弓躬宮 궁→궁
26 溪	去宮切	穹芎 궁→궁
27 群	渠弓切	窮窮 궁→궁
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云	羽弓切	熊雄 容→용
32 以	以戎切	融彤 容→용

表 285—1	反 切	通攝合口三等 / 去聲送韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方鳳切	諷 ㅍ→ㅍ
2 滂	撫鳳切	贈 ㅍ→ㅍ
3 並	馮貢切	鳳 ㅍ→ㅍ
4 明	莫鳳切	夢 ㅁ→ㅁ
5 知	陟仲切	中 ㅈ→ㅈ
6 徹		
7 澄	直衆切	仲 ㄷ→ㄷ
8 娘		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 285—2	反 切	通攝合口三等 / 去聲送韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之仲切	衆 ㄱ→ㄱ
20 昌	充仲切	銃 ㄱ→ㄱ
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見		
26 溪		
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影		
31 云		
32 以		

表 286—1	反 切	通攝合口三等 / 平聲鍾韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	府容切	封葑 봉→봉
2 滂	敷容切	峰蜂鋒烽未 봉→봉
3 並	符容切	逢縫 봉→봉
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄	直容切	重 중→중
8 娘	女容切	濃禮穠醴 농→농
9 來	力鍾切	龍 룡→룡
10 精	即容切	縱踪蹤 종→종 縱 총→종
11 清	七恭切	縱從 총→종 容 용→용
12 從	疾容切	從 종→종
13 心	息恭切	淞 송→송
14 邪	祥容切	松 송→송
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表286-2	反切	通攝合口三等 / 平聲鍾韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	職容切	鐘鍾 鍾→중 盅 罇→중 (器虛)
20 昌	尺容切	衝 衝→충 懂 懂→동
21 船		
22 書	書容切	春春 春→용
23 禪	蜀庸切	慵 慵→용
24 日	而容切	茸 茸→용
25 見	九容切	恭供龔 恭→공
26 溪		
27 群	渠容切	蛩筇邛踴 公→공
28 疑	魚容切	顛 顛→용
29 曉	許容切	凶兇匈洵胸 烹→烹
30 影	於容切	雍壅饗邕離擁癰臃 翁→翁
31 云	餘封切	容溶蓉榕 容→용 熔 (鎔) 容/容→용
32 以	切	庸傭墉鏞 容→용

表 287—1	反 切	通攝合口三等 / 上聲腫韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂	敷奉切	捧 봉→봉
3 並	扶隴切	擘奉 봉→봉
4 明		
5 知	知隴切	冢 총→총 塚 통→총
6 徹	丑隴切	寵 통→총
7 澄	直隴切	重 등→중
8 娘		
9 來	力腫切	隴 룡→룡
10 精		
11 清		
12 從		
13 心	息拱切	悚竦 송→송 懲 종→중 漚 용→용
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 287-2	反 切	通攝合口三等 / 上聲腫韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之隴切	種腫踵 宗→중
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日	而隴切	冗氾 용→용
25 見	居悚切	供鞏珙 공→공
26 溪	丘隴切	恐 공→공
27 群		
28 疑		
29 曉		
30 影	於隴切	擁 용→용
31 云		
32 以	余隴切	甬勇湧俑踊 용→용

表 288—1	反 切	通攝合口三等 / 去聲用韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	扶用切	俸縫 봉→봉
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄	柱用切	重 중→중
8 娘		
9 來		
10 精	子用切	縱 중→중
11 淸		
12 從		
13 心		
14 邪	似用切	誦頌訟 송→송
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 288—2	反 切	通攝合口三等 / 去聲用韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之用切	種 宗→중
20 昌		
21 船		
22 書		
23 禪		
24 日		
25 見	居用切	供 公→공
26 溪		
27 群	渠用切	共 公→공
28 疑		
29 曉		
30 影		雍 翁→옹
31 云		
32 以	余頌切	用 翁→옹 佣 翁→옹

9の2 通攝入聲

韻目・呼・等	中古音	古代韓国漢字音	現代韓国漢字音
屋 合1 表 289	uk	ok 僕 pok 獨 tok 谷 kok 族 tsok 屋 ok	ok 僕 pok 獨 tok 谷 kok 族 tsok 屋 ok
屋 合3 表 191-1・2	iuk	iuk 竹 tiuk 蹴祝 ts'iuk uk 菊 kuk 郁 uk ok 福 pok 目 mok 謾 sok	uk・iuk 竹 tsuk 蹴祝 ts'uk uk 菊 kuk 郁 uk ok 福 pok 目 mok 謾 sok
沃 合1 表 290	ok	ok 毒 tok 鵠 kok 沃 ok	ok 毒 tok 鵠 kok 沃 ok
燭 合3 表 292-1・2	iok	iok 躑燭 ts'iok 俗 siok 欲 iok ok 録 rok 曲 kok 束 sok 玉 ok	ok・iok 躑燭 ts'ok 欲 iok ok 録 rok 曲 kok 玉 ok 俗 sok

通攝入声は、屋韻・沃韻・燭韻からなる。すべて合口韻である。韓国漢字音は、1等の屋韻・沃韻の字は同一の母音 o をもち規則的に ok とよまれる。しかし3等韻をみると、屋韻は iuk・uk とよむものが優勢で（一部 ok がある）、いっぽう燭韻は iok・ok とよまれている。この違いは両者の中古漢語の発音の状況をそのまま伝えたものと考えてよい。なお3等韻の場合、韓国漢字音で iuk・iok とよまれるもの（i の母音をもつ）と uk・ok（i の母音をもたない）とよまれるものを比べてみると、後者は唇音字と見組字に多く見られるよみ方だということがわかる。韓国漢字音における個別的变化としては、pok→pu となるもの（仆）、kok→hok となるもの（酷）、などがある。

① 表 291-2 合口3等屋韻 肉 ㄹ / ㄹ → ㄹ

② 表 292-2 合口3等燭韻 辱褥 ㄹ / ㄹ → ㄹ

通攝入声において漢字音初声に‘△・○’の二重表記の混乱が見られる。

南広祐 1973 は、これら‘△・○’という二つの初声は 15C 文献では‘△’を維持した後 15C～16C 初文献に混乱が見られるのは、<ニ・兒・耳>の日字母‘△’音の觀念から抜けられない漢学者の所産物に過ぎないと論じて、孝経諺理解宣祖版の例を挙げている。

63 年に日本で影印され朝鮮学報 27 輯に載せられているこの書籍に人‘ㄹ’表記、ハンダ表記人‘인’であるのはこの‘인’が正音・現実音であることを意味する。

崔義秀 1996 は、韓国現代漢字音には有声音‘△(Z)’は存在しないが、中世漢字音には有声音‘△(Z)’があったので当時の漢字音に表記されていた以下の例字を挙げている。

第7章 漢語の「日母」が「ㄷ」になった例字
耳、乳、児、染、仁、汝、任、二、弱…

第8章 漢語の「喻母」が「ㄷ」になった例字
興、翌、右、易、鋭…

第9章 漢語の「書母」が「ㄷ」になった例字
春、弛

第10章 漢語の「禪母」が「ㄷ」になった例字
鱸、慵

崔義秀 1996 『朝鮮漢字音研究』(朝鮮文) P 116 より

9の2 通攝入聲

開合	等	聲調	韻目	表番号
合	1	入	屋	289
合	1	入	沃	290
合	3	入	屋	291-1・2
合	3	入	燭	292-1・2

表 289	反 切	通攝合口一等 / 入聲屋韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	博木切	卜濮 ㅍ→ㅍ
2 滂	普木切	醜 ㅍ→ㅍ 仆 ㅍ→부 撲 ㅍ/ㅍ→ 박 (小擊)
3 並	蒲木切	僕 ㅍ→ㅍ 瀑曝 ㅍ→ㅍ
4 明	莫卜切	木沐 ㅍ→ㅍ
5 端		
6 透	他谷切	禿 ㅌ→ㅌ
7 定	徒谷切	獨牘擯瀆擯讀 (誦書·樂名) ㅌ→ㅌ
8 泥		
9 來	盧谷切	祿碌瑯鹿漉麓籠輻 ㄴ→ㄴ
1 0 精	昨木切	鏃 ㅈ→ㅈ
1 1 清	千木切	簇 ㅈ→ㅈ (小竹) 族 ㅈ (律名) / ㄱ (聚也) →ㅈ
1 2 從	昨木切	族 ㅈ→ㅈ
1 3 心	桑谷切	速 ㅈ→ㅈ
1 4 見	古祿切	谷 ㅊ→ㅊ
1 5 溪	空谷切	哭 ㅊ→ㅊ
1 6 疑		
1 7 曉		
1 8 匣	胡谷切	斛穀黻 ㅊ→ㅊ 榭 ㅎ→ㅊ
1 9 影	烏谷切	屋 ㅎ→ㅎ

表 290	反 切	通攝合口一等 / 入聲沃韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並		
4 明		
5 端	冬毒切	督篤 ㄊㄨㄛˊ→ㄊㄨㄛˊ
6 透		
7 定	徒沃切	毒 ㄊㄨㄛˊ→ㄊㄨㄛˊ
8 泥		
9 來		
10 精		
11 清		
12 從		
13 心		
14 見	古沃切	鵠楷楷告 ㄍㄨㄛˊ→ㄍㄨㄛˊ
15 溪	苦沃切	酷 ㄍㄨㄛˊ→ㄍㄨㄛˊ 譽 ㄍㄨㄛˊ→ㄍㄨㄛˊ
16 疑		
17 曉		
18 匣	胡沃切	鵠 ㄍㄨㄛˊ→ㄍㄨㄛˊ
19 影	烏酷切	沃 ㄨㄛˊ→ㄨㄛˊ

表 291-1	反 切	通攝合口三等 / 入聲屋韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫	方六切	福蝠幅腹複 ㅍ→ㅂ 幅 ㅍ→ㅂ [國音] / ㅍ (布帛廣狹)
2 滂	芳福切	匍蝮覆 (反一·敗也) ㅍ→ㅂ
3 並	房六切	服鵬伏茯楸馥復 (返也·答也) ㅍ→ㅂ 鮪 ㅍ→ㅂ
4 明	莫六切	目穆牧睦苜 ㅍ→ㅂ
5 知	張六切	築竺筑 ㅍ→ㅊ 築 ㅍ→ㅊ 竹 ㅍ→ㅊ
6 徹	丑六切	畜 ㅍ→ㅊ 矗 ㅍ→ㅊ
7 澄	直六切	逐舳軸轴 ㅍ→ㅊ
8 娘	女六切	恧衄扭 ㅍ→ㅊ
9 來	力竹切	陸戮六 ㅍ→ㅊ
10 精	子六切	蹙 ㅍ→ㅊ
11 清	七宿切	蹴 ㅍ→ㅊ
12 從		
13 心	息逐切	肅夙宿 (夜止) ㅍ→ㅊ
14 邪		
15 莊		
16 初		
17 崇	所六切	縮 ㅍ→ㅊ 謾 ㅍ→ㅊ
18 生		

表 291-2	反 切	通攝合口三等 / 入聲屋韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之六切	祝 ㄱ→ㄷ 粥 ㄱ→ㄷ
20 昌		
21 船		
22 書	式竹切	叔菽條 ㄱ→ㄷ
23 禪	殊六切	熟塾淑 ㄱ→ㄷ
24 日	如六切	肉 ㄱ/ㄷ → ㄷ
25 見	居六切	菊鞠掬菊鞫 ㄱ→ㄷ
26 溪	驅菊切	麴 ㄱ→ㄷ
27 群		
28 疑		
29 曉	許竹切	畜 ㄱ→ㄷ 蓄 ㄱ→ㄷ
30 影	於六切	郁彘 ㄱ→ㄷ
31 云		
32 以	余六切	育毓 ㄱ→ㄷ 昱煜 ㄱ→ㄷ 鳥 ㄱ → ㄷ

表 292-1	反 切	通攝合口三等 /入聲燭韻 / 漢字音 (李朝→現代)
1 幫		
2 滂		
3 並	房玉切	裯 북→북
4 明		
5 知		
6 徹		
7 澄	直録切	蠟 속→촉 躡 속→촉
8 娘		
9 來	力玉切	録録 록→록 遼 (姓) ?→록
10 精	即玉切	足 속→죽
11 清	七玉切	促 속→죽 數 속→죽
12 從		
13 心	相玉切	粟 속→숙
14 邪	似足切	俗續 속→숙
15 莊		
16 初		
17 崇		
18 生		

表 292-2	反 切	通攝合口三等 / 入聲燭韻 / 漢字音 (李朝→現代)
19 章	之欲切	燭囑矚屬 속→축
20 昌	尺玉切	觸 속→축
21 船	神蜀切	贖 속→축
22 書	書玉切	束 속→축
23 禪	市玉切	蜀 속→축 屬 속→축
24 日	而蜀切	辱褥 ㄱ/욕 →욕 縛蓐 욕→욕
25 見	居玉切	
26 溪	丘玉切	曲 곡→국
27 群	渠玉切	局侷跼 국→국
28 疑	魚欲切	玉獄 욕→육
29 曉	許玉切	旭頊 욕→육
30 影		
31 云		
32 以	余蜀切	欲慾浴峪 욕→육

第5章 結 論

本研究は、「1. はじめに一研究目的と意義」で示したように、韓国漢字音の古代音と現代音を比較し、それを基礎にして韓国漢字音の変化と定着について考察するというのが主要な目的である。一般に韓国漢字音を歴史的に研究するにあたっては、その源流である中国漢字音を十分理解しそれとの対応関係を定めるということが必要な出発点である。韓国漢字音の源流となる中国漢字音はというと、その主要な部分は「中古漢語」とよばれる時期の漢字音（主体となるのは唐代漢字音）というのが多くの研究者に支持される見解であり、具体的には中国古代の代表的韻書『広韻』によって知られる漢字音である。そこで本研究も、まず研究の基礎として、『広韻』の音韻分類を基準にした詳細な中古漢字音音節表を作成し、その音節表のなかに中古漢語の漢字と二種の韓国漢字音、すなわち古代（李朝）と現代の漢字音を書き入れるという作業を行った。「研究方法」にも述べたとおり、『広韻』収録の漢字 26,194 字のうち比較的常用される漢字 6 千字ほどを研究対象としている。

この表によって、中国語の中古漢字音（＝中古音と略称）と韓国漢字音との対応関係というものを、ほかの先行研究とは異なるかたちで示すことができ、またその複雑な対応関係を、ほかの先行研究よりもより詳細により理解しやすい形で示すことができたと考えている。したがって本研究においても、中国語中古音と韓国漢字音との対応関係という面に多く言及せざるをえないというのは当然のことと言わなければならない。そこで、一部従来の先行研究でも指摘され論じられたものであるけれども、ここで本研究の立場から、あらためて韓国漢字音の重要な特徴と認められるものをいくつか取り上げてみたい。

(1) 中古漢字音音節表に示したように、3等韻寅類の場合、声母見組・曉組・影組の字はA類とB類に分けられるという事実があるのであるが、じつはその区別を反映する発音資料は日本漢字音にも中国語現代方言音にも見出されていない。ところが韓国漢字音で止摂・山摂・臻摂などの韻においてこの区別が厳然と保たれているのは貴重な存在である。例：止摂開口支韻・脂韻のA類字*i* (岐*ki*)、B類字*ui* (奇*kuui*)、山摂開口仙韻のA類字*iəŋ* (遣*kiəŋ*)、B類字*əŋ* (件*kəŋ*)、合口仙韻のA類字*iəŋ* (絹*kiəŋ*)、B類字*uəŋ* (權*kuəŋ*)、臻摂開口真韻のA類字*in* (緊*kin*)、B類字*ən* (巾*kən*)・*un* (僅*kun*)。(2) 3等韻子類・丑類の声母見組・曉組・影組の字は、梗摂を除くと一般に*i*介音が落とされる。この現象は3等韻寅類のB類字と共通するものであり、これもほかの漢字音資料にない韓国漢字音だけに見られる特徴である。(3) 3等韻に莊組字と章組字の二種がある場合、韓国漢字音では両者は合流しないできちんと区別されるのが普通で(子類・

丑類・寅類を問わない)、しかしここでは頭子音では区別しないで母音のほうで区別するという形になっている。例: 遇撰魚韻の莊母字o (阻tso)、章母字iə (渚tsiə)、流撰尤韻の生母字u (搜su)、書母字iu (収siu)、止撰之韻の生母字Λ (史sΛ)、書母字i (始si)、曾撰開口職韻の莊母字ʷk (側tsʷk)、章母字ik (職tsik) など。

(4) 韓国語には中国語の<無気音・有気音>の対立に相当する<平音・激音>の対立というものがあるが、音声的に類似するにもかかわらず中国語の無気音と韓国語の平音が、中国語の有気音と韓国語の激音がそのまま一対一で対応するというわけではないということがある。子音[t・tʰ][ts・tsʰ]に関しては比較的よく対応が認められるが、それ以外の子音ではかなり乱れており、原則が立てられない状況である。対応しない理由として、上古時代の韓国語にもともとそのような対立がなかったからではないかという疑いがあるが、ではこの対立が韓国語という言語のなかでどのようにして形成され定着したのかという謎が今後の課題として残る。

つぎに、漢字音が導入され定着する過程で、現代までにさまざまな音韻変化があったわけであるが、どのような変化があったのかをまとめてみることにする。言うまでもなく、韓国語の漢字音について確実に調べられるのは15世紀に「訓民正音」(=今日ハングルと呼んでいるもの)が創製されてからである。それ以後韓国漢字音が記されたハングル文献が続々出現するが、本稿ではそのうち15世紀から16世紀の文献に見えるものを、便宜上「李朝韓国漢字音」と称し(ここで用いる「李朝」という表現には当然異論がありうるであろうが)、それと現代韓国漢字音とを対比させたわけである。したがって韓国漢字音の音韻変化を歴史的に観察するといっても、今のところ確実なのは15世紀以降の漢字音に限られると言わなければならない。漢字音の音韻変化といった場合、漢字音だけに起こった変化なのか、漢字音の範疇を離れ韓国固有語の音韻変化の影響によって起こった変化なのかということがあるが、その詳細な考察(その変化の時期についても)は今後の課題である。以下、15世紀以降に発生したと考えられる韓国漢字音の音韻変化について主要なものを列挙する。

(1) 中古漢語の知組字は多く[t・tʰ]の子音で受け入れたが、後に母音iが続いた場合すべて破擦音[ts・tsʰ]に変化した。その結果精組・章組などと区別がなくなり、漢字音に[ts・tsʰ]の音が大幅に増加した。例: 魚韻字「除」tiə→tse、先韻字「天」tʰiən→tsʰən、職韻字「直」tik→tsik、東韻字「中」tiup→tsup

(2) 中古漢語の日母字は有声摩擦音[z]が用いられたが、その子音はやがて用いられなくなりゼロとなった。先行研究によれば、その消失の時期は18世紀のころとされている。質韻字「日」zil→il、仙韻字「然」ziən→iən

(3) 中古漢語にはいろいろな二重母音があった。そのうちの一部は単母音化して受け入れたが(au→o、əu→u)、それ以外は韓国漢字音でも二重母音のま

ま受け入れた。しかしその二重母音も現代までに全部単母音化してしまった (ai → ε、 Λ i → ai → ε、oi → ø、 $\text{\textcircled{a}}$ i → e、ui → y)。泰韻字「大」tai → tε、皆韻字「排」p Λ i → pai → pε、灰韻字「灰」hoi → hø、脂韻字「龜」kui → ky、祭韻字「世」si $\text{\textcircled{a}}$ i → se

(4) 日本語の拗音に相当するものとして、i を含む複母音 [ia・iə・io・iu] などがあるが、これらは子音 [ts・ts'・s] の後で i を落とし直音として発音されることとなった。ただし [ts・ts'・s] 以外の子音の後ではその変化はない。例：仙韻字「煎」tsien → tsən、東韻字「終」tsion η → tson η 、麻韻字「車」ts'ia → ts'a

(5) 中古漢語の [i][ə] といった母音について、韓国漢字音では [Λ] で映したが、この伝統的母音はやがて失われ [a] として発音されることとなった。例：支韻字「雌」tsΛ → tsa、侵韻字「森」sΛm → sam、耕韻字「幸」hΛi η → hai η → he η

(6) 複母音 [wi] は子音 k や h やゼロのときに多く認められた母音であるが、現代までに子音 [k] の後では母音 [w] を落とし [i] だけとなった。これも単母音化のひとつの例とみなすことができるが、しかし [k] 以外では [wi] がそのまま保たれた。例：支韻字「危」kwai → ki、支韻字「宜」wui → wi

(7) 子音 [p・p'・m] と結合する非円唇母音 [w] は円唇母音 [u] に変わった。これは唇音という子音の同化作用により後続の母音が円唇化したということである。

例：登韻字「朋」p $\text{\textcircled{u}}$ u η → p $\text{\textcircled{u}}$ u η (表 208)、徳韻字「黙」m $\text{\textcircled{u}}$ uk → m $\text{\textcircled{u}}$ uk、(表 236) 物韻字「不」p $\text{\textcircled{u}}$ ul → p $\text{\textcircled{u}}$ ul/早 pu (208)、物韻字「物」m $\text{\textcircled{u}}$ ul → m $\text{\textcircled{u}}$ ul (表 208) など。

(8) 子音 [ts・ts'・s] と結合する母音 [wi] が [i] に変わる例がある。これも頭子音による同化作用の一種かと考えられる。例：緝韻字「緝」「輯」「汁」tsup → tsip、臻韻字「襯」ts'um → ts'in、質韻字「叱」tsul → tsil、職韻字「廁」ts'uk → ts'ik

(9) 韓国語特有の子音として「濃音」というものがあるが、これは漢字音にはほとんど用いられない。ただわずかに「雙」と「氏」の2字が [s'] で、「喫」1字が [k'] で発音されるだけである。これらはもともと「平音」で発音されていたものであるが、「濃音」のよみ方に変わったのは韓国語の影響であろう。

(10) 個別の不規則的な変化として、頭子音が平音 → 激音、激音 → 平音と変わる例がしばしば見られる。また頭子音が [k] → [h]、または [h] → [k] と変わる例もよく見られる。例：(表 105) 緘 咎 → 함、(表 125) 袂 翳 → 翳など。

中古漢語には「多音字」(あるいは「多音多義字」と呼ばれるものがある。漢字一字に二つ(あるいはそれ以上)のよみ方があり意味も異なるというもの。今日、韓国の漢字音は一部の漢字を除いて原則として一字一音であるが、中古漢語の多音字は韓国漢字音としては現在どのように用いられているのか、その使用状況も調べてみたので、その一部を本稿の中に記載してある。

参 考 文 献・辞 典

中 国

- 陳植藩 1964 「朝鮮語中的汉字詞」『中国語文』第5期
丁声樹編 1984 『古今字音对照手冊』中華書局
中国社会科学院語言研究所 1981 『方言調查字表』商務印書館

日 本

- 有坂秀世 1936 「漢字の朝鮮音について」
『国語音韻史の研究（増補新版）』三省堂 1957 所収
小倉進平 1964 『朝鮮語学史』刀江書院
伊藤智ゆき 2007 『朝鮮漢字音研究』汲古書院
河野六郎 1968 『朝鮮漢字音の研究』天理時報
佐藤昭 2002 『中国語語音史～中古音から現代音まで～』白帝社

韓 国

- 朴柄采 1971 『古代国語の研究—音韻編—』高麗大学出版部
南廣祐 1973 『朝鮮（李朝）漢字音研究』一潮閣
許 雄 1976 『國語音韻學』正音社
姜信沆 1980 『鷄林類事「高麗方言」研究』成均館大學校出版部
兪昌均 1980 『韓国古代漢字音의研究Ⅰ』啓明大學校出版部
_____ 1983 『韓国古代漢字音의研究Ⅱ』啓明大學校出版部
南廣祐 1984 『韓國語의發音研究〔Ⅰ〕』
순우리말과 漢字말의 標準發音을 중심으로 一潮閣
_____ 1984 『韓國語의發音研究〔Ⅱ〕』
常用漢字및漢字말의 표준발음研究 仁荷大學校出版部
崔羲秀 1986 『朝鮮漢字音研究』（朝鮮文）黒龍江朝鮮民族出版社
文璇奎 1987 『中國古代音韻學』民音社
_____ 1994 『漢語音韻論集』新雅社
李潤東 1997 『韓國漢字音의理解』螢雪出版社
李敦柱 1995 『漢字音韻學의理解』塔出版社
_____ 2003 『韓中漢字音研究』太學社

崔玲愛 2000 『中國語音韻學』 통나무
金大星 2003 『韓日資料による中古漢音母音の再構』
— 베트남、チベット漢字音をも含めて — J&C
이승자 2003 『조선조 운서한자음의 전승양상과 정리규범』 亦樂
마숙향 2004 『중세 한국한자음의개음에 대한 연구』 民族出版社
李在敦 2007 『中國語音韻學』 學古房

劉昌惇著 1971 『李朝語辭典』 延世大學校出版部
朴成媛編 1973 『새日韓大辭典』 徽文出版社
金素雲編 1982 『새韓日大辭典』 民瑞出版社
李家源編 2000 『漢韓大辭典』 東亜出版社
朴在淵編 2002 『中朝大辭典』 鮮文大學校・中韓翻譯文獻研究所